

地方史情報

123

2015年3月

神話の生成と折口学の射程

保坂 達雄

日本の神話や歴史伝承はどのようにして創られてきたのか。このような問いかけをすること自体、あるいは無謀なことなのかも知れない。しかし、筆者はいつもこの問いを持ち続けてきた。そして何かこれに答えてくれるようなものはないか、探し続けてきた。

沖縄を初めて訪れたのは1978年。折口信夫の「まれびと」の原像を求めての一人旅であった。それから大学研究室のプロジェクトの一員として、また個人として沖縄への採訪を重ねるうちに、シャーマニズムの存在に気づくようになった。このシャーマニズムこそ、文学発生の手掛かりになるのではないか、シャーマニズムという光を照射したら、闇の中で見えなかったものが鮮やかに浮かびあがってくるのではないかと考えるようになった。本書で用いたのは、このシャーマニズムという補助線である。

シャーマニズムとは祭祀の中で神と交流交感する巫者の宗教活動を指す用語であるが、文学の始原を尋ねてゆくと、こうした祭祀儀礼の中で巫者たちによって発せられる呪的な詞章から、文学的な言葉が発生することが多い。古代文学を支える伝承的な言葉は、祭りの場から胎生し生成されてくると言っても過言ではない。本書ではこのシャーマニズムを一つの視点にして、日本古代の文字テキストや琉球の正史などの歴史資料の分析を通して、その創成と生成の跡を追ひ、その論理を導きだそうとする。前著『神と巫女の古代伝承論』（2003年、岩田書院）においてもこの研究方法を書名に標榜したが、本書でもこの立場に立脚する。

このようなシャーマニズムに基づいた文学の信仰起源説は、言うまでもなく日本文学の発生を繰り返し問い続けた折口信夫の方法でもある。本書はこの方法に依拠することになるが、折口信夫その人とその学問について考察を加えることも、本書の課題の一つである。不世出の国文学者折口信夫とその学説形成過程の考究は、筆者のようにその学統にあるものの責務であると同時に、自身の研究を不断に問い直し続けることに繋がる。したがって、古代の文字テキストを読む行為と折口信夫を一つのテキストとして読み込む行為は、筆者にとっては車の両輪のようなもので、片方が脱輪したらまったく走行不能になってしまうようなことなのである。

（保坂達雄『神話の生成と折口学の射程』2014.11、小社刊、「序」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究 アイヌ語地名研究会

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目

1-1 TEL011-299-6834 年5000円

◇52 2014.7 B5 18p

第18回アイヌ語地名研究大会の概要について 研究発表／定期総会／第一回役員会

新聞記事の紹介 「静内」の地名を後世に 元チューリップ高橋さん 生前に曲（北海道新聞 2006年3月26日付）

寄贈図書類の内容紹介 『大雪山から育まれる文献書誌集—豊かな自然・さまざまな生命・歴史文化の記録—』

アイヌ語とはどのような言葉なのか？(1)

◆標茶町郷土館報告

〒088-2261北海道川上郡標茶町塘路1-12

TEL015-487-2332 1985年創刊

◇26 2014.8 A4 97p

標茶町も「観光立町」を目指そう

—外国人訪日1千万人 横平 弘

アイヌ民族が食した植物についての一考察—『久摺日誌』の挿絵に描かれたランはなにか

高嶋八千代／奥田幸子

釧路湿原流域におけるニホンザリ

ガニの出現状況と生息環境の特

徴について 渡辺展之／渡辺修／前田

潤／竹中康進／川井唯史

縄文文化期における北海道釧路

湿原塘路湖周辺の自然環境

小荷田行男／飯村はるか

道東における江戸時代の移向天

然林伐採

小荷田行男

標茶町育成牧場におけるウシの光

線過敏症の原因となるオトギリ

ソウの分布について

辻ねむ／阿部信行／

小荷田行男／光枝和夫

標茶町から採れたカブトムシ

飯島 一雄

北海道東部のクスサンの分布資料

飯島 一雄

北海道東部の鱗翅目追加資料

飯島 一雄

北海道東部の鱗翅目ツツミノガ科

追加資料

飯島 一雄

北海道東部の平翅目追加資料(4)

飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目

飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目ツヤシデムシ

科の追加資料

飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目追加資料

ハネカクシ科(2)

飯島 一雄

北海道東部のタマキノコムシ科の

追加種

飯島 一雄

北海道東部の鞘翅目マルハナノミ

科の追加資料

飯島 一雄

平成25年度標茶町郷土館 年報

標茶町指定文化財第5号(天然記念

物) サルルン沼一帯のエゾカ

オジロトンボ等生息地

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目

かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111

hokkaido-bunkazai.jp

◇344 2014.7 B4 4p

北海道文化財保存活用への取り組み

について

田村 拓未

第56回北海道・東北ブロック民俗

芸能大会 北海道大会の開催に

ついて

北海道教育庁生涯学習推

進局文化財・博物館課

平成26年度通常総会と文化財めぐ

り

総会を終えて

舟山 廣治

北方民族博物館・夏の特別展

中田 篤

世界文化遺産への登録をめざして

(20)

北海道教育庁文化・博物館課

北海道ヘリテージ・マネジメン

ト・アソシエーションの創設に

ついて

空知の農民郷土史家

深川市教育委員会生きがい

文化センター文化振興係

読者の声 書籍の紹介 いしかり

暦27号、石狩郷土シリーズ6

石狩の碑—石碑等にみる石狩市

の歩み

◇345 2014.9 B4 4p

相食・無形文化遺産と北海道の食

文化

小田嶋政子

国指定重要文化財旧旭川偕行社の

大規模修理について

稲垣 啓

“見て感じ 心に刻む文化財”

「北海道文化財保護強調月間」

始まる

道庁赤れんが庁舎前 北三条広場

舟山 廣治

ピアソン記念館100年記念について

伊藤 悟

北海道家庭学校新博物館の展示構

想について

佐藤 京子

飯田家住宅座敷棟(日高町)が登録

有形文化財に答申

一枚の写真 大越喜代と丸木俊 舟山 廣治

共和町郷土資料館「かかし古里館」

村山 弘樹

読者の声

上藻別駅通保存会10周年 (M・Y)

書籍の紹介『北の墓 歴史と人

物を訪ねて』(柏艚社刊)

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-

3888 1991年創刊 hoppohm.org

◇93 2014.6 A4 4p

表紙 オホーツク文化期の骨角製

品 涌別町川西遺跡出土

ロビー展 カザフの刺繍壁かけ—

トゥス・キーズ

山田 祥子

講習会 カザフ刺繍のコースター

講師：廣田千恵子氏 山田 祥子

館長講座 土器模様の原体を学ぶ

—初級編 講師：岡田淳子 種石 悠

映像上映会 サハリン・樺太の映

像上映 講師：笹倉いる美 笹倉いる美

第29回特別展 船、櫓(そり)、ス

キー、かんじき 北方の移動手

段と道具

◆岩手県南史談会研究紀要

〒021-0023岩手県一関市銅谷町2-3

高橋龍夫方 1953年創刊

◇43 2014.7 B5 109p 1500円

表紙の写真解説

ハイカラな軍装の一関藩兵 畠山 喜一

刊行に当たって 遠藤 輝夫
 藩制後期の地逃・沽却・散田化と
 一作売について——関藩勘定方
 の上申にみる地方荒廃の連鎖 大島 晃一
 明治戊辰戦争と東磐井一越後長岡
 藩士および家族の大原・猿沢の
 抑留記録の紹介 畠山 喜一
 北上川流域用水開発に携わった
 人々—盛岡・仙台藩の用水開発
 の功労者たち 阿部 和夫
 高山彦九郎『北方日記』現代語
 訳の試み—東山郷の部分のみ(2)
 岩渕 国雄
 覚鼈城はどこにあったか
 一山目・泥田廃寺を擬定する 小野寺 啓
 花陰樵語 十、蔵王権現の本姿 佐藤 松雄
 高橋東皐と東山文化(東皐の師) 菅原 宏通
 情報・資料紹介 遠藤 輝夫
 研修旅行(史跡・文化財めぐり)報
 告 高橋 龍夫
 会 報 高橋 龍夫

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
 〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
 岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
 1970年創刊

◇259 2014.6 A4 8p
 遺物が語る郷土の歴史「人体文
 付深鉢」縄文時代後期 桐生 正一
 法人制度の改革 佐藤 宏
 天台寺の鑑査状と課題 熊谷 常正
 富士山と鎌倉から 八重樫忠郎
 本格化した復興関連調査 斎藤 邦雄
 最近の平泉地名の研究 伊藤 博幸
 浄法寺の文化財に触れてみませんか中村 裕
 続平泉志(23) 無量光院跡の調査
 ／毛越寺庭園の調査／観自在王
 院跡の調査 及川 和哉

◇260 2014.9 A4 12p
 《特集 平泉世界遺産の日》
 遺物が語る郷土の歴史「鉄花瓶」
 柳之御所遺跡出土 鎌田 勉
 「平泉世界遺産の日」制定について
 達増 拓也
 「平泉世界遺産の日」に寄せて
 文化財の保存に困難な道のり 藤里 明久
 清衡公の願い、共有の日に 清水 広元
 骨寺など関連資産登録に努力 勝部 修
 歴史生かしたまちづくり目指す
 小沢 昌記
 「世界遺産シンポジウム」の開催
 八重樫倫子
 世界遺産登録三周年フォーラム
 開催 高橋 国博
 成島の兜蹴毘沙門天 高橋 信雄
 被災した石碑の保全を 八木 光則
 26年度民俗芸能フェス
 六団体が共演 事務局
 続平泉志(24) 中尊寺大金堂跡の
 調査／金色堂のご遺体調査／金
 色堂の仏像調査／金色堂の修理
 及川 和哉

◆市史 sendai 仙台市博物館
 〒980-0862仙台市青葉区川内26
 TEL022-225-3074 1992年創刊
 www.city.sendai.jp/Kyouiku/Museum/

◇24 2014.9 A5 128p 500円
 表紙写真解説 若林区荒浜から望
 む仙台市街地と泉ヶ岳 三好 俊文
 一琴邦言和歌営業願書と盲巫女始
 祖伝承 中川 正人
 見出された仙台の郷土玩具—戦前
 のガイドブックにみる仙台張子
 加藤 幸治
 陸軍特別大演習と宮城郡 中武 敏彦

仙台藩の在郷屋敷 倉橋 真紀
 史料紹介
 『入生田家之故実』
 伊達政宗文書・補遺(8)
 『通史編9 現代2』の刊行にあた
 って 仁昌寺正一
 『特別編9 地域誌』の刊行にあた
 って 平川 新

◆東北民俗 東北民俗の会
 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大
 学大学院文学研究科 宗教学研究室
 FAX022-795-6022 年4000円
 1966年創刊 tohokuminzoku.com

◇48 2014.6 A5 84p 1000円
 東北から伝播した四国の鹿踊 大本 敬久
 郷土食の再発見—宮城の食文化(5)
 佐藤 敏悦
 島田飴まつり 稲 雄次
 宮城県南部の狼信仰 石黒伸一郎
 山上霊地の死者供養
 一大光院のホトケヤマ 鈴木 岩弓
 「餌買日記」に描かれたカツオ漁 川島 秀一
 佐渡島旧三瀬村におけるタコ穴を
 めぐる裁判記録の分析—明治
 16・17年の新潟県始審裁判所相
 川支庁と東京控訴裁判所の言渡
 書の分析から 新垣 夢乃
 紹介 渡辺幸任著『出羽三山信仰
 と月山筍』 岩鼻 通明
 卒論・修論発表会要旨
 映画の誘致／支援と地方都市—
 鶴岡の映画事業の実態と展望
 上野 亮太
 浜中のケヤキキョウダイの実質
 的役割 遠藤 みゆ
 平成25年度東北民俗の会
 年次報告

◆ナジェージダ(希望)
 石巻若宮丸漂流民の会
 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23
 大島幹雄方 TEL045-773-4643
 homepage2.nifty.com/deracine/

◇32 2014.8 A4 48p
 2013年度石巻若宮丸漂流民の会総
 会&加藤九祚講演会
 加藤九祚講演会「遣日使節レザ
 ノフの愛と死」(講演録)
 加藤先生同行記 横山 裕平
 銚子に残る石巻・寒風沢出身船員
 の墓石 小林 郁
 「ナアツカ」を探して 18世紀後半
 にアレウト列島を訪れた人々 稲垣 滋子
 「ルキン」を探して 謎の日本人は
 若宮丸漂流民のロシア残留者か
 ? 佐藤三寿夫
 若宮丸漂流民史跡探訪ツアー
 ツアーに参加して 滝波秀子／宮本立江
 青森・下北「原始謾筆風土年表」
 を読む 下北から 佐藤ミドリ
 津太夫は語り始める 第四回 春名 徹
 吉郎次の墓と小宮三保松
 —その生涯と「露国談」 泉 健
 「シャー」の謎、ジョン万次郎を
 追って(1) 河元由美子
 五郎とゴロー in 松前
 —松前函館の観光案内 高橋 寿之
 石巻震災土蔵修復完了記念イベン
 ト報告 本間 英一
 短信・コラム
 私の旅 竜馬と長崎 酒見 謙三
 フェアバンクス便り 河内 牧栄

◆道鏡を守る会 道鏡禅師を知ろう
 〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35
 本田義幾方 TEL0229-22-7364

年3000円 1985年創刊
◇36 2014.9 B5 88p 1000円
道鏡と「会」この一年—おたより
や資料でつづります
被災地ツアーに取り組むにあたり
本田 義幾
道鏡に託すかのように
石上光太郎
絆を思いつつ
富田 春美
2013年10月6日 道鏡講演会
お世話になりました 幾島 一恵
会誌35号を受け取り いつも楽し
く目をとおしますが… 毛塚 隆
平城宮跡から旗竿支柱跡発掘
2013年4月7日 道鏡禅師供養祭
DVD「日本史汚名返上—悪人た
ちの真実—」に道鏡が
朝日新聞に道鏡が取り上げられて
下野しほり絵による流し雛 道鏡
が伝えたしほり紙工法と諏訪家
篠原久良子
病魔と闘い、辛苦に耐えながらも
追悼 倉品昌司様を偲んで 上野 静子
藤貫喜好様ありがとうございます
た 本田 義幾
私を元気づけてくれる曹洞宗の名
刹調べ 久佐野 昭
探訪旅行のお誘い
守る会への提言 探究面、運営面
「守る会」へエールをおくりな
がら 安永 明子
歴史の流れの見極めのために 鈴木 暁子
道鏡研究のために日頃考えてき
た点 石上光太郎
史料・伝承は出尽くしたという
けれど 本田 義幾
勉強会の持ち方について 鈴木 暁子
今後を見通して 高橋 昭夫
入会させて頂くにあたり 善林 仁

今なぜ弓削の道鏡か
—入会にあたり 菊地 喜平
他のおたより
裏表紙説明(補足) 村田 和義
顕正板設置に関して
顕正板設置意義 本田 義幾
「守る会」の名称について
守る会発足時 本田 義幾
道鏡さんを守ることに自信を持
ちましょう 菊地 喜平
道鏡伝承・民俗を探る
小山に伝わる道鏡の土地 片岡 秀雄
山梨県・奈良田の場合 深沢 實
神仏に関する習わし
—小田原・千代で過ごして 富田 春美
古代の医療と薬
古代の医療について 日野原 正
心の病を治す道鏡さん 石上光太郎
医師道鏡 田中 龍夫
薬「ういろう」 深沢 實
百万塔に関して
奈良の百万塔 森本 裕之
道鏡講演会の講演記録
道鏡と下野国 佐藤 信
八尾の道鏡さん 山丈 明美
道鏡塚を守ってきて 近藤 純雄
道鏡を守る会 特別企画
被災地ツアー報告
守る会の被災地ツアーに参加
五月女紀美子
被災地ツアーを終えて
本田義幾／片岡秀雄
「道鏡」と「道鏡の師」「師の恩」
—諸研究者の著作文献・論文を
参考にして(試) 森本 裕之

◆東北文化研究室紀要

〒980-0862仙台市青葉区川内

東北大学大学院文学研究科 1959年創刊
◇55 2014.3 B5 60p
言語行動の枠組みに基づく方言会
話記録の試み 小林隆／内間早俊／
坂喜美佳／佐藤亜実
被災地のフェーズ変化に対応した
遠隔地からの中長期的支援—山
形から石巻への支援を行う大学
生の団体「STRAT Tohoku」を
事例として 川口幸大／菊池遼／関美菜子
〈2013年度 東北文化公開講演会 歴史のな
かの東北大学と社会—「門戸開放」と女子
学生〉
講演1 女性たち・留学生たちの学
都仙台 永田 英明
講演2 女子学生運動事始 柳原 敏昭

◆秋田民俗 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出
版内 TEL018-864-3322 1973年創刊

◇40 2014.6 A5 76p
表紙写真 幸福荷神社の祭典(通
称花輪ばやし) 丸谷 仁美
「秋田民俗」第四〇号刊行の辞
風を祭るということ 齊藤 壽胤
男鹿のナマハゲ—その検証すべき
課題をめぐる 鎌田 幸男
旧秋田藩域の番楽の問題点 小田島清朗
私の「宗教民俗学」研究試論 小野 努
ハタツモリとガザ 石郷岡千鶴子
平成25年度研究大会発表要旨

「秋田県民俗学会」設立以前に
おける民俗研究について 齊藤 壽胤
秋田県民俗学会の始まりと今—
四〇年の歴史における重要な
研究と業績をふり返って 鎌田 幸男
書誌紹介
(一財)民俗芸術研究所編『秋田

民謡育ての親 小玉暁村』 鎌田 幸男
秋田県教育委員会編『真山の万
体仏』 齊藤 壽胤
藤里町史編纂委員会編『藤里町
史』 小野 努
油谷満夫著『油谷コレクション
第一集 酒、煙草編』 新谷 正隆

◆秋田歴研協会誌

秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出
版内 TEL018-864-3322 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html

◇56 2014.8 B5 24p
表紙 根子番楽「曾我兄弟」 小田島清朗
特集 春のフォーラム
近世秋田の芸能史
秋田の芸能の特徴と研究課題
—番楽・神楽を中心に 小田島清朗
人々にとって祭とは、芸能とは
—現状と課題を見つめて 齊藤 壽胤
「芸能の命、芸能の力」に着目を
—春のフォーラムを振り返っ
て 茶谷 十六
用語解説 社参と湯治の旅 半田 和彦
歴史情報
『澁江和光日記』にみる鉄砲稽古
塩谷 順耳
利他を貫いた了翁禅師 富谷 弘
文献情報／催しもの情報

◆聴雪 新庄古文書の会

〒996-0084山形県新庄市大手町2-65
大場英一方 TEL0233-29-2786 1997年創刊

◇18 2014.6 B5 109p
巻頭言 受けつなげたい戸沢政盛
公が愛した新庄 伊豆倉公子
特別寄稿

私の古文書散歩(4)
「白岩状」との出会い 大友 義助
会誌『聴雪』再び学術書に紹介
される 大友 義助
入門講座の学習
庄司家文書「山守辞令・せり金
請取証文等」(解説 佐藤由
美子・箱山伶・伊豆倉公子)
解 説 新國 吉朗
小野家文書「覚」・「差出申証文
之事」(解説 大津純一・高
橋正則・福士ちのり・矢口實・
沼沢美恵子・阿部一)
解 説 伊藤 勉
当時村方五人組帳(解説 神崎
清次・大友寿美代・小関清純・
早坂誠・大山昭徳)
解 説 土屋 道郎
中級講座の学習
古瀬本「古老覚書 二」(2)(解
読 沓澤正昭・梁瀬平吉・佐
藤周一・矢口實・成沢清久・
大場英一・大山昭徳・荒川輝
夫・佐藤寿也・杉原實・矢口
三直・武田清夫)
解 説 大友 義助
「神隠し」の記録 大友 義助
目付 手控 武田 清夫
敷居に残った刀の瘡―新庄戊辰戦
争・角沢口の戦い 大場 英一
伝奏屋敷の略図について 土屋 道郎
「犬の伊勢参り」について 新國 吉朗
米沢東部の歴史文化を探る
一東置賜郡高島町 矢口 實
新庄の地名「合海」と「本合海」 大友 義助
徒然 「つれづれ」と「とぜん」 大友 義助
言葉の謂れ「蛇崩れ」(2) 大友 義助
本当に困った「殿」(こまる) 大友 義助

「様」のさまざま 大友 義助
言葉の謂れ「かべ落ち」 大友 義助
◆北方風土 北方風土社
〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野
乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027
1980年創刊
◇68 2014.6 A5 124p
わらべうたと門付け(2) 本城屋 勝
島田鮎と邑主但木家 稲 雄次
中世由利郡における鳥海氏の後裔
石山 憲二
秋田藩主佐竹氏の諸社参拝
一日光、江戸邸内社、他 神宮 滋
大曲・田口謙蔵氏宛の書簡から(3)
富樫蟠神君からのたより 高倉 光一
雪と日本酒 稲 雄次
歌舞伎「松浦の太鼓」主役と秋田
の関係 神宮 滋
昔話・伝説・世間話から見た東北
地方の天狗像とその比較 高橋 成
史料編 我が村の歴史 第二号
深澤多市著 復刻 森本 彌吉
◆さあべい さあべい同人会
〒999-3701山形県東根市本丸北1-5-11
保角里志方 TEL0237-42-3158 1970年創刊
◇29 2014.5 B5 96p
米沢市成島遺跡出土の黒曜石石器
の石材産地 秦昭繁／佐々木繁喜
鮭延城攻め「内町陣城跡」調査報
告 保角 里志
荒谷館―大蔵村の中世から近世 三浦 浩人
山形城跡出土の宝篋印塔について
齋藤 仁
山形市の中世石造美術「五輪塔」
上 加藤 和徳
山形県古墳所在地名表 川崎 利夫

柏倉亮吉先生を想う
一私の考古学特論 安彦 政信
「山形の縄文文化フォーラム」に
参加して 中島 寛
さあべい誌既刊号(第1号～第28号)
総目録
◆東北学
東北芸術工科大学東北文化研究センター
(発売：はる書房)
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年10000円 2013年創刊
gs.tuad.ac.jp/tobunken/
◇4 2014.7 A5 261p 1852円
旅スケッチ(4) 元陽
反復が生み出す持続のリズム 田口 洋美
巻頭鼎談 いま、百年後をつくる
ために―NPOとNGOの可能
性 向後元彦／澁澤寿一／田口洋美
《特集 棚田のアジア：農の継承と持続性》
開墾の風景―棚田論ことはじめ 須藤 護
棚田の歴史を検証する―熊本県山
都町・通潤橋と白糸台地の棚田
吉村 豊雄
アジアの棚田―インドネシア・イ
ラン・ネパールの棚田 青柳 健二
ハニ棚田を訪ねて 思 泌夫
中国雲南省哀牢山地の棚田農業を
支えてきた知恵と工夫―水の制
御を軸に 安達 真平
世界遺産を生み出す地域の営み―
「生きている遺産」としてのフ
ィリピン・コルディリエラの棚
田景観 大西 秀之
阿武隈梁山泊外伝(4) たくきよしみつ
八甲田山における山岳ガイドの変
遷(3) 最終回―八甲田に通い続
ける地元カメラマンの回顧録

(語り・藤巻健二) 羽根田 治
ホンのひとこと―山に生かされた
村人たちの記憶
フィールドノート(3)―今は、こ
の島で生きたい 山形県飛鳥、
二〇代からの移住生活 小川ひかり
アートフルワンダーランド(4)
一和紙の温もり、自分の手で届
けたい 謝 黎
三陸沿岸、今―気仙沼唐桑から南
三陸町志津川にかけて 2014年
6月 蛸原 一平
復興ダイアリー(4)―新聞紙面に
みる復興(2013.9.11～2014.3.11)
◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299
◇202 2014.8 B5 12p
宮内 熊野山絵図を見る
一宮内熊野大社史おぼえ書37 須崎 寛二
『南陽市史編集資料』43号の発刊
台林院の施し(ほどこし)
一熊野大社史おぼえ書38 須崎 寛二
◇203 2014.10 B5 12p
大津右京進の長柄傘使用問題
一熊野大社史おぼえ書39 須崎 寛二
宮内・馬頭観音堂の屋根替えにつ
き―熊野大社史おぼえ書40 須崎 寛二
わが少年期覚え書 遠藤 公夫
◆村山民俗 村山民俗学会
〒990-0821山形市北町3-3-45 市村幸夫方
TEL023-684-5708 年3000円 1988年創刊
www.chance.gaiax.com/home/imichiaki
◇28 2014.6 B5 77p
斎藤茂吉の歌集『赤光』にみる民
俗 村田 弘

美しい村・高瀬の秘密(1)	清野 春樹
震災特集 上映をめぐる現代民俗	
―映画祭の顧客アンケートを通	
した試論	岩鼻 通明
蔵王山役銭出入	
―宝沢三乗院文書から	會田 庄一
山形城下絵図と寺院―お伴寺等を	
それぞれの城下絵図から読む	安孫子博幸
山形市の「大坂・越前」石工のこ	
と	加藤 和徳
宝沢芝居	市村 幸夫
會田家の「紅花取引」「京都東本	
願寺への献木」「諸芸能への奉	
加」―會田庄一家所蔵「萬覚書」	
を読む	野口 一雄
野生表現が醸し出す象徴性―岩手	
のシシ踊り演目を中心として	菊地 和博
史料紹介 秋元藩年中行事の覚書	
	市村 幸夫
新刊紹介 高木大祐著『動植物供	
養と現世利益の信仰論』	岩鼻 通明
◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団	
〒960-8116福島市春日町5-54	
TEL024-534-9193 2002年創刊	
www.history-archives.fks.ed.jp	
◇39 2014.6 A4 4p	
道中記・案内記にみえるふくしま	
『弘化改正 大日本道中燭案内大	
全』(柳沼吉四郎家文書5号、部	
分)	小野孝太郎
飯坂ゆかりの謡曲「摂待」	渡邊 智裕
江戸時代の情報伝達	
―会津若松の安永の大火	小野孝太郎
『祐天大僧正利益記』について	渡邊 智裕
銅版画に描かれた福島の信夫橋	佐々木慎一
旧制会津中学校の日露戦争軍資金	
献納	芳賀 英一

平成26年度行事予定(平成26年7月	
～平成27年3月)	
関 東	
◆茨城史林	
茨城地方史研究会 (発売：筑波書林)	
〒310-0844茨城県水戸市住吉町133-14	
年3000円 1972年創刊	
◇38 2014.6 A5 172p 1203円	
新しい躍進に向けて	佐久間好雄
古代常陸国筑波郡大貫郷について	
	久信田喜一
多賀谷氏の伝来と異同	古澤 一巳
明治20年代における茨城県産花崗	
岩石材業の展開―茨城県桜川市	
・笠間市を主として	川俣 正英
潤沼南岸地域における郡・県の組	
替	海老澤正孝
史料紹介	
「嘉永五年 門人入学帳」	
(旧野爪村大久保家文書)	小野崎克己
新発見の徳川慶喜関係資料につ	
いて―鉾田市・田山家文書か	
ら	久信田喜一
県内歴史研究団体紹介	
那珂歴史同好会	中村 康雄
新刊紹介 栗原亮著『近世村落の	
成立と検地・入会地』	久信田喜一
史料調査班調査報告 佐藤次男氏	
収集資料・鉾田市田山家文書・	
水戸市芝山家文書の調査	久信田喜一
◆常総の歴史 崙書房出版茨城営業所	
〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5	
TEL0299-24-0595 1987年創刊	
◇48 2014.6 A5 108p 1019円	
国指定史跡吉田古墳は八角形一石	
室奥壁に線刻壁画をもつ古墳の	

調査	米川 暢敬
『和名抄』みえる常陸国筑波郡の	
郷について(4)―水守・栗原両	
郷を中心に	久信田喜一
中世成立期常総内乱の構造―将門	
・忠常の軍事基盤「馬と船」を	
中心に	千野原靖方
中世前期常陸大掾氏の代替りと系	
図	中根 正人
資料紹介 菊池家蔵「小野崎文書」	
―小野崎昭通と伊達政宗	泉田 邦彦
新発見「那珂湊略図」について―	
東日本大震災被災土蔵から古地	
図発見	菊池 恒雄
新選組芹沢鴨の最期について	箱根紀千也
◆水戸史学 水戸史学会	
〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42	
但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊	
◇80 2014.6 A5 204p	
《前会長名越時正先生帰幽十年追悼号》	
『本朝通鑑』と『大日本史』	
―史学における二つの立場	名越 時正
名越史学論―神道論を中心として	
	梶山 孝夫
水戸義公の諱「光圀」考(1)―京	
都本国寺(本圀寺)との関係から	
	但野 正弘
『大日本史』天皇大友本紀の基礎	
的研究	堀井 純二
吉田松陰「水府の遊歴は大部分を	
得候」こと	仲田 昭一
清水正健著『水戸文籍考』の基礎	
的研究	渡邊 拓也
日本を取り戻す道―「日本国憲法」	
の改正に関する私見	飯田 耕司
義公の足跡を訪ねて(27)	住谷 光一
特集 名越時正先生追悼	

名越時正先生十年祭を迎へ	
―「至誠一貫」の求道者・千秋	
先生を偲ぶ	安見 隆雄
私の蒲生君平研究の道標になっ	
てくれた名越時正先生	阿部 邦男
名越時正先生を仰ぐ	古村 博文
名越時正会長の御教示	
―頂いた書簡から	小松崎市郎
史学会の思い出	荒井 保
名越時正先生の俳	飯村 尋道
名越時正先生の御帰幽十年忌に	
当って	高橋 能範
研究著作年譜(抄)	名越美佐子
◆歴史文化研究(茨城) 歴史文化史研究会	
〒270-0035千葉県松戸市新松戸南2-25-	
B205 三石善吉方 TEL049-345-5323	
2014年創刊	
◇1 2014.7 A5 182p	
巻頭言 発会の主旨と事業報告	三石 善吉
徳川光圀、苦悶の西山隠棲	吉田 俊純
橋孝三郎の「農本主義」と戦後体	
制―戦争なき超国家組織建設へ	
の模索	菅谷 務
ジーン・シャープの政治思想	三石 善吉
「アベノミクス」金融政策の効果・	
逆効果	鎌倉 孝夫
私は、現政権が強硬する集团的自	
衛権構想に反対します。	松沢 弘陽
流転のジャーナリスト―国木田独	
歩 日刊『民声新報』編集長の	
時代	幕内 満雄
会員の新刊書紹介	
三石善吉著『ナチス時代の国内	
亡命者とアルカディア―抵抗	
者たちの桃源郷』	鈴木 春樹
鎌倉孝夫著『はじめてのマルク	
ス』を読む	丹 賢一

菅谷務著『橋孝三郎の農本主義
と超国家主義』、併せて著者に
尋ねる 三石 善吉

◆歴史と文化 栃木県歴史文化研究会
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1992年創刊

◇23 2014.8 A4 95p 2000円
表紙写真解説
銭阿寺本堂(足利市・国宝) 江田 郁夫
巻頭言
地域社会の来し方行末に思う 荒川 善夫
本会第23回大会関連論文
女性と家族から描く結城織物変
遷史—『本場結城紬実態調査
報告書』にみる伝統の再創造
過程 湯澤 規子
中世下野の武家女性をめぐる 松本 一夫
犬供養と女人信仰
一茂木町の事例から 磯 寿人
室町期日光山別当考 小池 勝也
日光市中三依で新たに確認された
城館跡について 小川 英世
書評 江田郁夫著『戦国大名宇都
宮氏と家中』 荒川 善夫
栃木県歴史文化研究会活動の記録
文献情報／平成25年度栃木県県内
発掘調査情報／平成25年度新規
指定文化財一覧

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊

◇92 2014.7 A4 4p
《特集 下野の文芸、荒野を拓く》

下野の文芸、荒野を拓く 新井 敦史
栃木県歴史文化研究会第24回総会
・大会のご案内 大会テーマ「下
野の文芸、荒野を拓く」
大田原愛清とヒ盛 青木 義朗
若き日の野口雨情とヒロ 大嶽 浩良
那須野が原の西行伝承について 木村 康夫
新刊紹介
柏村祐司著『栃木の祭り』 篠崎 茂雄
福田三男編著『栃木県謎解き散
歩』 木村真理子

◆群馬県教育史研究懇談会会報
〒370-0873群馬県高崎市下豊岡町328
森田秀策方 TEL027-322-0408
年1000円 1975年創刊

◇38 2014.8 A4 32p
『群馬県教育史』の続編を!! 森田 秀策
学期に於ける教員養成
—「小区師範学校のこと」 今井 英雄
特集Ⅰ 群馬県における商業高校
の歩み 群馬県内公立商業高等
学校の沿革概要 八木 啓次
特集Ⅱ 学校の統廃合
渋川市立上白井小学校の学校再
編について 武藤 榮一
中之条町立西中学校の中之条中
学校への統合 剣持 千秋
片品北小学校の片品小学校への
統合 藤井 茂樹
明治初期の小学校教員養成と下室
田村の「小区師範学校」につい
て 大里 仁一
教育情報(平成25年8月から26年7
月の上毛新聞より)

◆群馬地名だより 群馬地名研究会
〒371-0835群馬県前橋市前箱田町29-8

小池照一方 TEL027-251-7660 1989年創刊
◇87 2014.9 B5 6p
沼田街道 その1 小池 照一

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2
宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊
blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/
◇319 2014.7 A5 80p
《特集 地域史研究の最前線 PartⅣ
—群馬の近現代史》
「群馬の近現代史」開催にあたって
宮崎 俊弥
基調講演 群馬の自由民権運動—
上毛自由党と群馬・秩父事件 岩根 承成
高山社と緑塾精糸社 関口 覺
福音伝道協会のキリスト教伝道と
製糸工女—宣教報告「The
Central Japan Pioneer」による
福田 博美
米軍史料から見た群馬県下空襲 菊池 実
平成25年度研究大会・基調講演の
報告 関口 莊右
平成25年度研究大会・研究発表の
報告 阿久津 聡
平成26年度群馬県地域文化研究協
議会総会並びに第30回地域研究
会(於・みなかみ町)の開催
大野秀彰／飯森康広
口絵 草軽電鉄関係資料サボ「草
津温泉行／上州三原行」—群馬
県立歴史博物館蔵品資料(120) 江原 岳志

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
www.l6.plala.or.jp/kuzira226/
◇235 2014.7 A5 56p

楢取素彦に関係する県内歴史散歩
井野 修二

山崎一『群馬県城館址調査の手引
き』(5) 茂木渉・翻刻／飯森康広・割付
高山彦九郎日記による歴史散歩
(43) 『北行日記』(2)／高山彦
九郎日記による歴史散歩(44)
『北行日記』(3) 正田 喜久
歴史散歩の報告(事務局企画) 田
中正造と佐野氏興亡のあと／小
金井の文化財 山崎 正

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
板橋春夫方 1979年創刊

◇138 2014.6 B5 4p
群馬の中世石塔拾遺 四方田 悟
書誌紹介 群馬県歴史民俗研究会
編『歴史・民俗からみた環境と
暮らし』 (サ)

◇139 2014.9 B5 4p
古文書研究会の活動—第100回例
会記念公園を拝聴して 丑木 幸男
『日本三大実録』貞観八年(866)
四月廿七日条について 関口 功一
第33回講演会の記録 徳丸亞木氏
「民俗文化の継承の今日的意義
—民俗調査の経験から—」 (鈴木)

2014年度総会の記録

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会
〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
埼玉県立文書館内 TEL048-865-0112
年3000円 1975年創刊

◇69 2014.6 A5 46p
追悼 黒須茂先生
黒須茂さんのご逝去を悼む 田代 脩
歴史研究一筋に励んだ黒須茂先

生を讀えて 吉本 富男
明治25年『埼玉新報』4号・『埼玉
民報』1号の「竹槍席旗」図像
について 内田 満
利根川東遷論における新出史料と
史料解釈について 長堀 栄

◆日本の石仏

日本石仏協会（発売：青娥書房）
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊
www.l.pbc.ne.jp/users/sekibutu/
◇151 2014.9 A5 64p 2000円
表紙の写真 的野の不動磨崖仏 黄瀬 三朗
巻頭随想
災害列島日本・H26年夏に 坂口 和子
《特集 石仏探訪Ⅱ》
武州・利根川西岸の十九夜塔 石田 年子
越前坂井郡の雨宝童子と六字明王 滝本やすし
関東甲信越・東北にある近代まで
の石造仁王像 高野 幸司
「天神山石」の石仏・石塔と石切り
場跡を歩く 内山 孝男
羽前上ノ山の石造三十三観音探訪 加藤 和徳
誌上講座
石仏入門(6)
釈迦如来・薬師如来 門間 勇
名号塔の知識(18)
無能と羽前の名号塔 岡村 庄造
「石」を知る(40) 小松 光衛
石仏写真と私(40) 協会の設立
時からの会員として… ゲス
ト 野口進さん 杉本 康希
あ・ら・か・る・と一私の石仏案内
五智如来塔 長崎県南高来郡小
浜町雲仙 満明寺 水野 英世

これも「六地藏菩薩」 川越市小
仙波町 喜多院斎霊殿墓地 門間 勇
会員の広場
ぶらり石仏紀行 たなかよしゆき
農耕神碑と「盃状穴」 正富 博行
愛を語る道祖神 井戸 寛
名工宮龜年刻の富士講碑 嘉津山 清
石仏交流／石仏談話室
日本石仏協会主催 一泊見学会報
告 三浦半島の石仏めぐり 井戸 寛
日本石仏協会主催 第102回石仏
見学会報告 志木市の石仏巡り 前川 勲
第36回石仏公開講座を終えて
はがき通信 伊藤文子／岡村知彦

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
岡本方 TEL04-7149-6404
www.geocities.jp/abikosisiken/
◇149 2014.7 A4 10p
歴史探訪部会 7月座学・講演（7
月9日我孫子北近隣センター）
柴田弘武会員「北総のえみし」
を聞いて 白神 正光
歴史探訪部会 7月の活動 長谷川秀也
根戸船戸遺跡 1号墳発掘現場見学
古文書日曜部会レポート 山崎 章蔵
井上基家文書研究部会
6月度の報告 長谷川 一
井上基家文書研究部会
7月度の報告 長谷川 一
井上基家文書の研究 質地証文
（10）（3）代価について 清水 紀夫
古文書火曜部会7月の活動から 加藤 直道
合同部会7月の活動 中澤 雅夫
歴史部会『字誌』6月の活動 飯白 和子
◇150 2014.8 A4 6p

歴史探訪部会 8月の活動 長谷川秀也
歴史探訪部会座学の御案内 東 日出夫
会員日より
戦争をしてはいけない 三谷 和夫
石臼の再生 東 日出夫
古文書火曜部会7月の活動から（続） 加藤 直道
歴史部会『字誌』7月の活動 飯白 和子
第1回「市民活動メッセ」に市史
研が参加しました。 市史研事務局
◇151 2014.9 A4 12p
古文書日曜部会レポート 遠島
（おんとう）／八丈島について 山崎 章蔵
歴史探訪部会 9月の活動 長谷川秀也
合同部会9月の活動 中澤 雅夫
古文書火曜部会9月の活動 古内 和巳
歴史部会『字誌』8・9月の活動報
告 関口 一郎
我孫子の社寺を訪ねる(5)
白山(2) 吉田とし子
我孫子の社寺を訪ねる(6)
高野山新田 三谷 和夫
井上家文書研究部会9月の活動 長谷川 一
井上基家文書の研究 質地証文
（11）（4）年季について 清水 紀夫
◇152 2014.10 A4 12p
市史研史跡バス見学
東国三社参りを終えて 東 日出夫
三社詣で（2014.10.1） 三谷 和夫
歴史探訪部会10月の活動 長谷川秀也
『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪
ねる』出版記念 歴史探訪部会
主催 相馬霊場の札所参り5
我孫子におけるアンバ大杉信仰
一都部と下ヶ戸の事例 近江 礼子
井上基家文書の研究 質地証文
（12）（5）・（6）年季明けの処分
について 清水 紀夫

合同部会10月の活動 中澤 雅夫
古文書火曜部会10月の活動から 谷村 廣子
古文書火曜部会活動
古文書修復現場の見学会 東 日出夫
歴史部会『字誌』9月の活動 飯白 和子
井上家文書研究部会10月の活動 岡本 和男

◆日本村落自治史料調査研究所研究紀要

〒299-4213千葉県長生郡白子町八斗16-1
川村優方 TEL0475-33-5582
◇18 2014.7 A5 34p
天保時代における旗本領の動向一
下総国香取郡須賀山村を事例と
して 川村 優
近世海付村落の存在形態について
一坂之下村の「分村」を事例に 出口 宏幸
伊能忠敬の幼少年時代について 川村 優
「主として十九世紀以降、日本史
上における事件の周期的動向に
関する試論」に対する諸氏の感
想・批判 川村 優
歴史の予見性について 濱口 晴彦
幕末から現代日本史の大事件周期
一川村優先生の高説に思う 北原 進
十七年サイクル仮説について 高村 直助
川村優氏の論考二編を拝読して 渡邊 尚志
川村優博士の新説提示について 丸山 雍成
大極的な歴史認識の重要性一川村
優先生の周期論に接して 高野 信治
情報「地方史研究」一地方史の窓
から 井上 隆男
房総書誌題目(5)一「地方史研究」
新刊案内から 井上 隆男
◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方 TEL04-7196-3375

年3000円 1980年創刊
 ◇122 2014.7 B5 14p
 26年度定期総会終る！
 貝化石を含む石材利用の石灯籠に
 ついて 斎木 勝
 木更津の石造物(4)
 石工とその系譜(3) 稲木 章宏
 調査概報 長柄町飯尾寺狛犬再考
 早川 正司
 石造文化財探訪記
 東葛西の石造文化財を歩く 玉井ゆかり

◆アーカイブズ
 独立行政法人国立公文書館
 〒102-0091東京都千代田区北の丸公園3-2
 TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp
 ◇53 2014.6 A4 61p
 〈特集 歴史公文書等の利用に係る審査につ
 いて(個人情報を中心に)―平成25年度アー
 カイブズ研修Ⅱより〉
 平成25年度アーカイブズ研修Ⅱに
 ついて 国立公文書館
 情報公開および個人情報保護の基
 本的考え方―公文書管理制度に
 照らして 友岡 史仁
 歴史公文書等の利用に係る審査記
 録について 嶋田 典人
 個人情報の公開の適否について
 ―アーカイブズ研修Ⅱ第2班
 報告 村上 淳子
 審査基準の現状・共通課題の展望
 安岡 健一
 審査・公開業務の在り方と課題 蓮沼 素子
 地方公共団体における公文書館的
 機能への着目について 石田 耕一
 「資料が語る 日本の歴史 茨城の
 歩み」を開催して 富田 任
 新たな公文書管理制度の導入によ

る青森県公文書センターの設置
 青森県総務部学事課
 豊中市における歴史的文化的文書
 の保存及び利用に関する取組み
 について 吉岡 基
 オマーン国立公文書庁との交流に
 ついて 中島郁子／小原由美子
 NARR 及びジョン・F・ケネデ
 ィ大統領図書館・博物館を尋ね
 て 小原由美子

◆あしな 山村民俗の会
 〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
 サトービル TEL03-5663-6748 年5000円
 1939年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~sanmin/
 ◇301 2014.9 B5 24p
 表紙解説 伊豆東岸・築城石刻印
 (伊東市宇佐美) 編集室
 山代神楽覚書一周防岩国北部 小原 清
 荷鞍造り・岩崎武さんと作品
 一字都宮市下戸祭町 山田 哲郎
 民俗資料ノート 石橋供養塔の語
 るもの・その2―埼玉県西部地域
 の分布(2) あしな編集室
 山野を歩き続けた“旅人”
 一飯野頼治氏を偲んで 杉崎満寿雄
 飯野頼治さんを悼む 鷺頭 隆
 山里だより(20) 深見山中「鉤掛
 けの桜」―丹波美山町 西浦 左門
 旅の草ぐさ(15) 伊豆石探索行―
 皇居東御苑と伊豆東岸「御石ヶ
 沢」周辺 荒井 俊昭
 文献紹介 お犬様の御札一狼・神
 狗・御眷属 松葉正敏著

◆明日を拓く 東日本部落解放研究所
 〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
 TEL03-5603-1861 1993年創刊

◇105 (40-5) 2014.3 A5 136p 1000円
 《特集 差別と向き合い、共生をめざす社会
 を手探りする》
 特集にあたって 編集部
 松島幸洋さん(東京都連葛飾支部)
 に聞く 部落民を名乗り、部落
 民を伝えるということ 語り
 手：松島幸洋さん／聞き手：ス
 ターディック・マーティンさん
 多文化が進行する高等教育の現場
 にいま必要なこと―外国につな
 がる生徒たちの人権保障はいま
 … 角田 仁
 2014年度 第1回定例研究会 フラ
 ンスの移民教育―多文化共生
 のための共和国原理の可能性
 とその限界
 第1部 報告 池田賢市さん
 第2部 質疑・議論 日本の社会
 状況・教育実践との対話
 本の紹介 内田龍史編著『部落問
 題と向き合う若者たち』 深田 広明

◆足立史談
 足立区教育委員会足立史談編集局
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
 ◇557 2014.7 A4 4p
 明治の足立を探る 企画展開催
 中！ 企画展「明治という夢―
 祈りと戦いの足立―」 郷土博物館
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
 い出(20) 鹿浜の子どもの生活
 ・その2 小川誠一郎
 江戸六阿弥陀巡拝路(3) 本間 孝夫
 ◇558 2014.8 A4 4p
 柳下写真館の歴史写真 郷土博物館
 シンポジウム「明治期足立の光と

影」報告 夏目 琢史
 江戸六阿弥陀巡拝路(4)終
 「六阿弥陀路略記」… 本間 孝夫
 ◇559 2014.9 A4 4p
 新収蔵の戦時中資料 若き東武鉄
 道社員の徴用と出征 郷土博物館
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
 い出(21) 鹿浜の子どもの生活
 ・その3 小川誠一郎
 古写真の撮影場所をさぐる
 綾瀬川関係の古写真2点 鈴木 恒雄
 足立区立郷土博物館 平成26年度
 ミニ展示「記憶になったお化け
 煙突 解体50年」
 ◇560 2014.10 A4 4p
 特別展「あだち物流のひみつ モ
 ノを運ぶ歴史と文化」
 縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
 い出(22) 鹿浜の子どもの生活
 ・その3 小川誠一郎
 愛されたお化け煙突 ミニ展示
 「記憶になったお化け煙突―解
 体50年―」から
 千住大橋は、千住の町の生みの親
 樺原 文夫
 そんな千住の魅力を大紹介！ 郷
 土博物館出張パネル展「千住歴
 史大全」

◆足立史談会だより
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
 ◇316 2014.7 A4 8p
 発掘調査から見えてくるもの 伊
 興小学校の地まで実相院境内地
 だった… 史談大学・伊興遺跡
 関連の試掘調査を見学
 合衆国首府「ワシントンの桜」(22)

昭和26年・東京都公園協会 第二回目の桜 無事ワシントンにつく

足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 有形文化財(歴史資料) 阿弥陀一尊種子板碑 1基、釈迦一尊種子板碑 1基、他

6月探訪報告 湯島聖堂・神田明神 東京大空襲 吉岡 和子

おめでとう・潤徳学園創立90年 おかげさまで90周年 第12号

鷗外忌・墓前祭 三鷹市禅林寺 ◇317 2014.8 A4 8p

第8回区民研究発表会

合衆国首府「ワシントンの桜」(23)

昭和26年・東京都公園協会 ワシントンのよこび／植えた場所とその植え方

足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 有形文化財(歴史資料) 六字名号(双式)板碑 2基、阿弥陀三尊種子板碑 1基、阿弥陀三尊種子板碑 1基／有形民俗文化財 横山家住宅 1棟

学童疎開資料展／疎開の追憶から (川井トヨ子)

おめでとう・潤徳学園創立90年 おかげさまで90周年 第13号、第14号、最終号

感想・学童疎開資料展から ◇318 2014.9 A4 8p

「記憶になったお化け煙突」郷土博物館ミニ展示／十月探訪案内 鎌倉探訪 極楽寺坂から大仏へ

合衆国首府「ワシントンの桜」(24)

昭和26年・東京都公園協会 植

えた場所とその植え方2／ワシントンの第1回桜まつり1

足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 有形民俗文化財 清水家住宅 1棟、阿出川家煉瓦造蔵 1棟、増野製作所長屋門 1棟

第8回区民研究発表会(史談会29回)

講評にかえて 安藤 義雄

学童疎開から (木嶋)

区民研究発表会報告

足立の学童疎開資料展から 川井トヨ子

学童疎開70周年資料展 木嶋 孝行

学寮高井寺模型について 木嶋 孝行

発表会の感想

東京の満蒙開拓団(上) 竹内 秀夫

◇319 2014.10 A4 8p

文化財ウィーク

合衆国首府「ワシントンの桜」(25)

昭和26年・東京都公園協会 ワシントンの第1回桜まつり2／ニューヨークの桜 高峰譲吉博士の努力

足立区の文化財 平成2年版「足立区の文化財」による 有形民俗文化財 赤羽家長屋門 1棟、保木間十三仏堂 1棟、細井家経蔵 1棟

9月探訪報告 内藤新宿

疎開学童の心の中に残されたもの 「怪我と病気のお使い」 当時西新井国民学校三年 川井トヨ子

高張り提灯と手古舞

9月13日・栗原氷川神社

復活・継承された獅子舞

復活四十五年新たな関門も…

足立の伝統芸能

鹿浜獅子舞を見て 田中 三郎

東京の満蒙開拓団(下) 竹内 秀夫

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026東京都府中市南町6-32

Tel.042-368-7921 1987年創刊

www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇108 2014.6 A4 8p

「多摩川ジオラマのミニチュア模型」

リニューアル速報！(1)

都市と緑と 中村 武史

最近の発掘調査 府中駅南口再開

発第一地区の発掘調査速報 室

町二丁目 野田憲一郎

NOTE 府中における養蚕と神仏

佐藤 智敬

多摩川おさかな考(1) オイカワ 中村 武史

平成25年度 寄贈・寄託資料一覧

／平成25年度 利用状況

連載 天文・宇宙の最新動向(5)

はやぶさからはやぶさ2へ(1)

インタビュー：吉川真氏 本間 隆幸

◇109 2014.9 A4 8p

「車返の方々による「セイノカミ」

の再現作業風景」

リニューアル速報！(2)

「セイノカミ」再現 佐藤 智敬

展示会案内 企画展 江戸時代の文化人と府中の遊芸 花木 知子

NOTE 都市は代替地？それとも

新天地？ 中村 武史

多摩川おさかな考(2)

ハゼの仲間 中村 武史

最近の発掘調査 縄文時代中期の河童形土偶 若松町一丁目 中山 真治

連載 天文・宇宙の最新動向(6)

はやぶさからはやぶさ2へ(2)

インタビュー：吉川真氏 本間 隆幸

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3

大澤鷹遼方 Tel.03-5398-2682 1966年創刊

◇281 2014.8 B5 40p

表紙写真解説 「里神楽」 萩原正

義社中 氷川神社(氷川町) 井上 富夫

向原の昔(8) 向原に展開した農作業と農機具一向原小学校「むかし館」の所蔵品から 三原寿太郎

生誕100年 佐藤太清(文化勲章受章者) 板橋区立美術館展を振り返る 石塚 輝雄

史談会のあゆみ(4月～6月) 各部

◆縁 集いの広場 縁フォーラム

〒180-0023東京都武蔵野市境南町2-12-603 武蔵野エイトマンション

倉石美都方 2012年創刊

◇6 2014.6 A4 60p

《民俗地図特集》

民俗地図を特集するにあたって 高久 舞

九州におけるモグラウチの分布 三輪 京子

滋賀における字誌刊行リストの作成と民俗調査への活用について

吉村 風

新潟県の道祖神信仰 倉石 忠彦

「私」とは何か

一ある民俗学者による考察 真野 俊和

◇7 2014.9 A4 42p

大人になるということ

一韓国の成人儀礼 倉石 美都

「私」とは何か

一ある民俗学者による考察 真野 俊和

神奈川県の道祖神信仰 倉石 忠彦

アイナーヨイの現在

一石垣島の結婚披露宴 高久 舞

現代女子大生の「一人前」 倉石あつ子

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒350-1301埼玉県狭山市青柳63

新佐山ハイツ4-504 藤本一美方

◇398 2014.7 B5 26p

山名標識・道標類私見 藤本 一美

野生からのメッセージー三峯発 矢口 益男

奥武蔵・秩父の獅子舞(53)

一滑川 月輪神社の舞 関口 洋介

山行報告

秩父札所巡り(1) 西東 昭夫

続編・奥武蔵中世の城跡を歩く

(12) 八王子城 岡野 守

廃線を歩く(12)

軽便鉄道・羽村山口線 関口 洋介

秩父札所巡り(2) 西東 昭夫

◇399 2014.9 B5 30p

「奥武蔵・秩父百山」考 藤本 一美

白岩に捧げる鎮魂 小泉 重光

奥武蔵・秩父の獅子舞(54)

一鳩山町、泉井神社の舞 関口 洋介

慈光寺麓18社巡拝(3) 酒井 昌樹

都県界尾根坊主山に掛小屋があっ

た頃の話 藤本 一美

安全対策活動を通して 梅田 武夫

山行報告

続編・奥武蔵中世の城跡を歩く

(13) 滝城と平林寺 小泉 重光

秩父札所巡り(3) 西東 昭夫

埼玉県3偉人・荻野吟子の足跡

を訪ねて 関口 洋介

◆季刊 Collegio 之 潮

〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505

TEL042-328-1503 2005年創刊

www.collegio.jp

◇56 2014.6 B6 76p 500円

田園調布台 松田 磐余

高田島日記一福島県及葉郡川内村

の一角から(1)

東京の階段 河野 保雄

フランス古地図音楽散歩(38) 松本 泰生

シャン・ド・マルス 関根 敏子

石神井川の上流部を歩く 菅原 健二

坂とCMが出会うとき(3) 渡邊 一夫

縄文遺跡と地形 町田市上の原・

八王子市深沢遺跡 安孫子昭二

せたがや中世拾い歩き(7) そし

て熊野神社は残った一熊野先達

満願寺と檀那吉良氏 谷山 敦子

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10

大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇113 2014.8 B5 12p

第378回 月例研究会

私たちの生活と地名について 倉木 常夫

第377回 講演会

考古学から見た飛鳥山公園 鈴木 直人

第379回 座談会

豊島区民センター 豊島の昔を

語る会一豊島地区座談会Ⅲ

司会・記録 領塚正浩

◆儀礼文化ニュース

一般社団法人儀礼文化学会

〒160-0012東京都新宿区南元町13-7

TEL03-3355-4188

◇195 2014.9 A4 8p

催事スケッチ 長崎くんち

龍踊りに喝采浴る 渡辺 良正

特別企画 岡山にただ一つ残る家

老屋敷一足守藩侍屋敷あれこれ

内田 一正

会員を訪ねる

中尊寺(岩手県西磐井郡平泉町)

破石 澄元

観音寺(宮城県気仙沼市本町) 久保田裕道
レポート

平成26年度儀礼講座(第1回) 茶

道 日本の茶 博物館見学と

狭山茶の歴史一江戸時代から

現在まで 講師:工藤宏 佐々木 寛

平成26年度儀礼講座(第2回) 仏

教 戸津説法 法華経講話

講師:杉谷義純 佐々木 寛

第2回儀礼文化セミナー 料理

フランス料理を楽しむ会 門脇悠美子

儀礼文化研究会 中国湖南省江

永県地域における「女性もの

づくり」文化の特質 楊 洋

弔辞 田中弘清氏・横山宏充氏

◆個人誌 散歩の手帖 木村成生

〒197-0023東京都福生市志茂113-2

rakkodou.cside.com

◇27 2014.6 A5 62p

餅なし正月の意味と起源 木村 成生

小正月の訪問者と餅のゆくえ 木村 成生

引用参考文献 木村 成生

◆交通史研究

交通史学会(発売:吉川弘文館)

〒365-0023埼玉県鴻巣市笠原1435-1

波田野富信気付 1976年創刊

www.kotsushi.org

◇83 2014.8 A5 83p

交通史学会 第3回(第40回)大会・

総会報告 常任委員会

中世後期の陸の道・川の道

一筑後地方 石橋 新次

淀川筋綱引役に見る二重役意識の

変遷 飯沼 雅行

旅先地域と客引き一近世後期の上

野国吾妻郡草津村を事例に 高橋 陽一

書評 鴨頭俊宏著『近世の公用水
通路をめぐる情報一瀬戸内海を

中心に一』 落合 功

例会報告要旨 第9回卒業論文・修

士論文発表会(第3回例会) 常任委員会

展覧会情報/会員彙報

◆産業考古学研究 東京産業考古学会

〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43

柚須紘一方 FAX048-479-7490

2014年創刊 tias3.web.fc2.com

◇1 2014.6 A4 51p

創刊にあたって

東京産業考古学会の学会誌創刊

に際して 小山 聡

論文集創刊に寄せて 金子 六郎

学会へ三つの願い 山下 甫

創刊を祝す 田口 勇

金森式鉄筋煉瓦とその施行法につ

いて 八木 司郎

調査報告

甲武鉄道と中央線の建設につい

て一八王子の鉄道の事例 中村 明美

幕末の滝野川反射炉について 馬場 永子

「建築代理士」の表示板 堀内 仁之

はじめて器械製糸を伝えたスイ

ス人ミユラー 長野 恭彦



研究ノート

産業考古学と日本最初の工業地帯の成立 金子 六郎

アメリカのSL登山鉄道とアメリカ最大級の木造建築 河合 恭平

フォーラム 産業考古学について考える—東京産業考古学見学会を通して 多田 統一

学会関係 2013年度学会活動、2014年度総会、第1回研究大会

*東京都および近郊地域の産業遺産の調査・研究、保存等を目的に1996年に結成された東京産業考古学会から、研究紀要が創刊された。創刊の言葉で小山徹会長は、会創立からまもなく20年を迎え、学会としての対外活動、会員の研究発表の意欲が充実し、定期的な学会雑誌の刊行と研究集会の開催を始めるまでに成長したと謙遜するが、行事予定とその報告、資料紹介などを掲載する「東京産業考古学会 NEWSLETTER」は107号を数え、この間、着実に活動してきたことがよく分かる。小山会長は続けて、「産業考古学の対象はモノであっても、そのモノは工学分野の施設や装置ハードウェアに止まることなく、人文・社会科学分野のヒトの活動まで包含するソフトウェアやシステムに及ぶ」とし、産業遺産は「ヒトの歴史において普遍的価値をもつ広い意味での文化財」であり、未来に伝えたいモノは「負の遺産」も含め沢山ある筈であると述べる。そうしたヒトと文明的な視点から調査、研究のさらなる充実を期待したい。

◆品川歴史館紀要 品川区立品川歴史館

〒140-0014東京都品川区大井6-11-1 TEL03-3777-4060 1986年創刊

◇29 2014.3 B5 160p

《特集 特別展「大井に大仏がやってきた！

—養玉院如来寺の歴史と寺宝—》

養玉院如来寺と天海 中川 仁喜

長崎で彫像された黄檗様の養玉院本尊の伝来について 米谷 均

如来寺開山 木食但唱

—その足跡と造像例 湯本 幸子

展示批評

「大井に大仏がやってきた！—養玉院如来寺の歴史と寺宝—」展をみて 山口 幸代

特別展「大井に大仏がやってきた！—養玉院如来寺の歴史と寺宝—」をふりかえって—その成果と課題 湯本 幸子

史料紹介

旗本京極家とその家臣団に関する史料—永坂家文書から 富川 武史

永坂家文書の由来、その保管と整理 永坂實／永坂秀子

火葬寺の発掘調査概要—近世—近代における桐ヶ谷遺跡の様相 中野 光将

史料紹介 品川区指定文化財

長徳寺文書 富川 武史

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊

◇86 2014.7 A4 8p

駿府城に坤櫓が復元—二の丸西南角に二層・三階で再現

隠岐小特集(1) 隠岐国 道後の中世城郭について 小高巳季彦

隠岐小特集(2) 中世古文書からみる隠岐諸島 伊藤 一美

隠岐小特集(3)

伝黒木御所の丘は海賊城の構 西ヶ谷恭弘

最近の注目される城郭関係図書から 京都府教育委員会『京都府中世城館跡調査報告書』第三冊「山城編1」

最近の城郭ニュースから 岐阜城の信長居館庭園／米沢の館山城から石垣出土／姫路城大天守素屋根除去

各地の城郭研究会活動から／平成26年度 総会・大会

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇246 2014.7 A4 10p 400円

上井草村の杉本勝三郎 野本 禎司

東京文化財ウィーク2013例会記

蚕糸の森公園から旧和田堀内村の文化財を訪ねて 大河原善雄

平成25年度 事業報告／平成25年度 杉並郷土史会 収支決算報告書

バス見学会報告記 富士山信仰御師の町と日蓮宗総本山身延山久遠寺を訪ねる 服部 建人

第514回例会記 初戯曲「庭に一本 なつめの金ちゃん」を語る 講師：出久根達郎先生 新村 康敏

◇247 2014.9 A4 10p 400円

昭和19年9月5日～10月5日 寮母日誌 大和国民学校集団疎開寮母長 神山はる 神山 敏夫

斎藤茂吉 最上川の歌 須永万里子

杉並区有形文化財(26年2月26日指定) 与謝野晶子自筆杉並区立桃井第二小学校校歌・関係資料

伊東忠太と荻外荘 新村 康敏

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1 大島方 年2000円 1957年創刊

www11.ocn.ne.jp/~oinari/

◇227 2014.6 B5 31p

疱瘡神の天女姫 大島 建彦

千葉県我孫子市下ヶ戸のオビシヤ 近江 礼子

三浦市南下浦町菊名の飴屋踊り 清水 亨桐

吉田綱富『見聞雑記』にみる正月行事 水野 道子

三重の天狗像—昔話・伝説・世間話からの考察 高橋 成

地蔵を叩く—甲府市丸の内法輪寺のカンカン地蔵ほか 小池 淳一

◇228 2014.9 B5 33p

過疎化する地域に残るという選択—新潟県十日町市星峠の焼き芋屋出稼ぎを事例に 渡部 鮎美

宮崎県の柴折り 大島 建彦

下総国の新四国猿島八十八ヶ所霊場 近江 礼子

和歌山の天狗像 高橋 成

◆せたかい 世田谷区誌研究会

〒156-0045東京都世田谷区桜上水3-12-13 新川陽一方 TEL03-3302-4575 年2000円

1951年創刊 www.setagaya-kushiken.jp

◇66 2014.7 B5 104p 1000円

会長就任の御挨拶 新川 陽一

横山会長退任にあたって 編集委員会

戦前の「せたかい」を顧みて(2) 瀬村 進

世田谷八幡宮の奉納相撲 松本 龍雄

「桜田門外の変」雑記 猪俣 一郎

私の玉電追憶(2) 大塚 勝利

世田谷線 沿線各駅散歩道(2) 中村 甲

世田谷若林の思ひ出 山田 蓉子
 駒沢球場とスタルヒン 秋山清太郎
 世田谷の寺院(計量的見地から) 高木 良浩
 慶元寺報集録から読む江戸氏・喜
 多見氏の小史 武居義之・編
 世田谷区誌研究会25年度の記録
 講演会「太田道灌の銅像と山吹
 の里伝説を訪ねて」(佐藤博
 氏 大田区郷土の会副会長) 阿部 正興
 バス見学会 富士山本宮浅間神
 社〜由比宿〜清見寺ほか 内山 昌玄
 史跡散歩 三軒茶屋から池尻間
 の神社・仏閣を訪ねる 新川 陽一
 講演会「黒船来航と世田谷」(演
 中正之氏 世田谷区生涯大学
 専任講師) 市川 博正
 史跡散歩 中世吉良氏領衾村界
 隈を訪ねる 高木 良浩
 バス見学会 信仰の山筑波山・
 筑波山神社から桜川市真壁町
 ・雨引山樂法寺を訪ねる 尾崎 隆子
 ネットワークプロジェクト「せ
 たがやの小京都烏山町を歩い
 てみませんか」実施報告 奥野 徳男
 講演会「一八五三年 鎌倉の吉
 田松陰」(土谷精作氏 元N
 HK放送文化研究所所長) 中井 盛久
 講演会「曹洞宗・北陸にはじま
 り全国への伝播、展開」(伊
 藤良久氏 駒沢大学講師) 武居 義之
 史跡散歩
 瀬田地域の史跡を訪ねる 阿部 正興
 事務局からのご報告
 25年度総会報告 高木 良浩
 学習会報告

◆戦国史研究

戦国史研究会(発売:吉川弘文館)

〒113-0033東京都文京区本郷7-2-8
 TEL03-3813-9151 1981年創刊
 ◇68 2014.8 A5 52p 649円
 戦国期下総国香取社大櫛宜職の継
 承と動向 石渡 洋平
 戦国期細川邸近辺の空間構造一歴
 博甲本洛中洛外図屏風を素材に
 小谷 量子
 奥羽安東氏と織田政権の交渉に関
 する二点の史料 功刀 俊宏
 「武家御足輕」鱸兵庫助について 小川 雄
 織田・毛利開戦の要因 柴 裕之
 天正七年付有馬氏家臣連署起請文
 について 林田 崇
 戦国史関係論文目録(平成25年7月
 〜12月)
 例会報告要旨
 第409回例会 後北条領国の宿
 と市一鶴間・根岸と松山本郷
 の事例より 山下 智也
 第410回例会 明応の政変の再
 検討―諸大名の動向から 小池 辰典
 第411回例会 越後上条上杉氏
 の基礎的考察―長祿〜天文期
 の検討を中心に 田中 宏志
 第412回例会 北条氏照とその
 「家臣」たちの戦争 池上 裕子
 第413回例会 鎌倉における中
 世防禦施設の変遷 佐脇敬一郎
 第414回例会 織豊期の尾張津
 島社一杜家組織の確立 羽柴 亜弥

◆全日本郷土芸能協会会報

〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク
 ハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290
 年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp

◇76 2014.7 A4 24p

御宝殿の稚児田楽・風流 福島県

いわき市錦町御宝殿 熊野神社
 平成26年度定時社員総会報告
 全国民俗芸能保存振興市町村連盟
 第38回定期総会 秋田県羽後町
 で開催
 報告 第10回全国獅子舞シンポジ
 ウム IN 白岡 高橋 裕一
 東日本大震災・郷土芸能復興支援
 プロジェクト
 第23回全国地芝居サミット in 神
 戸ー北区農村歌舞伎上演会/第
 24回全国地芝居サミット in 魚
 沼/予告 第25回全国地芝居サ
 ミット 東京あきる野市で開催
 地芝居探訪(51) 常盤座歌舞伎/
 津谷木歌舞伎/鳳凰座歌舞伎/
 全国子供歌舞伎フェスティバル
 in 小松/秩父歌舞伎正和会/
 小原歌舞伎
 地芝居あれこれ(15) 地芝居ボラ
 ンティア in 湖西歌舞伎 蒲池 卓巳
 地芝居公演情報 7月中旬〜10月
 常盤座歌舞伎(中津川市)
 林武夫氏を偲ぶ (城井)
 地芝居一会員紹介
 神戸すずらん歌舞伎 竹内 隆
 民俗楽器(52)
 トルコの軍楽隊 メフテル 山本 宏子
 祭暦 2014 7月下旬〜10月中旬
 夏〜秋のイベント情報 2014/次
 回の国民文化祭「第30回国民文
 化祭・かごしま2015」ひとつとべ!
 かごしま国文祭
 空白の沖縄芸能史(5)
 嗚呼!我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄
 会員紹介 安田おどり保存会 三木長太郎
 人形芝居観覧記 第4回ひとみ座
 乙女文楽若手公演 北河 直子

郷土芸能なう!! 浜の祭りをいつ
 までも一宮城県石巻市雄勝町白
 銀神社の例祭 西嶋 一泰

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
 光田憲雄 TEL03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/

◇266 2014.7 A4 2p 100円

夏の行事と生業

◇267 2014.8 A4 2p 100円

『塵塚談』が載せる雑事・雑業

◇268 2014.9 A4 2p 100円

深川江戸資料館主催の春秋彼岸定
 期公演「江戸の物売り」と大道芸」
 へ今回も出演します

◇269 2014.9 A4 2p 100円

《江戸の物売り」と大道芸プログラム》

江戸の物売りと庶民芸

9月20日(土)開催

◇270 2014.10 A4 2p 100円

深川江戸資料館主催「江戸の物売
 りと庶民芸」盛況裡に終了

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1
 梶原方 1991年創刊
 tamatiken.web.fc2.com

◇111 2014.9 B5 8p

第23回大会報告 多摩地域史研究
 会 第23回大会「多摩の木材利
 用」参加記 安斎 順子
 新刊紹介

『追憶・西関東の鉄道貨物輸送』
 図録紹介 北村 拓
 東村山ふるさと歴史館編『徳蔵
 寺展一元弘の板碑と寺にまも
 られてきた文化財』図録紹介

峰岸 純夫
地域史情報室 くになち郷土文化
館開館20周年秋企画展 くになち
ち発掘—最近の発掘調査から

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
www.tamashin.or.jp

◇155 2014.8 A5 110p
ごあいさつ 八木 敏郎
《特集 多摩の池》
「船木田」考
一池沼を田に変えた船木 石井 義長
八王子城跡御主殿の池 村山 修
国分寺崖線の湧水がつくる池と人
々との関わり 牛垣 雄矢
水循環からみた多摩の湧水と池 沼尻 治樹
多摩地域の湧水と池 大八木英夫
洋風建築への誘い(44)
あの想いが今も・米軍ハウス 伊藤 龍也
建物随想記(39)
洋風建築だった「ハウス」 酒井 哲
古文書は語る(39) 高尾山薬王院
と紀伊徳川家との関わり—高尾
山薬王院文書「母子肥立ち祈願
ならびにお守り札送付依頼状」馬場 憲一
多摩の食文化誌(16)
稗を作って食べる暮らし 増田 昭子
多摩のみほとけ(18) 多摩市小野
神社 木造隨身倚像(二軀) 齊藤 経生
本の紹介
狛江市教育委員会編『近代日本
名士たちの筆あと 「福並定
雄蒐集資料」から』 池田 勇太
清瀬市郷土博物館編『清瀬の民
俗行事と民俗芸能』 今井美代子
バルテノン多摩編『みゆきのあ

と一明治天皇と多摩一』 吉岡 拓
情報 多摩の博物館だより

◆伝 え 日本口承文芸学会
〒182-8525東京都調布市緑ヶ丘1-25
白百合女子大学 間宮史子研究室
TEL03-3326-5144 年4000円 1987年創刊
ko-sho.org

◇55 2014.9 B5 8p
第38回大会に参加して 真下 厚
第66回日本口承文芸学会 例会報
告『原話』はどこにあるのか
—昔話の翻案・再話・二次創作
と「原話意識」 野村 敬子
第38回日本口承文芸学会大会
公開講演報告
佐藤翔輔氏「『災害の経験を
伝える』活動の最新動向—
災害かたりつぎ研究塾の合
宿活動+αをもとにして」難波美和子
小野和子氏「『語り』『聞く』
という営みについて—東日
本大震災の波をくぐって」根岸 英之
鈴木岩弓氏「震災被災地にみ
る死者と生者の接点」 内藤 浩誉
研究発表報告1 中村とも子
研究発表報告2 立石 展大
研究発表報告3 奥田 統己
シンポジウム報告
「災害と口承文芸」 杉浦 邦子

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火
止4-8-43 柚須紘一方 FAX048-479-7490
tias3.web.fc2.com

◇107 2014.7 A4 6p
報告 見学会「大林組技術研究所」

堀内 仁之
新刊紹介 『今は昔 民具など』
山本富三著 多田 統一
博物館シリーズ(17) 伝記を使っ
た最初の照明 アーク灯 小野田良智
第3回理事会の議事概要／第4回理
事会の議事概要
茨城県稲敷市の赤煉瓦建築物(3)
関口邸長屋門及び蔵(1) 八木 司郎
◇108 2014.9 A4 6p
短信 森林学会、「森林遺産」を
選定／第5回理事会の議事概要
報告 講演会「平野富二の生涯を
懸けた業績」 玉井 幹司
報告 見学会「容器文化ミュージ
アム」 多田 統一
新刊紹介 『三池炭鉱の歴史と技
術—大牟田市石炭産業科学館ガ
イドブッカー』 N P O 法人大
牟田・荒尾 炭鉱のまちファン
クラブ編 多田 統一
博物館シリーズ(18)
激動の昭和を航行した宗谷 小野田良智
寄贈資料の紹介 『産業と文化』
第6集 新潟産業考古学会 馬場 永子
茨城県稲敷市の赤煉瓦建築物(3)
関口邸長屋門及び蔵(2) 八木 司郎

◆日本民俗音楽学会会報
〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1
国立音楽大学 山本幸正研究室気付
www.s-jfm.org

◇41 2014.7 B5 27p
巻頭言 研究ネットワークの形成
を願う 藤井 知昭
民俗音楽学会 第9回日本民俗音楽
研究会へのお誘い 権藤 敦子
日本民俗音楽学会第28回〈東京大

会〉のご案内 星野 紘
岳路というところ 島 忠久
三十年ぶり！塩野神社の祭り
一甲子中間祭 剣持 康典
郡上の大神楽 松田 一雄
記録集『イタコ中村タケ』の発刊
にあたって 中山 一郎
第3回例会報告
全体報告 寺田真由美
歌唱活動における児童の表現に
ついて 三橋さゆり
教材としての日本の太鼓につい
て 浅田 裕
ブータンのツァンモのことなど
伊野 義博
ブータンの歌ツァンモ調査と音
楽教育という視点 黒田 清子
第2回例会報告 音階判別に関わ
る諸問題について 河瀬 彰宏

◆練馬郷土史研究会会報
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊

◇352 2014.7 A4 4p
豊島氏関係史料を読む(18) 天正
十二年三月十一日太田氏房印判
状について 伊藤 一美
東京市養育院と彼のひとびと(後
篇11)—児玉花外・島崎こま子・
長谷川利行・物集高量 日向康三郎
昭和史雑感 昭和天皇と将軍達
(21) 真崎甚三郎(18) 鎌田 茂男
◇353 2014.9 A4 4p
東京市養育院と彼のひとびと(後
篇12) 放縦とフォープの画家
長谷川利行 日向康三郎
練馬の城を往く(11) 庄氏居館推

定地（練馬区大泉三丁目） 八巻 孝夫
昭和史雑感 昭和天皇と將軍達
(22) 真崎甚三郎(19) 鎌田 茂男

◆練馬古文書研究会会報

〒177-0053東京都練馬区関町南4-15-3-603
鈴木方 TEL03-3920-3627 1985年創刊
www7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/

◇52 2014.6 B5 4p

講演録 黒田官兵衛

一その生涯と戦略 柴辻 俊六

文英清韓 栗山 格彰

◇53 2014.12 B5 4p

頼支峰と第三樹三郎 栗山 格彰

戸外学習会 維新前夜の飯能

市郷土館と能仁寺を見学 坂本 晶

桑島新一氏の逝去を悼む 柴辻 俊六

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊

◇107 2014.7 B5 4p

桑島新一先生を悼む 谷治 正孝

桑島新一先生を偲ぶ 下島 邦夫

追悼文 長坂淳子／徳川 達子

追悼 後藤光さん 下島 邦夫



日本の地名を縄文語で解釈する
第98回例会 II 各論一名は体を
表す(第104号続き) 井上 政行
◇108 2014.9 B5 4p

第108回例会

練馬の下掃除 内野 博司

第107回例会

東京郊外の市街地化と練馬 飯塚 芳男

*元練馬区史編纂委員で、練馬区地名研究会

や練馬区古文書研究会の創立に尽力された桑

島新一氏が2014年5月に89歳で逝去された。

「練馬区報」に「練馬の地名いまむかし」を

長く連載し、区民に地名への関心を高め、そ

れが地名研究会創立につながった。長年の蓄

積は『練馬区地名目録』（練馬区地名研究会、

平成11年）に結実している。地名研究会、古

文書研究会両会において調査、研究の中心的

存在であったが、常に事務局長、会報の編集

長格の立場に徹し、会を支えられた。如何に

も氏の人物である。筆者は一時期古文書研究

会に加えていただき、区内旧家の文書調査で

親しくご指導いただいた。筆者が地方史文献

目録の編集をしていたことから、会報の創刊

を相談され、レイアウトと編集を委ねられた。

心からご冥福を祈り、感謝を申し上げる次

第である。

◆ねりまの文化財

練馬区地域文化・生涯学習課伝統文
化係

〒176-0012東京都練馬区豊玉北6-12-1

TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇92 2014.9 A4 4p

東京文化財ウィーク2014 企画事

業 企画展「ねりまの遺跡を学

び 土器に触れてみよう！」／

企画事業 尾崎遺跡(都指定史

跡)出土品解説会

石神井公園ふるさと文化館 東京

文化財ウィーク関連事業 特別

展「型紙の美 武蔵大学蔵「朝

田家型紙コレクション」―幕末

から明治の染めの世界―、古

民家解説会、石神井城跡発掘パ

ネル展、特別公開「小野蘭山墓

誌」の公開展示／第26回練馬区

伝統工芸展

文化財保護推進員の活動を紹介し

ます／石造物の移転情報

国指定・登録、都指定の文化財を

公開しています 練馬白山神社

の大ケヤキ、三宝寺池沼沢植物

群落、牧野記念庭園、石神井城

跡、小野蘭山墓及び墓誌、池永

道雲墓、東高野山奥之院、丸山

東遺跡方形周溝墓出土品

◆文化財ニュース

千代田区立日比谷図書文化館

〒100-0012東京都千代田区日比谷公園1-4

TEL03-3502-3348 2012年創刊

hibiyal.jp/bunkazai/

◇6 2014.6 A4 8p

平成26年度文化財企画展 千代田

区文化財保護条例施行30周年記

念展示「千代田の文化財で綴る

江戸・東京」開催特集号

特集 平成26年度文化財企画展

千代田区文化財保護条例施行30

周年記念展示「千代田の文化財

で綴る江戸・東京」

平成26年度新指定文化財紹介 震

災復興橋梁図面(麹町区・神田

区) 55点／江戸城跡出土本丸関

係資料 89点／水盤 1基

千代田の年中行事 七夕・八朔

新刊報告書紹介 文化財調査報告

書25『ある商家の軌跡―紀伊

国屋三谷家資料調査報告書―』滝口 正哉

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学日本常民文化研究所内

TEL045-481-5661 年5000円

www.soc.nii.ac.jp/nmg/

◇149 2014.6 B5 74p

大河津分水小路に関わった野鍛冶

の道具―西蒲地域の野鍛冶の事

例から 森 行人

ヨシとクグをめぐる民俗と民具―

東京湾奥部・江戸川河口のヨシ

原から 尾上 一明

ひろば

第137回日本民具学会研究会報

告「被災民具への対処―現状

と課題」 小谷竜介／東條さやか

第140回日本民具学会研究会報

告「飯能市市栗民俗資料室の

民具の保存と活用～収蔵展示

室取り壊しに揺れた民具のそ

の後～」 宮本八恵子／桃井宏和

書評 五十嵐稔著『民具探訪見聞

記』 池田 哲夫

書籍紹介 池田貴夫著『なにこれ

！？北海道学』 神野 善治

展示批評・展示紹介

くにたち郷土文化館企画展「谷

保の歌が聞こえる～歌と共に

みる村の暮らし～」展を見て

川野 和昭

「谷保の歌が聞こえる～歌と共

にみる村の暮らし～」展示を

振り返って 安齋 順子

葛飾区郷土と天文の博物館特別

展「肥やしの底チカラ」 長井 亜弓
「肥やしの底チカラ」について 堀 充宏

◆郵便史研究 郵便史研究会
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7
田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円
1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp
◇38 2014.9 B5 60p 2000円
シンポジウム特集
草津山内家文書と新発見の前島
書簡 郵便史研究会
山内家文書と前島密 八杉 淳
山内駒通権助の墓前にたたずみ
て 藪内 吉彦
山内頼富と福岡県における郵便
事業の展開 田原 啓祐
駒通寮大阪出張所管内で起きた
郵便犯罪と電報 佐々木義郎
草津宿における前島密書簡発見
の意義 井上 卓朗
郵政博物館所蔵「五街道分間延絵
図」の概要 井上 卓朗
旧刊紹介(12)
『通信省郵便法規の諸問題』 鈴木 克彦
小包送票異聞(10) 代金引換送票
加藤 秀夫
日本郵便史雑感 澤田 平
イギリス郵便史余話「レターシ
ート」から「封筒」へ 星名 定雄
近刊紹介
最近の情報120号 最近の情報
発信10周年記念(誌) 田中 寛
郵政歴史文化研究会編
郵政博物館研究紀要 星名 定雄
ヴォルフガング・ペーリンガー
(高木葉子訳) トゥルン・ウ
ント・タクシス その郵便と
企業の歴史 星名 定雄

◆小田原史談 小田原史談会
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇238 2014.7 A4 30p
近・現代を彩った女性たち
一関喜久子の軌跡 宇佐美ミサ子
「中村湖」を想定した下中の古道
箱根路を探る 榎本 保美
小田原史談会史跡めぐり
早川から石橋を歩く (松島)
早春の房総を訪ねる 加曾利貝塚
田口 鏡子
大久保家(小田原)江戸屋敷の変遷
(上) 中村 静夫
小田原藩浅田兄弟の敵討
『孝貞義鑑』散策(20) 鈴木 好
小田原を去来した茶人たち 金子 清
父横井半三郎と母鎮のこと
中村恒子さん (松島)
平成26年度 小田原史談会
総会報告 小田原史談会

◆神奈川県立公文書館だより
〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1
TEL045-364-4456 1994年創刊
www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1040/
◇31 2014.11 A4 4p
写真で見る「基地県」かながわ
企画展示「基地県」かながわと
人々
ミニ展示「信仰の対象としての富
士山—かながわの富士講と富士
塚—」
収蔵資料紹介 敵討ち一件
公文書館の活動
アーカイブズ実習

◆鎌倉 鎌倉文化研究会
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300
1959年創刊
◇117 2014.8 A5 111p 1500円
御成小学校内発掘調査により検出
された中世武家屋敷の建築 鈴木 亘
涪州行
一蘭溪道隆の生誕をたずねて 彭 丹
北海道厚岸の旧鎌倉五山派国泰寺
と真正正行寺 関口 欣也
旧建長寺末寺考(9)
一佐賀県(肥前国)編 鈴木 佐
余録 鎌倉乃記(12)一与謝野晶子
・寛、そして鎌倉(7) 梅花の日
(4) 坂本 俊雄
鎌倉長谷寺所蔵『長谷寺縁起文』
について 内山 侑子
神奈川の窓(34)
一「地方史研究」から 井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter 羽田 博昭
〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
NPOセンター鎌倉気付
メールボックス26
◇13 2014.7 A4 2p
市民活動の魅力を伝えたい 渡辺 公子
文書館が欲しい シリーズ5
地域の〈記憶〉が失われる危機
◇14 2014.9 A4 2p
資料の重み 横松佐智子
シンポ「地域と人びとをささえる
資料」 (多和田)
おばさんがアカデミックなシンポ
ジウムに参加して (高階)

◆寒川文書館だより
〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-

1 TEL0467-75-3691 1988年創刊
◇16 2014.9 A4 8p
資料紹介 岡田・観護寺で発見さ
れた武州福田村真福寺の鰐口
(三沢恵一氏蔵) 高木 秀彰
保存期間満了公文書の選別／1周
年を迎えた古文書愛読会
第16回企画展 近世寒川の領主群
像—うちの殿様はどんな人？／
町史講座「旗本たちの幕末維新」
進む町外資料の公開
文書館 最近のできごと

◆市史通信 横浜市史編集室
〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中
央図書館地下1階 TEL045-251-3260
2008年創刊
www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/
◇20 2014.7 A4 12p
昭和40年代、横浜市の広報手段 百瀬 敏夫
戦争体験をめぐる日本とアメリカ
羽田 博昭
東京オリンピックと横浜(3) 松本 洋幸
高度経済成長期都市横浜に関する
文献案内 松本 洋幸

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会
〒231-0021横浜市中区日本大通3
横浜開港資料館気付 TEL045-201-2169
年2000円
◇66 2014.8 B5 4p
研究例会 第93回例会 鈴木勇一
郎・高橋修一・松本洋幸編『近
代都市の装置と統治』合評会／
研究例会 第94回例会／研究例
会 第95回例会／創立20周年記
念事業 シンポジウム「首都と
首都圏」(仮)

情報ネットワーク 展覧会情報／
新刊情報／講演会・シンポジウ
ム情報

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
19-104 寺田兼方 1980年復刊

◇136 2014.8 B5 24p

縄文時代の「ダイズ・アズキ栽培」
を学ぶ 染谷 七重
新発見の河村城スコリアについて

上本 進二
心の考古学まで(8) 陸のこと 古要 祐慶
哀悼 伊藤吉雄氏

さば神社を考える(24)
谷川健一先生をしのぶ 西村堅一郎

『地中に埋もれた江戸時代の道具
たち—かながわの町と村の暮ら
しぶり—』見学記 野村 和子

第9回 若手研究者を囲む勉強会
「柄鏡形住居と円形住居」の勉
強会に参加する 米 諄

『キトラ古墳壁画』展見学記 浜野 祐之
平成26年度湘南考古学同好会
定例総会の記録

グループ活動 鎌倉と小田原の北
条氏の故地を訪ねて—中世の武
士の館と山城を学ぶ 米 諄

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方 1980年創刊

◇73 2014.8 A5 12p

聞き取り 戦争の時代を生き抜い
て 話し手：鈴木カネ
交流報告 「5.29」横浜大空襲祈念

の集い参加記 矢野 慎一

書籍出版のご案内『語り伝えよう

小田原の戦争体験』

本会発行の書籍案内

史料紹介 隣組回報「書くな話す
な国家の秘密」

書籍紹介 板橋秋の交流会実行委
員会『ゆかりのある人々が語る
耳庵の素顔』

最近の『戦争と民衆』目次(第66
号～第72号)

◆日本地名研究所通信

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10
川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106
1993年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~timeiken/

◇79 2014.8 B5 6p

地名研究発展に向かって 谷川 彰英
第33回全国地名研究者大会に参加

して 住吉献太郎
小笠原の離島より 延島 冬生
『市民の学』を 小田 富英

地名探訪
地名「女化(オナバケ)」 桐井 總男
時代劇と地名 山田 順子

歩いて確かめる
東京御茶の水界隈の地名 関 恵子

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852
年2500円 2003年創刊

hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/
◇44 2014.6 A5 92p 500円
講演 小田原の風土が生んだ作家

たち 岸 達志
備中伊勢氏の御家老の家系「笠原
晁氏」(その5 立木望隆氏の句

碑) 今川 徳子

酒匂だより 「鯨」 町田紀美子
大震災と白秋 杉山 博久
フランス映画名女優の肖像 松尾

敏男の描いたミッシェル・モル
ガン 佐宗 欣二
桜町における村人口増の問題 尾上 武

殻を破る とく山たかし
宮沢賢治のこと 本多 博
「郷土文化」新聞の頃(3)

一千度小路界限 青木 良一
始まりの人(8) 吉田松陰(上) 茂木 光春
◇45 2014.9 A5 100p 500円

土を以て宝石と成す—青瓷を語る
鈴木 三成
講演 モグラとカエル—西さがみ

の生物地理を考える 田代 道彌
背景に目がいく とく山たかし
酒匂だより 「お盆」 町田紀美子

彦根城と井伊直虎 今川 徳子
桜町の名主平左衛門の役儀取り上
げ 尾上 武

新幹線・二人の戀の物語—実現と
安全に懸けた男の苦闘 古林 肇道
御師の家—伊勢の山田大路家 田中 豊

始まりの人(8) 吉田松陰(中) 茂木 光春

◆藤沢市史研究 (続)藤沢市史編さん委員会
〒251-0054神奈川県藤沢市朝日町12-6
藤沢市文書館 TEL0466-24-0171

1970年創刊
◇47 2014.3 A5 66p
《藤沢市史講座》

藤沢市史講座特集にあたって 季武 嘉也
保守市政から革新市政へ 季武 嘉也
革新自治体の誕生

東京・横浜・藤沢 源川 真希
経済構造の変容と人口増加問題 本宮 一男
史料紹介 七條道場金光寺近世文

書(七條道場記録・学寮條目)に
ついて 秋山富男／高野修
口絵説明

京都七条道場金光寺の記録

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊

◇556 (47-4) 2014.7 A5 24p 350円
近世甲斐の地札と証文
—古文書・民具・調査小考 関口 博巨

喜多方の農耕絵馬(続)—館稲荷神
社明治四〇年奉納絵馬を中心に
(1) 佐々木長生

◇557 (47-5) 2014.8 A5 24p 350円
八王子市西部地域の川魚漁
—上恩方地区の事例をもとに 宮本八恵子

「明治の農具絵図」から見たウチ
ワ・アオリの分布 桂 眞幸
◇558 (47-6) 2014.9 A5 24p 350円

喜多方の農耕絵馬(続)—館稲荷神
社明治四〇年奉納絵馬を中心に
(2) 佐々木長生

民具短信
「負子」の呼称 織野 英史
私のおしゃもじ考(8)—松尾芭

蕉が“おくのほそ道”で詠っ
た「月に輝くおしゃもじ様」
その2 加藤 節男

書籍紹介 『富山湾の漁撈用具—
和船建造技術を後世に伝える会
調査報告書Ⅳ』 鈴木 通大

◇559 (47-7) 2014.10 A5 24p 350円
明治時代の牛乳販売における硝子
瓶使用の広がり 松本 友里

かくれキリシタンで用いられる聖
具—長崎県生月島山田地区川組

の事例研究 小泉優莉菜
民具短信 博物館デビュー支援事
業による学校内歴史資料室保管
資料の整理 羽田田智幸

◆悠 久
鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇136 2014.7 A5 140p 680円
《特集 宗像信仰》
口絵 神体島沖ノ島一祭祀遺跡と
神宝 写真・宗像大社文化財管理事務局
エッセイ 「聖なる島へ」 安部龍太郎
祭祀遺跡からみた宗像信仰 小田富士雄
唐三彩と沖ノ島一宗像大神にささ

げられた唐からの贈り物 弓場 紀知
大島御嶽山遺跡 福島真貴子
律令時代の宗像信仰 亀井輝一郎
中世宗像社の信仰と祭祀 河窪奈津子
宗像大社の年中祭祀 森 弘子
宗像と黄金 砂場 一明
沖ノ島上陸記 今井 康裕
口絵解説 神体島沖ノ島一祭祀遺
跡と神宝 宗像大社文化財管理事務局
レポート

宗像海人族の足跡をたどって 楠本 正
八幡宮紹介 長尾八幡宮（山口県
大島郡周防大島町）
新刊紹介 『伊勢神宮と三種の神
器』新谷尚紀著／吉川神道思
想の研究―吉川惟足の神代巻解
釈をめぐる』徳橋達典著

◇137 2014.9 A5 140p 680円
《特集 かくれキリシタン》
口絵 生月島かくれキリシタンの
聖画〔お掛け絵〕
エッセイ 量子力学と神道 山村 明義

かくれキリシタンとは何か 中園 成生
かくれキリシタンの信仰と年中行
事 中園 成生
かくれキリシタンと神道 森 浩明
ラテン語聖歌《クレド（信仰宣言）》
から箏曲《六段》へ 皆川 達夫
歌オラショと中世歌謡 永池 健二
納戸に祀る神 中園 成生
かくれキリシタン聖画考 児嶋 由枝
レポート かくれキリシタン村落
の変容と現状―長崎県上五島地
方のいま 吉村 政徳
口絵解説 生月島かくれキリシタ
ンの聖画〔お掛け絵〕 中園 成生

八幡宮紹介
八幡神社（静岡県湖西市）
新刊紹介 『残照』青木生子著／
『伊勢の神宮 御装束神宝』南
里空海著

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会
〒950-2022新潟市西区小針6-29-1
鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
www.bsnnet.co.jp/jiku/minzoku/

◇392 2014.6 A5 65p
小特集 正月に祀る天神
正月飾りとしての天神さん―新
潟県柏崎市の正月行事 三井田忠明
我が家の天神さん 大竹 信雄
富山県の天神講概説 森 俊
桑取谷横畑の馬ゴト見学記 鶴巻 武則
越佐における木喰仏の信仰民俗 広井 忠男
昔話 新潟県中魚沼郡水沢村宮澤
清文の原稿 金田 文男
加茂市七谷地区下黒水における寒
倉講祭祀―寒念仏信仰について
の考察(1) 岩野 笙子

外貌(毛色・色合いの変化)に着目
した異名―野兎の異名・特殊名
(3) 天野 武
◇393 2014.9 A5 54p
歯の神 あごなし地蔵
一信仰復活の軌跡 岩野 笙子
チャンスンと道祖神 金田 文男
垣間見たミャンマーと民俗 広井 忠男
金峯神社の流鏑馬と幌負 佐藤 和彦
新潟県のセット地名 鶴巻 武則
天敵に襲われ餌食と化している異
名―野兎の異名・特殊名(4) 天野 武

◆新潟史学 新潟史学会
〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
新潟大学人文学部史学研究室内
TEL025-262-6289 1968年創刊
◇71 2014.6 A5 75p 1000円
越後の舞楽―弥彦神社の舞楽の名
称を中心に 萩 美津夫
室町・戦国期大和国における領主
権力の構造―大和国人越智氏と
その「若党」を対象として 児玉 庸子
資料紹介 越後山古志の近世漆器
―平成16年新潟県中越地震の救
済資料から 齋藤 瑞穂
動向 震災資料・学校資料の意義
と可能性を考える―シンポジウ
ム「震災資料・学校資料をどの
ようにして保全し活用するか」
参加記 添田 仁
書評・新刊紹介

田子了祐著『越後における真宗
の展開と蒲原平野』 小酒井大悟
岩本篤志・朝倉有子編『新発田
藩溝口家書目集成』(全4巻) 原 直史
芳井研一編『南満州鉄道沿線の
社会変容』 山本 裕

記事 例会活動の記録

◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊

◇145 2014.7 A4 20p
良寛遺墨解説(103) 寒暑、黒白、
大小、長短(木村家蔵) 加藤 儋一
新 良寛尊像つれづれ(7) たくは
つ良寛像(鉄彫) 原益夫作 涌井 茂
折々の良寛(34)
「同事」について 長谷川義明
第37回全国良寛会出雲崎大会
潮風薫る 良寛生誕の地に集う
涌井茂／宮迫勇

平成25年度 会務報告／平成25年
度 全国良寛会会計決算報告書
／平成26年度 全国良寛会会計
予算書

第37回全国良寛会 出雲崎大会の
お礼 廣橋 正房
春の役員会開催される 加藤 儋一
良寛堂内石塔の造立
―耐雪の「用留」を読む 反町タカ子
分水高校の校史を彩る伝統づくり
「人間としての在り方 生き方」

藤田 正夫
良寛 夏の草木のうた 素描 吉田 福恵
良寛さんの健康法 柳本 雄司
トピックス

「日本経済新聞」文化欄で良寛
を全国に紹介 柳本 雄司
荒井魏氏の入会／燕市分水良寛
史料館春の特別展、有願会十
周年記念協賛「良寛と有願」
展開催される 加藤 儋一
新潟良寛会設立三十周年記念総会

と円通寺・仁保哲明ご老師の講演会 齋藤 達也
 新刊紹介 新井満著『神様のシンフォニー』、新井満作・上智大学創立周年記念歌『神様のシンフォニー』、『良寛は世界一美しい心を持つ菩薩だった』本間明著、月刊雑誌「和楽」14巻5号
 加藤僖一／柳本雄司
 会報・会誌のご紹介 加藤 僖一

◆とやま民俗 富山民俗の会
 〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民俗資料館内 年3000円 1974年創刊
 ◇82 2014.9 A5 29p
 北陸方言の諸相 蓑島 良二
 築山祭祀の壮大な世界観 松山 充宏
 利賀村奥大勘場民俗点描(10)一天象・気象に関する民俗語彙など 森 俊
 高岡で講演した柳田国男 太田 久夫
 談話室 史料紹介 江戸期の「風盆」の語について 勝山 敏一
 小矢部川上流息における、ガマ・スゲ・カラムシの利用法―刀利谷・立野脇・小二又を中心として 加藤 享子
 サヨ昔語り
 昭和40年代 録音再話 平井 一雄
 談話室 布市藩ゆかりの毘沙門天 松山 充宏
 民俗の窓 会務報告・文献紹介・受贈図書
 前田英雄氏のご逝去を悼む 森 俊

◆北陸石仏の会研究紀要
 〒939-1315富山県砺波市太田1770
 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1996年創刊
 ◇45 2014.9 A4 6p
 芦峯寺閻魔堂前の義賢名号碑 平井 一雄
 越前坂井郡の雨宝童子と六字明王 滝本やすし
 第48回例会報告
 白山麓の石仏めぐり 酒井 靖春
 北陸石仏の会 第49回例会―富山県朝日町の石仏めぐり

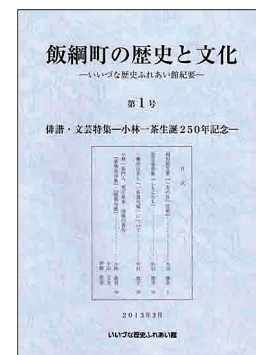
◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会
 〒918-8113福井市下馬町51-11
 福井県立図書館内 TEL0776-33-8860
 年3500円 1956年創刊
 ◇298 (59-1) 2014.8 B5 80p
 小丸城址出土文字瓦の一考察
 ―尊称・敬称の問題について 竹間 芳明
 姉川合戦の事実に関する史料的考察 佐藤 圭
 新内節 敦賀・新内 両家の確執 小林 稔
 越前大野藩関係者の箱館戦争戦没者の墓碑を訪ねて(2) 南川 傳憲
 江戸時代の玉川浦の潤について 岡田 健彦

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所
 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
 TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp
 ◇70 2014.6 A4 4p
 飯田市歴史研究所編集 飯田市教育委員会発行 飯田・上飯田の歴史別冊『描かれた上飯田―明治初期の地引絵図をよむ―』／第12回飯田市地域史研究集会
 記憶と経験を語り継ぐこと―地域遺産としての「口述資料」
 飯田市歴史研究所 2014年度研究計画／2014年度申請 研究助成

募集／市民研究員(課程)募集／飯田歴研賞2014候補作品募集
 4/19 『飯田・上飯田の歴史』をふりかえる会を開催しました／古文書入門講座 はじめてよむ古文書／地域史講座 ガラス乾板写真から見える昭和の松尾／史料相談承ります
 ◇71 2014.8 A4 4p
 第12回飯田市地域史研究集会 記憶と経験を語り継ぐこと―地域遺産としての「口述資料」
 新刊案内
 飯田市歴史研究所年報⑫
 新規公開資料紹介
 一木下守関係文書 安岡 健一
 新スタッフ紹介 樋口貴彦研究員
 中学生職場体験学習／建築史ゼミ
 10月開講予定／飯田アカデミア
 第72講座 連合国軍(米軍)の日本占領―地方軍政部隊と長野県を中心として／定例研究会

◆飯綱町の歴史と文化
 いいづな歴史ふれあい館紀要
 〒389-1211長野県上水内郡飯綱町牟礼1188-1 TEL026-253-6646 2013年創刊
 ◇1 2013.3 A4 67p
 《俳諧・文芸特集 小林一茶生誕250年記念》
 岡田農支著『「冬の日」注釈』 矢羽 勝幸
 農支追善集『しもころも』 矢羽 勝幸
 一穂舎山月と「一茶選句集」について 中村 敦子
 小林一茶門人 荒川草水・随佛の著作『春嘖翁詩集』『随佛句帳』
 小柳義男／小山丈夫／伊藤愛加
 「いいづな歴史ふれあい館紀要」創刊にあたって 小柳 義男

◇2 2014.3 A4 94p
 翻刻「忠孝二鏡」 飯綱町を舞台にした近世創作物語 関 保男
 現代語訳「忠孝二鏡」 監修・関保男／文責・小山丈夫
 中野代官・岡本花亭(忠次郎)著
 『信山吟稿』翻刻 松橋 好文
 「牟礼」が「牟礼」だった時代
 中野代官岡本忠次郎が命じた村名改称 小山 丈夫
 高田屋喜三郎―善光寺地震からの復興をたくされた男 小柳 義男
 善光寺「ぬれ仏」(銅造地藏菩薩坐像)の研究 小山丈夫／伊藤愛加



*長野県飯綱町(いいづなまち)は、長野県の北部、飯綱山東麓に広がる山里で、2005年に上水内郡の牟礼村と三水村が合併して誕生した。近世は北国街道の宿場町で、加賀藩の参勤交代のルート、佐渡から江戸へ運ばれる金の輸送路として重要な役割を果たした。いいづな歴史ふれあい館は、「この風土に育まれた歴史文化を、自然との関わりの中から学ぶ“みる・つくる・よむ”ふれあいの広場」として開設された博物館である。同館では平成25年に、町内の俳人小林一茶門人宅に伝来する資料により「飯綱町と俳人一茶」を開催した。岡田農支(しんし)は、江戸時代後期に

同町から江戸に出て名を成した俳人であるが、39歳で早逝した。唯一の著『冬の日』は、芭蕉『冬の日』の注釈書で、町内に伝来する写本を、一茶研究者の矢羽勝幸氏により書誌的解説と本文翻刻がされた。芭蕉研究にとっても重要書と思われる。

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048

Tel0265-22-6017 年5500円

◇1034 (62-7) 2014.7 A5 50p 550円

口絵 立石寺・十一面観音立像

(前立本尊) 織田 顕行

〈第3回「文化財の保護保全を考える会」

(報告)〉

会長挨拶 吉沢 健

飯伊ブロック当番市町村代表挨拶

南嶋阿南町教育長

開催趣旨説明 原 董

講演 長野県内における史跡の整

備と活用の現状 櫻井 秀雄

各市町村の文化財保護の取り組み

について

「伊那谷の自然と文化」をテー

マとした取組 榎村 洋介

豊丘村の文化財保護と課題 阿部 繁

売木村の文化財保護への取組

み 菊川 和広

平谷村における文化財保護につ

いて 安東 孝一

全体討論

文化財保護のための地域連携

まとめにかえて 岡田 正彦

第3回文化財の保護保全を考える

会を終えて 人々の心を惹きつ

け夢中にさせる“魅力ある文化

財の活用”へ 北原 更一

消えた仏像

各町村史学会の動き

上郷史学会の総会

◇1035 (62-8) 2014.8 A5 51p 550円

口絵 近世末期伊那郡平島田村絵

地図 山内 尚巳

三河民権家国事犯事件と発覚地の

飯田地方(4の2) 北原 明文

思い出の講師(2) 山本慈昭 大原千和喜

深見(阿南町)区有文書の整理と保

存について 松澤 英男

久邇宮殿下の天龍峡探勝と、軍務

中心の滞飯記録 鎌倉 貞男

美濃高須藩と高須藩下伊那領一十

代藩主松平義建『夏の旅跡』よ

り 神村 透

各町村史学会の動き 第35回喬木

村史学会の総会／伊那史学会が

数々の受賞 長野県知事賞の受

賞／第2回高松賞の受賞

◇1036 (62-9) 2014.9 A5 50p 550円

口絵 郊戸八幡宮 三葉の松(金

運松) 牧内 誠

伊那谷研究団体協議会 第16回シ

ンポジウム 伊那谷の風土の多

様性—自然や人の営みを考える

馬が紡いだ伊那谷の古墳文化—古

墳時代の先端産業地帯伊那谷の

果たした役割を考える 小林 正春

伊那谷南部の鉱山・試掘跡—かわ

らんべ講座『鉱山巡り』から 今村 理則

飯田下伊那の文学碑について

—文学碑のまとめとその案内 吉澤 健

部奈井開削と部奈団蔵 瀧澤 幸広

桃澤茂春とところどころ(2)

雅楽と茂春 桃澤 匡行

伴野庄・伴野庄本郷・伴野氏につ

いて 原 嘉彦

◇1037 (62-10) 2014.10 A5 50p 550円

口絵 聖岳と放散虫化石 大地の

歴史を語る小さな生きもの 村松 武

伊那谷のギフチョウ

—いまとむかし 井原 道夫

小黒川のミズナラ(地元名称 小

黒川のオオマキ) 下原 恒男

下伊那地方のトンボ 中村 貴俊

宮澤芳重と飯田高校にあった旧望

遠鏡について「半俗と清貧から

生み出された珠玉の望遠鏡」 奥村 茂美

伊那谷の子どもと登山 松尾 雅子

補説・戦国の世の悲劇 福姫の父 (I)

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7

Tel0265-78-1269 年5000円

◇690 (58-7) 2014.7 A5 48p 500円

《井月特集号》

東京での「第1回井月忌の集い」

報告 伊藤伊那男／大野田好記

「第1回井月忌の集い」に参加して

市川 和雄

講演 『井月編俳諧三部集』発刊

と井月研究の動向 竹入 弘元

シンポジウム「井月探究、新たな

視点」記録抄 北村皆雄／今泉恂之介

／北野直衛／竹入弘元

中川村片桐「天の中川」橋 命名

の由来考—その歴史的背景と意

義 田中 清文

思い出の人・思い出の事(14) 桃

澤夢宅歌碑の建立—西岸寺境内

桃澤 匡行

伊那谷のオオヨシキリ

—民俗の窓を通して(20) 吉田 保晴

高山の植物(21) イワオウギ 南

アルプスで見かけた植物(9) 田中 茂

考古あれこれ(25) 地元へ帰った

中央道路線内の出土品 赤羽 義洋

◇691 (58-8) 2014.8 A5 40p 500円

《終戦特集号》

満蒙開拓、青少年義勇軍を題材に

する二つの記念館、資料館 池上 昭

満蒙開拓計画と勤労奉仕隊結成に

ついて 城倉 肇

陸軍登戸研究所の疎開文書につい

て 木下 健蔵

太平洋戦争当時の児童作文 「大

東亜戦争」伊那里国民学校初等

科二年 羽生早人

学童の集団疎開—東京市世田谷区

中里国民学校元疎開児童の疎開

地再訪 宮原 達明

疎開学童の受け入れと私の終戦 北原 昌弘

太平洋戦争終戦当日の記録

上農寮へ講堂「清心寮」を寄贈し

た塩澤幸一海軍大将について 矢澤 喬治

高山の植物(22) ミヤマウイキョ

ウ 南アルプスで見かけた植物

(10) 田中 茂

文化短信

残したい天竜川の渕地名 三浦 孝美

古文書の窓(118) 貞享年間の片

桐六ヶ村の山の口の定め 下平すみ子

◇692 (58-9) 2014.9 A5 40p 500円

《自然と人間との関わり特集》

日本ジオパーク南アルプス大会に

寄せて 春日 博実

南アルプス(中央構造線エリア)ジ

オパークガイドの取り組み 小松 千里

中央構造線と並行する構造線の考

察 春日 宗夫

伊那谷のイヌワシー民俗の窓を通

して(21) 吉田 保晴

思沢川にゲンジボタルを復活 森上 信勝

大正の遭難 平成の遭難 唐木 勉

思い出の人・思い出の事(15)
 中川一政画伯 桃澤 匡行
 中山道よもやま話 歴史エッセイ
 編(1) 下諏訪宿 和宮諏訪御
 通行 宮下 明子
 出雲大社千家国麿宮司様との思い
 出 飯島 絃
 日本の子育て(11)
 寒くひもじく育てよ 大槻 武治
 高山の植物(23) ムカゴユキノシ
 タ 南アルプスで見かけた植物
 (11) 田中 茂
 文化短信
 奈良県薬師寺東塔の瓦 氣賀澤 厚典
 考古あれこれ(26)
 中島淑雄さんと考古学 伊藤 修
 ◇693 (58-10) 2014.10 A5 40p 500円
 《民俗特集号》
 「奉納成田山不動明王」木札につ
 いて 中川村歴史民俗資料館
 上伊那茅葺き民家の現状と展望―
 「昭和調査」と「平成調査」との
 比較分析を基に 矢澤 静二
 「体のいい村八分」で由緒ある隣
 組名が消えた 北原 昌弘
 明治中期の天龍川通船広告 松澤英太郎
 日本の子育て(12) 蛙の子と蛙 大槻 武治
 思い出の人・思い出の事(16)
 布施他人夫氏 桃澤 匡行
 高山の植物(24) ヒメカラマツ
 南アルプスで見かけた植物(12)
 田中 茂

◆伊那民俗

柳田国男記念伊那民俗学研究所
 〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
 飯田市美術館内 TEL0265-22-8118
 年3000円 1990年創刊

◇97 2014.6 B5 8p
 表紙 丸山町1丁目のキオイ／か
 つての打上煙火 櫻井 弘人
 書評 飯田のマチの暮らしは見え
 てきたかー『飯田・上飯田の民
 俗1』に寄せて 板橋 春夫
 『飯田・上飯田の民俗1』を読んで
 伝えていくことの大切さ 上柳喜美子
 「環境と民俗」に学ぶ 前澤奈緒子
 民俗学入門講座第Ⅱ期 柳田国男
 入門 第4～5回 福田アジオ所
 長講演要旨 第4回「戦後改革
 と柳田国男の使命感」北原いずみ／今井啓
 飯田柳田研究会報告 『木綿以前
 の事』を読む(1) 女性の日常生
 活の歴史を知る―「自序」から 松上 清志
 『現代日本の民俗学：ポスト柳田
 の五〇年』に寄せて 福田アジ
 オ著 吉川弘文館 小野 博史
 ◇98 2014.9 B5 8p
 表紙 「そばの城」と「竜太やき
 もち」／「下條ふるさとうまい
 会」のオヤキ作り 今井 啓
 手軽でおいしく食べる工夫「ヤキ
 モチ」―飯田市内の事例から 宮下 英美
 伊那近代思想史研究会(35)
 州平日記を読んで 森本 政人
 『飯田・下伊那の民俗1』を読んで
 昭和30年代 横丁の暮らし 北川 稔夫
 報告 びはくまつりワークショップ
 プ「七夕飾りをつくろう」 中山 京子

◆信濃 信濃史学会

〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
 TEL0263-36-1785 年8400円
 www.shinano-shigakukai.jp
 ◇774 (66-7) 2014.7 A5 80p 1000円
 明治・大正期の大字集落における

産土神社(鎮守)の歩みについて
 ー長野県安曇野市真々部諏訪神
 社を中心に 黒崎八洲次良
 「神風」号 飯沼飛行士の伝記を検
 証する 浜野 安則
 犬養毅と南北朝正閏問題(下)
 ー内田周平宛書簡を中心に 桂木 恵
 ◇775 (66-8) 2014.8 A5 86p 1000円
 加藤嘉明・大友義統発給文書等に
 ついてー上田藩士河合家伝来加
 藤家文書を中心に 寺島 隆史
 平成の大合併における市制要件緩
 和と都市像の変容 高原 正文
 戦時期にかけての公立職業紹介事
 業の展開ー長野県上高井郡須坂
 町職業安定所を事例に 町田 祐一
 律令制的地域再編成休止期の意味
 関口 功一
 信濃史学会2014(平成26)年度定期
 総会 事業委員会
 ◇776 (66-9) 2014.9 A5 80p 1000円
 《考古学特集》
 ハヶ岳山麓の胴部穿孔埋甕 鵜飼 幸雄
 信濃における後期・終末期古墳副
 葬鏃の生産と流通 平林 大樹
 奈良時代の諏訪郡衙についての考
 察ー岡谷市榎垣外官衙遺跡につ
 いての私論 塩澤 恭輔
 古代の郡境ー須恵器窯の時期的分
 布からみた考察 鳥羽 英継
 中世の納骨霊場と墓地ー長野県内
 のいくつかの発掘事例をもとに
 原 明芳

◆千曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
 上小教育会館内 TEL0268-24-2182
 年3000円 1974年創刊

◇156 2014.6 A5 79p
 「別所」の生い立ちと別所温泉 櫻井 松夫
 岩村田警廃事件(長野騒擾事件)と
 民衆の動きをさぐるー信濃佐久
 新聞・信濃毎日新聞の記事より
 小林 収
 信濃国府跡の一考察
 ー近年の研究成果から 倉澤 正幸
 窓 第9回 「ふるさとタイム」
 ー平成14年から行われた 横沢 瑛
 連載講座
 古文書解説講座 第147回 寺島 隆史
 平成26年度 東信史学会総会報告
 地区だより
 更埴地区 牧 忠男
 上山田地区 鎌原 賢司
 扉写真と解説ー一種痘奨励額 牧野 和人
 ◆長野 長野郷土史研究会
 〒380-0905長野市七瀬南部14-7
 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
 www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
 ◇296 2014.8 A5 48p 700円
 表紙・口絵 大町市の長性院(六
 角堂)のご開帳(平成26年6月7日
 ～15日) 小林 玲子
 善光寺参り絵解き図の絵解きに向
 けて 額装、軸装、台本制作 小林 玲子
 倉石俊陳の「道中日記」 丸田 修治
 御館の乱(上) 土井 重男
 夏目漱石と信州(11)
 作品にみる信州 中田 敬三
 郷土史の視界(4)
 小説『三太郎』を読む 小林 一郎
 長野と全国各地の繋がり(4) 秩
 父三十四番札所、開創十三権者
 の善光寺如来 小林 玲子
 生きた町の歴史を知ろう(4) プ

ランドになった善光寺表参道界隈の小路 小林竜太郎
出版 『長沼城の研究―城跡の検証―』長沼歴史研究会編・発行、『真田一族外伝 伝説の英雄はなぜ誕生したのか』田中博文著、『街並み 映画館』ナノグラフィカ発行

◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
2626-24 三石稔方 ℡0265-37-3017
年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇242 2014.7 B5 8p
木に上ること―木に上るのには理由がある(4) 倉石 忠彦
葉書でつぶやくコーナー
徳阿彌道大和尚の位牌 木下 守
◇243 2014.9 B5 8p
日吉のお諏祭り―長野県民俗の会
190回例会報告 三石 稔
葉書でつぶやくコーナー 博物館
に持ち込まれた用途不明の道具 宮本 尚子

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1
岐阜県図書館内 ℡058-275-5111
年2800円 1973年創刊
www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm
◇122 2014.9 B5 28p
濃尾震災文書と岐阜県歴史資料館 吉田 義治
平成26年度総会時講演会「尾張国の始まりは各務原」古代史の史料について―古代の尾張氏をめぐって 尾関 章
上木屋甚兵衛 新島からの手紙

(下)一士・農・工・商に高下御座無く候 林 格男
美濃の小島城について 林 芳樹
美濃市上河和(カミコーワ)の地名由来 土屋 一
書窓の風
西濃 図説大垣市史 横幕 孜
美濃 ひるがの開拓の父
辻村徳松 馬淵 旻修
飛騨 『位山集』と『関西日記』福井 重治
可茂 可児郷土歴史館収蔵の「美濃桃山陶」図録 中島 勝国
郷土関係新刊書目録(107)
郷土関係逐次刊行物文献目録(106)

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園内 ℡058-265-0010 1985年創刊
◇87 2014.7 A4 8p
企画展「鵜飼」
特別展「岐阜が生んだ原三溪と日本美術―守り、支え、伝える」
博物館ニュース マレーシアの大学生が来館!、館藏品図録『古地図Ⅱ』を復刻/分館 加藤栄三・東一記念美術館の展示、特集展示(2階総合展示室内)、分室 柳津歴史民俗資料室の展示
加藤栄三・東一記念美術館「加藤栄三・東一 春夏秋冬:四季を描く」
研究ノート 白隠さんの観音さま 中島 雄彦

館蔵資料紹介
上絵桜に提灯図花瓶

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所

〒438-0086静岡県磐田市見付3532
℡0538-32-3546 2007年創刊 年2000円
www4.tokai.or.jp/~child-c.j/
◇86 2014.7 A4 4p 300円
龍 夏空に舞う
飯田天王祭舞楽公開 吉川 祐子
◇87 2014.8 A4 4p 300円
駿河の六斎念仏と上鳥羽橋上鉦講の六斎 吉川 祐子
◇88 2014.9 A4 4p 300円
京の地藏盆も少子高齢化 吉川 祐子
◇89 2014.10 A4 4p 300円
新発見!京の六地藏巡り 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円
◇430 2014.7 B5 4p 100円
7月例会レジュメ
報告2 「改造」の時代と向き合って 黒川みどり
報告3
小杉あさと静岡県の盲教育 足立洋一郎
書籍紹介 西野瑠美子・金富子・小野沢あかね『「慰安婦」パッシングを越えて』 小池 善之
◇431 2014.8 B5 4p 100円
6月例会報告
沼津明治史料館訪問記 橋本 誠一
7月例会報告 金原左門氏「大正期の『開かれた社会』」 橋本 誠一
図書紹介 中山正典氏『富士山は里山である 農がつくる山麓の風土と景観』 村瀬 隆彦
◇432 2014.9 B5 4p 100円
会告 総会 2014年10月13日
9月例会レジュメ

「遠山茂樹さんを偲ぶ」について 原口 清
下田区裁判所の刑事裁判
一治罪法施行以前を中心に 橋本 誠一
◇433 2014.10 B5 4p 100円
総会記念講演 金富子氏の「日本軍の「慰安婦」研究と植民地支配」に寄せて 小池 善之
I T利用による歴史資料と文献の検索・ダウンロード 大学や公共図書館から遠距離なほど有効 清水 実
「立教大学 共生社会研究センター」を訪問して 西村 景子

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
web.thn.jp/s-folklore/
◇152 2014.7 A4 8p
平成26年度 総会・大会報告
シリーズ食(28)
筍のアラメ煮とめ巻 松田香代子
山口幸洋氏を悼む 富山 昭
お知らせ・講演会 第18回静岡県民俗芸能フェスティバルのご案内 国指定重要無形民俗文化財 遠江森町の舞楽

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 ℡054-286-8659
◇140 2014.6 B5 12p
平成26年度総会
第104回研究会 篠原旭氏の「羽衣伝説とかぐや姫」の概要/寺尾弘之氏「セメント王 浅野総一郎」の概要/松葉屋幸則氏の「阿野全成(義経の兄)と駿河の

関わり」の概要	
◆あつた 熱田神宮宮庁	
〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1	
Tel052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp	
◇243 2014.7 A5 24p	
熱田神宮の御分霊を祀る八雲神社	平田 末廣
境内に残る石灯籠について	
一伊藤萬歳と共に	野村 辰美
◆郷土文化 名古屋郷土文化会	
〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155	
名古屋市鶴舞中央図書館	
Tel052-741-9822 年3000円 1946年創刊	
◇221 (69-1) 2014.8 A5 116p 1500円	
桶狭間古戦考証(3)	尾畑 太三
松平元康と石ヶ瀬合戦	太田 輝夫
生駒利豊と「家伝記」がこと	松井 雅文
犬山城主織田信清の新史料と、その実像	横山 住雄
国絵図にも描かれている一里塚を探索する一安井村一里塚の故地	
を特定しようとする	加藤 浩
図絵に見る尾張の街道風景(14)	櫻井 芳昭
瀬戸出身の重要無形文化財保持者(人間国宝)加藤土師萌について	
	加藤 政雄
「瓜」文字の使用例	
一「梅花無盡蔵」の場合	平田 実
第48回研究会発表要旨	
蘆辺田鶴丸一全国区の狂歌師	服部 仁
平成26年度理事会報告	事務局
◆まつり通信 まつり同好会	
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25	
Tel0567-37-0441 年5000円	
◇572 (54-4) 2014.7 B5 8p 600円	

新刊紹介 研究成果報告書 徳之島の民俗文化 昔語り編 本田碩孝編	
新潟・築地獅子舞	石川 博司
第44回東海民俗研究発表大会(発表要旨) 岡崎城下町における祭りの継承ー能見神明宮例大祭にみるマチ・ヒト・コト	天野 幸枝
韓国江陵市の端午祭概要と見聞記	鷺野 正昭
表紙写真のことは 江陵市端午祭 官奴仮面劇 旧5月5日前後 韓国江陵市	鷺野 正昭
第44回東海民俗研究発表大会・伊勢大会報告	
◇573 (54-5) 2014.9 B5 8p 600円	
新刊紹介 南日本の民俗芸能誌北薩東部編) 下野敏見著	
千葉・勝田の獅子舞	石川 博司
尾州鷹羽講の遷座祭	小林奈央子
第63回全国民俗芸能大会 出演芸能紹介と申込案内/第56回平成26年度 ブロック別民俗芸能大会 出演芸能等紹介	
表紙写真のことは 鶴ヶ谷八幡宮例大祭 千葉県館山市	渡辺 良正
近畿	
◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団	
〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生会館 Tel077-522-8369 年2520円	
1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.jp	
◇148 (38-3) 2014.7 B5 92p 584円	
《特集 私の琵琶湖環状線》	
私の琵琶湖環状線マップ	
おうみ(近江)おうみ(多見)歩く(特別版) 琵琶湖感情(環状)紀行	加藤 賢治

私の琵琶湖環状線 46駅のほとんどに魅力的なスポット	
植田 耕司	
私と駅と街	
No23河毛 小谷城と水鳥公園	
日本の忘れられた何かが残る	中谷 進
No43おごと温泉 港、世界文化遺産、ハブ 三つの顔を持つ温泉の玄関駅	金子 博美
途中下車したい駅 古代・小野氏のふるさと No41小野駅～No40和邇駅/滝見と琵琶湖眺望 ハイキングとアスレチック No35北小松/名水と三角点 芹川の景観 No16南彦根/旧中山道の宿場町 No8守山	
駅と街 ひく口案内	
レンタサイクルの楽しみ 海津大崎の桜並木 No28永原駅からNo29マキノ駅まで風に乗って走る	植田 耕司
四季をめぐる健康食 夏編	
鉄を効率よくとって貧血予防	
天下人「信長」の実像(3) 手紙の書札札 相手との力関係を視角的にうまく利用	高木 敏子
談話室(16) 謎の青銅器銅鐸 弥生時代中期初めに誕生した祭祀用のカネ 表面に水鳥やシカ、人物が描かれたものも 野洲市歴史民俗博物館館長 徳網克己	
元気な商店街その魅力(5) きのもと北国街道商店街	
ルポ伊吹山 おおむね協力的 順調に滑り出した伊吹山の入山協力金試験導入	
滋賀文化事情 高橋順之/編集室/山尾才	
近江人物伝(20) 恵心僧都源信 木村 至宏	

近江の水をめぐる(7)	
峠の水、境の水	石川 亮
わたしと湖国(6) みんな一緒に	
みんなに違い、みんないい	三宅 貴江
北から南から	
時の流れを感じた「お浜御殿」庭園	山田 勝彦
三百年の伝統を守る大風我感到	門野 昇二
イギリス人陶芸家のワークショップ、信楽で	野口 観道
荒々しい曳山巡行の辻まわしの歓声	熊谷 もも
滋賀とかかわりが深い長崎の高島家 色鍋島の出土片に勢力をしのぶ	赤尾 和美
ニュースの小箱	
湖国藝術紀行(15)	
琵琶湖と中国の洞庭湖	楊 平
歴史文書は語る 県政史料室から(12) 国際ホテル 外国人観光客と琵琶湖ホテル	工藤 克洋
シリーズふるさと遊彩(2) 菅浦優しい気持ちになれる奥琵琶湖の風景	田中陽一郎
三角点の山と私(1) 史跡城跡と札所の山 叡山(観音寺山)/山岳信仰の聖なる山 太神山	
◆戦国史と人 女風林火山	
戦国史と人を学ぶ会/武田勝頼・松姫探究会	
〒520-0528大津市和辻高城289-11	
年1400円	
◇55 2014.8 B5 84p	
《特集 明智光秀末子の行方》	
研究レポート	
本能寺の変の新史料[明智家譜](熊本県立図書館蔵)に見える	

伊賀柘植城主喜多村出羽守保
光とその子孫の謎—歴史作家
山村晃氏への返信1〜5より 首藤 義之
本能寺の変の新史料(明智家譜)
(熊本県立図書館蔵)の真偽を
探る 首藤 義之
戦国史新聞記事の切り抜き(朝日
新聞は渡辺都さんより)(25件)

◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100 1988年創刊
www.hikone-castle-museum.jp

◇105 2014.6 A4 4p

資料紹介

江戸幕府老中奉書 当館蔵 野田 浩子
展示案内 テーマ展 展示室1
雅な舞—井伊家伝来の舞楽装束
／テーマ展 展示室1 湖東焼
への憧憬—湖東焼と近現代のや
きもの／企画展 展示室1 彦
根藩士の甲冑—赤備えの家臣団
／展示室1武家の祝い—彦根藩
の祝賀行事

講座・教室 彦根城博物館出張講
座「あなたの街の歴史探訪」、
キッズサマースクール／能・狂
言 水無月狂言の集い、第48回
彦根城能

研究余録 金亀玉鶴 まからずや
焼—大正・昭和時代の彦根にお
ける製陶活動 奥田 晶子

◇106 2014.9 A4 4p

資料紹介 湖東焼 染付騎馬図煎
茶碗 当館蔵 奥田 晶子

展示案内 テーマ展 展示室1
武家の祝い—彦根藩の祝賀行事
／常設展示 “ほんもの” との

出会い

催し 彦根城博物館出張講座「あ
なたの街の歴史探訪」、第48回
彦根城能、美術講座

特集 博物館の所蔵資料 近年の
収集資料から 井伊直孝書下／
雛と雛道具／黒船絵図／湖東焼
色絵山水図入子酒盃・盃台
小連載 表御殿のみどころ(1)

復元された表御殿 野田 浩子
研究余録 金亀玉鶴 赤備えの武
具と武器—軍法と現存作例を通
じて 古幡 昇子

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
sigaminzoku.fc2web.com

◇610 2014.7 B5 12p 400円
霊仙山とお池をめぐる「山の考古
学」からの視点(2) 兼康 保明
七と十一の文化(17) 七と四九 長谷川博美
庶民(近江)の生活と民俗(7) 一び
わ湖の鮒となれずしの伝承(2) 菅沼晃次郎
民具史料 栓抜きについて 粕渕 宏昭
野鳥の百軒島伝承と漁場
—横浜市金沢区 大喜多紀明

堀井令以知先生「言語学者」に教
えて貰ったこと 西浦 左門

◇611 2014.8 B5 12p 400円
霊仙山とお池をめぐる「山の考古
学」からの視点(3) 兼康 保明
狗奴国 イネとイヌの幻想(前) 長谷川博美
庶民(近江)の生活と民俗(8)

—びわ湖の鮒漁(1) 菅沼晃次郎
方言について—京都府南丹市 西浦 左門
奇縁二天石について 関 啓司
貴美栄婆さんの世間話(2)

—京都府南丹市 西浦 左門
善光寺参りについて
—滋賀県米原市 粕渕 宏昭
◇612 2014.9 B5 12p 400円

近江中世石造美術石材研究ノート
(1) 凝灰岩—笏谷石製石造美
術を中心に(前) 兼康 保明
狗奴国 イネとイヌの幻想(後) 長谷川博美
旧出庭村の川原松林争論
—滋賀県栗東市 奥山 芳夫
庶民(近江)の生活と民俗(9)
—びわ湖の鮒漁(2) 菅沼晃次郎
「半島人部落ニ於ケル衛生調査
成績」に記載された食事情—
第二次世界大戦前の資料にみる

大喜多紀明
「物干し台」について 粕渕 宏昭
◇613 2014.10 B5 12p 400円
七と十一の文化(18)
サイコロの7と11 長谷川博美

近江中世石造美術石材研究ノート
(2) 凝灰岩—笏谷石製石造美
術を中心に(中) 兼康 保明
庶民(近江)の生活と民俗(10)
—びわ湖の鮒漁(3) 菅沼晃次郎
目の動く人形について 粕渕 宏昭
大根を守る施餓鬼旗

—南丹市美山町 西浦 左門
家相について 田中 春二
北海道への入植とアイヌ民族の人
たちとのかかわり—中村治美さ
んの証言から 大喜多 紀明
島国で生きてきた日本人の知恵
—間引きについて 菅沼晃次郎
民具「蜜蜂すくい」について 粕渕 宏昭

◆宇治市歴史資料館年報

〒611-0023京都府宇治市折居台1-1

TEL0774-39-9260

◇2012 2014.3 B5 48p

史料紹介『横島村郷土誌』(下)
小嶋正亮／岡本京子

◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿

〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34
TEL0774-33-1199 1973年創刊

◇133 2014.7 B5 262p

牛頭山弘福寺所蔵・喜多元規筆
「稲葉正則(泰応)像」と伝稲葉
正則筆「宝舟図」 藤元 裕二
魏双侯が日本に齎した中国宮廷音
楽の再考察—『魏氏楽譜』六卷
本と朱載堉『楽律全書』と朱夏
『儀礼経伝通解』との関連を踏
まえて 楊 桂香

鄭廷玉撰「布袋和尚忍字記雑劇」
試訳(下) 北川 修一
日本京都金光寺蔵『仏説目連救母
経』の文法—動詞に後置する助
字、介詞を中心として 北川 修一
華蔵寺所蔵『黄檗版一切経』をめ
ぐって—黄檗版を支援した華蔵
寺の事情 高井 恭子
済公活仏物語に見る注目すべき二
つの特色—「父死す死孫死」の

起源と心中物語 野川 博之
国内外の著作にみる河口慧海(6) 高山 龍三
小城藩主鍋島家の墓碑考察 秋元 茂陽
隠元禅師語録について(6) 大槻 幹郎
伊勢松阪の黄檗廃絶寺院 石渡 吉彦
文化年間の正月行事 田中 智誠
『獅子巖志』標註 林 観潮

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル
上生洲町221 キトウビル303

TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊
 www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/
 ◇206 2014.7 B5 110p 1800円
 《特集 藝能史研究の過去・現在・未来
 ―史料としての映像記録》
 藝能史研究會五十周年記念大会趣
 旨 山路 興造
 映像資料による盆踊りと歌舞伎舞
 踊におけるオドロの核動作―ボ
 ンアシとオスベリ 吉川 周平
 京都文化史学派と民俗芸能撮影の
 系譜 斉藤 利彦
 無形民俗・民俗芸能の映像記録の
 歩みとともに―ハードディスク
 型映像システムが意味するもの
 高濱 雄介
 洪沢敬三 映像の系譜と花祭 北村 皆雄
 詳説 映像記録日記 中藪 規正
 東北地方で実行している映像記録
 の方法―岩手の神楽から 阿部 武司
 映像記録のなかの能・狂言―その
 記録性と芸術性、啓蒙的役割を
 遡って 三浦 裕子
 第50回藝能史研究會大会 特集報
 告・映像解説 映写映像一覧
 例会発表要旨
 「もう一つの猿楽能」再考 山路 興造
 近世武家における雅楽の奏演体
 制 山田 淳平
 中世興昇職能論 西山 剛

◆古代史の海 「古代史の海」の会
 〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
 中村修方 FAX075-392-3743
 年4000円 1995年創刊
 www.7.ocn.ne.jp/~kodaishi/
 ◇76 2014.6 A5 64p 1500円
 巻頭言

虫の目から古代史を考える 重村 英雄
 玉手より祭り来たる酒解神(前) 中村 修
 「明石原人」と直良信夫再考(3) 下司 和男
 会員ひろば(小休止)
 アンデス通信(29) 市木 尚利
 『日本書紀』a群中国人記述説に
 関する疑問(2) 田中 勝
 播磨の古墳を訪ねて 河野 宏文
 悲濤の人・福本正夫(5) 中村 修
 ◇77 2014.9 A5 64p 1500円
 巻頭言 歴史から歴史を教わる 河越 尚司
 玉手より祭り来たる酒解神(後) 中村 修
 雄略七年是歳条「譚語卯安那等」
 について 内田 正俊
 会員ひろば(小休止)
 アンデス通信(30) 市木 尚利
 渡来人と半島の鉄(上) 西川 寿勝
 戊子年銘釈迦三尊像について 山下 輝幸
 悲濤の人・福本正夫(6) 中村 修

◆史迹と美術 史迹美術同致会
 〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
 西大路町146 中西ビル内
 TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
 ◇846 (84-6) 2014.7 A5 36p 916円
 応神紀小考(下) 田寺 英治
 百萬塔論攷(上) 岡 成寛
 日本の塔百選(26)
 名草神社三重塔 中西 亨
 第995回例会 矢田丘陵の滝寺磨
 崖仏や付近の文化財を訪ねる 東 暲
 第996回例会
 加茂町当尾の古刹と石仏 加藤 繁生
 2014年度(前期)「石造美術勉強会」
 報告(1) 品角阿止美
 ◇847 (84-7) 2014.8 A5 48p 916円
 百塔自然石塔婆群及び大乗院自然
 石塔婆群について(上) 佐藤 誠

日本の塔百選(27)
 出雲清水寺三重塔 中西 亨
 百萬塔論攷(下) 岡 成寛
 2014年度(前期)「石造美術勉強会」
 報告(2) 品角阿止美
 口絵写真解説
 祇園祭後祭復活と大船鉦復興 中西 亨
 本会顧問 中野玄三先生の御逝去
 を悼んで 中西 亨
 ◇848 (84-8) 2014.9 A5 32p 916円
 口絵 平成26年1月例会 木島神
 社と嵐電沿線の文化財(1)(2)
 百塔自然石塔婆群及び大乗院自然
 石塔婆群について(中) 佐藤 誠
 日本の塔百選(28)
 瑠璃光寺五重塔 中西 亨
 東山七条界限豊臣家栄枯盛衰(上)
 加藤 繁生
 第997回例会 木島神社と嵐電沿
 線の文化財 矢ヶ崎善太郎
 第998回例会 東山七条界限の名
 勝庭園と名跡を訪ねて 加藤 友規

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
 〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
 糸井通浩方 TEL0774-44-7636
 年3000円 2002年創刊
 www.geocities.jp/Kyotochimei/
 ◇47 2014.7 A4 8p
 新会長就任あいさつ 綱本 逸雄
 会長退任の謝辞 吉田 金彦
 2014年度総会・講演会開催／第13
 回総会 報告
 講演1 ハザードマップが警告す
 る危ない地名 綱本 逸雄
 講演2 『万葉集』『驚坂』の歌 真下 厚
 地名随想 寺の名の付いた町名(8)
 上・下妙覚寺町 清水 弘

京都地名研究会 第38回地名フォ
 ーラム案内 発表1 八幡信仰
 と地名伝承(石田天祐)／発表2
 丹波・丹後における式内社の地
 理的条件と地名(櫻井雅子)／発
 表3 京都市行政史料の活用に
 ついて(大野政男)

◆初音 古代学協会年報
 〒604-8131京都市中京区三条通高倉西入ル
 菱屋町48 TEL075-252-3000 2011年創刊
 www.kodaigaku.org
 ◇4 2014.8 B5 92p
 平成25(2013)年度事業概要
 石蒸し調理実験記録2012―石英斑
 岩礫、小規模礫群および石器石
 材加熱実験をめぐって 鈴木 忠司
 大島本『源氏物語』の本文復元研
 究 藤本 孝一
 古代学講座受講者研究発表 卵と
 単性生殖―『小右記』購読を足
 掛かりとして 近藤 公子

◆洛北史学 洛北史学会
 〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5
 京都府立大学文学部歴史学科内
 TEL075-703-5259 1999年創刊
 ◇16 2014.6 B5 101p
 平安期邸宅における所有と居住 高 正樹
 北魏平城の瓦工房―大同西冊田遺
 址採集瓦の研究 向井 佑介
 戦後沖縄の基地周辺における都市
 開発―コザ・ビジネスセンター
 構想と《八重島》をめぐって 加藤 政洋
 新刊紹介 荘園史研究会編『荘園
 史研究ハンドブック』 三輪 眞嗣
 井上敬介著『立憲民政党と政党
 改良 戦前二大政党制の崩壊』

杉谷 直哉
大会・例会報告要旨
第15回洛北史学会大会

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 1993年創刊
www.ritsumeai.jp/mng/er/wp-museum/

◇62 (22-1) 2014.8 A4 24円
スポット ミュージアムの所蔵品
(59) 『ベトナム人民支援バッ
ジ』

巻頭つれづれ 原発被災者の未来
づくりはこれから―福島での調
査に思う 安斎 育郎

館長だより 特命的存在の日本―
戦後民主主義を支えている地方
自治制度と日本国憲法の真の尊
重 モンテ・カセム

ここが見どころ
憲法9条と集団的自衛権 加國 尚志
運営委員リレー連載 山形国際ド

キュメンタリー映画祭の魅力 川村健一郎
ミュージアムおすすめの一冊 水
野直樹編『生活の中の植民地主
義』(人文書院 2004年1月刊) 権 学俊
ミニ企画展
開催報告 (2014年2月～6月)

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇319 2014.7 B5 12p
中世の熊取荘の領主について(上)
廣田 浩治

近世前期の土地「越ス」作業
一和泉国佐野村の場合(2) 井田 寿邦

13年度を振り返る 事務局
◇320 2014.8 B5 10p
父 池田谷久吉(1) 池田谷胤昭
中世の熊取荘の領主について(下)

廣田 浩治
◇321 2014.9 B5 14p
都市間鉄道網形成と観光地
一近鉄奈良線と生駒山(1) 岸田 修一

父 池田谷久吉(2) 池田谷胤昭
近世前期の土地「越ス」作業
一和泉国佐野村の場合(3) 井田 寿邦

◇322 2014.10 B5 14p
たそがれの泉州弁(1) 中野 恒一
都市間鉄道網形成と観光地
一近鉄奈良線と生駒山(2) 岸田 修一

父 池田谷久吉(3) 池田谷胤昭
近世前期の土地「越ス」作業(4)
一和泉国佐野村の場合 井田 寿邦
和泉の中世城郭(32) 井田 寿邦

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪府城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com

◇359 (31-7) 2014.7 B5 8p
大阪歴史懇談会 会員の皆様へ
平成26年度年会費納入のお願い
6月例会報告(第334回) 演題 一

部「大阪城ものがたり」、二部
「歴史よもやま話」 西田松雄氏 (磯崎)

◇360 (31-8) 2014.8 B5 8p
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(5)
「化け猫」 井川 光正

平成26年度7月例会報告(第335回)
演題「古代日本の礎に貢献した
最大の渡来系「秦氏族」の実像」
小林司氏 (井川)

大阪歴史懇談会 会誌「歴史懇談」
第28号 8月17日 新発売！
◇361 (31-9) 2014.9 B5 8p
会長交代のご挨拶 松坂 定徳

平成26年度8月例会報告(第336回)
平成26年度本会定時総会／演題
「漢字文化圏のなかの日本とベ
トナム」―「似て非なる」両民族
の歴史と文化 片倉儀氏 (小池)

◇362 (31-10) 2014.10 B5 8円
巻頭言「妖怪図・幽霊図」(6)
「一反木綿」 井川 光正

平成26年度9月例会報告(第337回)
演題「歴史教科書を書き換える
ということ」 寺井正文氏 (寺井)

大阪歴史懇談会 新しいホームペ
ージができました

◆大塩研究 大塩事件研究会
〒530-0053大阪府北区末広町1-7
成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇71 2014.8 A5 107p
大塩事件研究会と成正寺 藪田 貫
国訴と支配国・領主制 山崎 善弘

近世・近代の葺瓦調査からみた吹
田 藤原 学
大塩ゆかりの地を訪ねて(1) 成正

寺に大塩平八郎の墓を訪ねる 井上 宏
大塩平八郎の肖像画 常松 隆嗣
長崎海軍伝習所、沼津兵学校と懐

徳堂 小西 克介
大塩と私(18) 久保在久氏に聞く
大塩家のルーツ 脇町を訪ねて 松永 友和

会員便り 隠岐島と大塩探究の旅
末廣 訂
「大塩の乱関係資料を読む部会」へ

のお誘い 土井 裕子

◆かいづか文化財だより テンブス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇54 2014.9 A4 8p
和泉葛城山ブナ林と保護増殖事業
／和泉葛城山ブナ林自然観察ハ
イキングを開催します

古絵図をひも解く
高すぎる年貢率のなぜ
古文書講座―市内にのこる身近な

古文書 「江戸時代の年貢と村
入用」／古文書講座45(通算212
回～216回)開催のお知らせ テ
ーマ「江戸時代の家普請」

企画展「名所図会と社寺境内図」
より 明治時代の水間寺境内図

孝恩寺の仏像―菩薩(3) 重要文
化財 木造地藏菩薩立像 1躯
日紡貝塚工場の自動織機が里帰り

◆家系研究協議会会報
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/

◇49 2014.8 B5 8p
二千年ぶりの関係？ 馬原 浩一
家系研究協議会 平成25年度第13

回総会および春の例会報告
「息長氏と綾氏」宝賀寿男氏 (馬原)
家研協たより／家系研究協議会次

回例会予定
珍名さんいらっしゃい(45) 眞野 幹也

◆河童通心 和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
TEL072-251-2586 年2400円

- ◇362 2014.7 A5 18p 200円
人形(ひとがた)から河童(かっぱ)
へ 和田 寛
- ◇363 2014.8 A5 16p 200円
人形(ひとがた)から河童(かっぱ)
へ(2) 和田 寛
- ◇364 2014.9 A5 16p 200円
人形(ひとがた)から河童(かっぱ)
へ(3) 和田 寛
- ◇365 2014.10 A5 16p 200円
人形(ひとがた)から河童(かっぱ)
へ(4) 和田 寛

◆旧真田山陸軍墓地研究年報

- 旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会
〒565-0851大阪府吹田市千里西1-3-14
堀田暁生方 2013年創刊
- ◇1 2013.3 A4 64p
創刊にあたって 小田 康徳
溝部素史大尉の書簡と墓碑につい
て一明治十年旧真田山陸軍墓地
の被埋葬者 堀田 暁生
史料紹介 軍医監堀内利国の墓碑
から見る明治前期の脚気病対策
小田 康徳
- 真田山陸軍墓地墓碑改葬関係書類
について 堀田 暁生
- アジア太平洋戦争下の真田山陸軍
墓地の運営と戦後の引き継ぎ史
料について 横山 篤夫
- 陸軍墓地に係る文献(1) 小松 忠
- 研究活動の記録(1) 小松 忠
- ◇2 2014.8 A4 80p
幕末長州藩における戦死忠死者祭
祀 布引 敏雄
- 西南戦争と屯田兵 富井 恭二
- 上田靖治資料が語る真田山陸軍墓
地と日中戦争 西川 寿勝

- 真田山陸軍墓地の戦後処理と仏教
会 森下 徹
- 陸軍墓地に係る文献(2)
本会関係者の関係する出版物
『兵士たちがみた日露戦争一従
軍日記の新資料が語る坂の上の
雲一』横山篤夫・西川寿勝編著、
『日露の戦場と兵士一第四師団
野戦衛生隊担架卒の目から見た
戦争』西川甚次郎「日露従軍日
記」刊行会編
- 研究活動の記録(2)
納骨堂被葬者データベースの完成
と今後 小田 康徳



*大阪市天王寺区玉造本町にある旧真田山陸軍墓地は、明治4年に兵部省が創設した我が国最初の陸軍墓地で、15000㎡を超える敷地に、5299基以上の墓碑が並ぶ。戦後、大蔵省の管理を経て大阪市の無償貸与されて現在に至り、祭祀等は公益財団法人真田山陸軍墓地維持会(旧大阪靖国霊場維持会)が行っている。その経過は堀田暁生と横山篤夫の論考に詳しい。NPO法人旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会は2001年以来研究会と報告会を重ね、2006年には『陸軍墓地が語る日本の戦争』(ミネルバ書房)を刊行するなどしてきたが、この度、公益財団法人の助成を得て、

研究年報を創刊する運びとなったものである。創刊に当たって小田康徳理事長は「この墓地はまさしく近代日本の軍隊と戦争を国民との関係で考えさせてくれる貴重な史跡となるべき歴史遺産」であると述べている。そうした観点での研究が続けられることを願っている。同墓地に葬られている軍医監堀内利国の明治前期における脚気病対策についての小田氏の論考と関連史料の紹介は、我が国疾病史という点から非常に興味深い。

◆近畿文化 近畿文化会

- 〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円
- ◇776 2014.7 A4 10p 300円
高野山麓を歩く一弘法大師信仰と
庶民信仰の諸相 池田 淳
後南朝と川上村 森下 恵介
- ◇777 2014.8 A4 8p 300円
幕末の砲台(3) 雑賀崎・友ヶ島の
台場をめぐる 来村多加史
三重県の戦争遺跡 駒井 正明
- ◇778 2014.9 A4 10p 300円
村野藤吾の建築とインテリア論
出織維会館とシェラトン都ホテル大阪 酒井 一光
- 愛知県の大正・昭和期の近代建築
一インド様式からジャパニーズ
モダンへ 川島 智生
- ◇779 2014.10 A4 8p 300円
北勢の神仏一神の国の仏教受容 赤川 一博
南山城の不動石仏とその信仰 狭川 真一

◆近畿民俗通信 近畿民俗学会

- 〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5
原泰根方 TEL06-6709-8533 2009年創刊
- ◇15 2014.7 A4 4p

- 平成26年度総会報告 田中 明
平成25年度事業報告

◆左海民俗 堺民俗会

- 〒593-8307堺市西区北条町2-10-11
佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円
- ◇146 2014.9 B5 8p
泉南の郷土料理 押し寿司 川村 淳二
- 大学教師あれこれ(1)
新制大学の助手 生駒 道弘
私と短歌 堀家 重子
赤い靴はいてた女の子 下谷 佐吉
「ラ・ホエ」 岸 繁司
- 第68回 総会報告
例会報告 4月例会報告(4月16日)
堺の大道筋を北から南へ 岸 繁司
- 例会報告 5月例会報告(5月10日)
熊野古道を歩くIX(紀伊宮原～
湯浅) 佐原 浩二
- 例会報告 6月例会報告(6月5日)
絵の話:色紙に絵を画く 秋原 俊彦
- 例会報告 7月例会報告(7月11日)
たつの市の史跡と三木露風の里
散策 川村 淳二

◆除痘館記念資料室だより

- 洪庵記念会除痘館記念資料室
〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17
緒方ビル TEL06-6231-3257 2010年創刊
- ◇6 2014.6 A4 4p
アジアの牛痘種痘法 田崎 哲郎
- 緒方郁蔵の感染症対策
一生誕200周年に寄せて 古西 義磨
- 牛痘種痘法普及における光と影
一大阪の除痘館の大和伝苗をめ
ぐって 浅井 允晶
- 種痘の史跡を訪ねて(3)
佐賀の「種痘始まりの像」 米田 談典

近世天草、下馬刀島の天然痘患者
 一隔絶の島に想いを馳せて 川上 潤
 実在の洪庵に想う
 一その人となりをめぐって 緒方 高志

◆城だより 日本古城友の会
 〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
 平川大輔方 TEL06-6652-4511
 web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/

◇547 2014.7 B5 22p
 西区民センターで講演会を開催し
 ます／9月・第611回例会の予告
 ／セミナー等のご案内
 6月・第608回例会の報告
 京 聚楽第跡とその周辺を訪ねて
 小川 実

特別見学会の報告「東六甲採石場
 甲山刻印群をたずねて」 平川 大輔
 会員通信 大名陣屋とその村その
 町(第二集) 9 丹波 山家陣屋
 (別名 鷹栖陣屋、山家殿) 上田 正和
 新聞記事紹介
 ◇548 2014.8 B5 22p
 備前 岡山城を探访します／10月
 ・第612回例会の予告／セミナ
 ー等のご案内／受贈図書・資料
 7月・第609回例会の報告 織田氏
 の城を訪ねて一岩崎城・末森城
 ・清洲城 栢木 隆
 会員通信
 大名陣屋とその村その町(第二集)
 10 丹波 綾部陣屋 上田 正昭
 やつと行きました、鹿背山城へ 水品 弘樹
 新聞記事紹介
 ◇549 2014.9 B5 22p
 大和 宇陀松山城を探访します／
 11月・第613回例会の予告／セ
 ミナー等のご案内／受贈図書・

資料
 8月・第610回例会(講演会)の報告
 藪西旭氏「石垣に魅せられて」
 ／水島大二氏「紀伊徳川家・天
 守再建願望の記」 木下 修二
 会員通信
 大名陣屋とその村その町(第二
 集) 11 但馬 豊岡陣屋 上田 正昭
 埼玉～川越～行田～八王子方面
 への旅 井上 節子
 新聞記事紹介
 ◇550 2014.10 B5 22p
 若狭国吉城と越前正壇城を探索し
 ます／12月・第614回例会の予
 告／セミナー等のご案内／受贈
 図書・資料
 9月・第611回例会の報告 備前岡
 山城 木下修二／水品弘樹
 会員通信
 彦根城の登り石垣
 よく見えました 水品 弘樹
 大名陣屋とその村その町(第二
 集) 12 丹波 峯山陣屋 上田 正昭
 新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会
 〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
 山口久幸方 TEL06-6857-4959
 月1000円 1988年創刊
 homepage2.nifty.com/toyonakarekish/

◇318 2014.7 B5 30p
 豊中歴史同好会創立25周年記念シ
 ンポジウム 講演4 応神天皇と
 軽島の明宮・難波の大隅宮一佐
 紀政権から河内政権へ 塚口 義信
 読書室 シリーズ「遺跡を学ぶ」
 『ヤマト政権の一大勢力 佐紀
 古墳群』今尾文昭

◇319 2014.8 B5 16p
 雄略天皇の奥津城は何処か 岸本 直文
 名古屋市周辺の史跡を訪ねる 石塚 一郎

◇320 2014.9 B5 30p
 豊中歴史同好会創立25周年シンポ
 ジウム パネルディスカッショ
 ン「応神・仁徳天皇の実在性を
 めぐって」 司会・塚口義信／一瀬和夫／
 西川寿勝／水谷千秋／森岡秀人
 ／宇野慎敏／仁木聡／中村修

◇321 2014.10 B5 16p
 雄略天皇は「英雄王」か(上) 塚口 義信

◆ヒストリア 大阪歴史学会
 〒662-8501兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-
 155 関西学院大学文学部 高岡裕之研究
 室気付 1951年創刊
 www.historia-osaka.on.arena.ne.jp

◇244 2014.6 A5 115p 800円
 近世後期における幕府備荒貯蓄政
 策の特質―畿内幕領村を対象に
 尾崎 真理
 後飛鳥岡本宮と飛鳥浄御原宮一宮
 殿構造の変遷と「大極殿」出現
 過程の再検討 重見 泰
 わたしたちの文化財 重要文化財
 旧西尾家住宅(吹田文化創造交
 流館) 橘 悠太
 書 評
 亀田俊和著『室町幕府管領施行
 システムの研究』 呉座 勇一
 藤田和敏著『近世郷村の研究』菅野 洋介
 本城正徳著『近世幕府農政史の
 研究―「田畑勝手作の禁」の
 再検証を起点に― 大島真理子
 2014年度大会報告要旨
 特別部会
 伏見城研究の成果と可能性―

縄張り論と政権論の視座か
 ら 仁木宏／岸本直文
 伏見城の調査からみた城郭的
 位置づけ 中井 均
 伏見城(木幡山城)の遺構 中西 裕樹
 伏見城の曲輪構成と城下 福島 克彦
 大名屋敷からみた〈首都〉伏
 見 横田 冬彦
 考古・部会報告 重孤紋軒平瓦
 の二大様相―一七世紀寺院にお
 ける瓦の受容とその背景に関
 する基礎的考察 谷崎 仁美
 古代・部会報告
 八世紀における行幸と留守 大友 裕二
 日中行事「殿上台盤事」につ
 いて 芳之内 圭
 中世・部会報告
 戦国期近江における権力支配
 の構造―六角氏を中心に 新谷 和之
 「堺公方」期の京都支配と柳
 本賢治 馬部 隆弘
 近世・部会報告
 近世中期伯太藩における村落
 社会と領主支配―泉州上神
 谷郷を対象に 齊藤 紘子
 幕府領陣屋元村の掛屋と陣屋
 ・地域社会―備中国窪屋郡
 倉敷村を事例として 山本 太郎
 近代・部会報告 戦後「国民皆
 保険」の成立と地方自治―三
 重県伊賀地域を事例に 川内 淳史
 報告 ピースおおさかの展示リニ
 ューアル続報 企画委員会(岸本直文)

◇245 2014.8 A5 128p 900円
 《特集
 『中世都市根来寺と紀州惣国』をめぐって》
 特集にあたって 大阪歴史学会委員会
 海津一朗編『中世都市根来寺と紀

州惣国』 廣田 浩治
 中世寺院研究と根来寺 上川 通夫
 考古学からみた中世都市根来寺 阿部 来
 紀州「惣国」研究と根来寺 新谷 和之
 根来寺の都市論と首都論をめぐって 仁木 宏
 研究 「安政五ヶ国条約」の締結と貿易業務体制の変容—長崎運つ上所を事例に吉岡誠也
 わたしたちの文化財 新しく発見された道頓堀関係史料について 八木 滋
 書評 池内敏著『竹島問題とは何か』 牧野 雅司
 新刊紹介 天野忠幸編『戦国遺文三好氏編』 小谷 利明
 報告
 2013年度「第29回歴史学入門講座」の記録 福島 彰人
 ビースおおさかの展示リニューアル続報2 企画委員会
 佐紀陵山古墳近傍の確認調査 企画委員会
 2014年度総会の記録

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会
 〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2
 アンティークショップ一兵内
 TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊
 osakarekikon.cocolog-nifty.com
 ◇28 2014.8 B5 115p 1500円
 表紙のことは 岐阜岩村城の石垣 井川 光正
 大阪歴史懇談会の設立に想う 田村 紘一
 三十周年記念号によせて 中澤 祐一
 玉山金山(8)—黄金の國、いわて。 松坂 定徳
 石見吉川家十代目 吉川式部少輔
 経家(10) 田村 紘一

琉球人来朝行列図に想う—嘉永六年米使ペリー一行首里王府に強硬訪問 安居 隆行
 イギリスのファージング硬貨について—10進法導入以前 久保 敏博
 歴史随想 ニールスの民 六千年の流れに惟う(10) 吉井 功兒
 古代日本の礎に貢献した最大の渡来系「秦氏族」の実像 小林 司
 私の世相随想録 岩谷 隆行
 連雲港と日本人 道家康之助
 日曜歴史散歩—大阪の歴史と伝説をたずねて 室田 卓雄
 『初春やひい孫二人産まれたる』 大西 怜子
 野口英世のなかの中国(覚え書き) 片倉 穰
 明治の旅日記を読む
 —肥後熊本から東京・日光へ 寺井 正文
 近江の国 湖東紀行 森田 定和
 源氏物語 千年紀によせて(中) 稲垣 隆造
 追悼 石川道子先生
 平成25年度の歩み 磯崎 素子

◆神戸大学史学年報
 神戸大学史学研究会
 〒657-0013神戸市灘区六甲台町1-1
 1986年創刊 www.kobe-u.ac.jp/~shigaku/
 ◇29 2014.6 A5 57+10p
 大蔵公房はなぜ必要とされたのか ? 兒玉 州平
 撰関家九条流における「氏寺」の継承と相論 樋口健太郎

◆史料ネット NEWS LETTER
 歴史資料ネットワーク
 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
 神戸大学文学部地域連携センター気付
 TEL078-803-5565 年1000円 siryo-net.jp

◇6 2014.6 A4 4p
 巻頭言
 資料リスト作成作業への所感 東野 将伸
 福井県文書館資料保存研修会の記録 橋本 唯子
 『文化財の防災に関する共同宣言』の締結について 下田 智隆

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会
 〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
 TEL079-442-0658 1986年創刊

◇64 2014.7 B5 6p
 西求女塚古墳と元稲荷古墳 廣瀬 明正

◇65 2014.11 B5 6p
 『住吉物語』は住吉神の靈驗譚であつた 熊谷 保孝

◆西宮市立郷土資料館ニュース
 〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
 TEL0798-33-1298 1987年創刊
 www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/
 ◇40 2014.7 B5 8p
 第30回特別展示「西宮の古文書—岡本家文書の世界—」 俵谷 和子
 西宮市生瀬地区文化遺産総合調査について 西尾 嘉美
 寄贈資料一覧(平成25年4月～平成26年3月、敬称略)
 西宮市立郷土資料館ニュース目次(第21号～第40号)

◆西宮文化協会会報
 〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
 西宮神社内 TEL0798-33-0321
 ◇556 2014.7 B5 8p
 7月行事 映画鑑賞と講演会
 野村純一氏
 明治八年・清酒醸造営業免許鑑札

藤田卯三郎
 マヤ文明とアステカ文明を訪ねる
 メキシコ紀行(4) 二宮 健
 「西宮」保存箱、玉手箱(7)
 —情報公開課資料より 豊田 みか
 夙川今昔物語(1) 村岡 和繁
 平成26年(7月～9月)美術館・博物館等展示の御紹介
 ◇557 2014.8 B5 8p
 8月行事 博物館見学会 イタリ
 ア・ボローニャ国際絵本原画展
 西宮市大谷記念美術館
 西宮と大化の改新・有間皇子 山下 忠男
 「西宮」保存箱、玉手箱(8)
 —情報公開課資料より 豊田 みか
 竹内志朗氏大いに語る(スケッチ&コメント) 江崎健一郎
 『人形浄瑠璃街道 施設・公演情報』
 ◇558 2014.9 B5 8p
 9月行事 観月祭 月見の宴
 西宮勤番所絵図 衛藤 彩子
 「西宮」保存箱、玉手箱(9)
 —情報公開課資料より 豊田 みか
 夙川今昔物語(2) 村岡 和繁
 西宮神社境内末社 神明神社
 ◇559 2014.10 B5 8p
 10月行事 会員発表 「雄大碑物語」—雄大碑アラカルト 浜脇
 古老の会 山本實先生
 11月見学会の御案内1
 民俗学のふるさとを訪ねる 山下 忠男
 「西宮」保存箱、玉手箱(10)
 —情報公開課資料より 豊田 みか
 イギリスの旅 オックスフォード・ロンドンの旅 牧野 好男

◆歴史と神戸 神戸史学会
 〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4

田中印刷出版内 TEL078-871-0555
 年3000円 1962年創刊
 ◇304 (53-3) 2014.6 A5 48p 600円
 口絵 六甲山の「ラジオ塔」の記
 事(「カウベ」昭和15年10月、神
 戸市観光課)
 神戸史学会賞・落合重信記念賞の
 公募と暑中見舞い広告のお願い
 《特集 ひょうご古代史新研究》
 『古事記』一三〇〇年の虚偽と真実
 寺本 躬久
 摂津国難波津の祭祀・八十島祭の
 草創について 羽床 正明
 但馬国郡部駅家の所在地について
 生田 隆
 わが神職累代の記(2) 祖父のこと
 (1) 十で神童、十五で才子、二
 十過ぎれば 上村 武男
 兵庫の庭園再訪(6) 荒井家庭園 西 桂
 六甲山のラジオ塔について 柴田 昭彦
 神戸・阪神歴史講座第11回のお知
 らせ 尼崎町ももやま話—明治
 ～昭和戦前期
 シンポジウム「資料保存に集う人
 々」
 古文書研究家の石川道子さん追悼
 事業
 新聞地域版を読む
 ◇305 (53-4) 2014.8 A5 57p 600円
 《特集 ひょうご中世史新研究》
 史料紹介 永禄十二年八月二十二
 日小寺政職感状—黒田官兵衛尉
 孝高青山合戦の史実 依藤 保
 中世後期における多田地域の権力
 形態と主体について—多田院を
 中心に 小山 明彦
 天正九年の但馬国小代一揆につい
 て 渡邊 大門

わが神職累代の記(3) 祖父のこと
 と(2) 小学教員、苦学生、そ
 して歌。 上村 武男
 新聞地域版を読む
 ◆大美和 大神神社
 〒633-8538奈良県桜井市三輪
 TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
 ◇127 2014.7 B5 68p
 暑中ご挨拶 鈴木 寛治
 巻向・三輪と柿本人麻呂 鉄野 昌弘
 大神神社の鳥居と赤玉 土生田純之
 弓槻嶽は弓月嶽 平井 良朋
 第10回三輪山セミナーイン東京講
 演録 三輪山祭祀と出雲・伊勢
 和田 萃
 第43回「神道国際友好会宗教事情
 視察研修」インドネシア共和国
 を訪問して 木村 克之
 ◆紀伊考古学研究 紀伊考古学研究会
 〒642-0014和歌山県海南市小野田1221-1
 前田敬彦方 1998年創刊
 ◇17 2014.8 B5 91p 2000円
 〈小特集 和歌山県の考古学研究の歩み
 (旧石器時代から弥生時代まで)〉
 小特集にあたって
 和歌山県における旧石器時代研究
 の歩み 中原 正光
 和歌山県における縄文時代研究の
 歩み 中村 貞史
 和歌山県の弥生文化研究の黎明期
 について 小賀 直樹
 和歌山県における弥生時代研究の
 あゆみ—1980年代から現在まで
 川口 修実
 大谷山22号墳の形象埴輪—胡籬形
 埴輪の紹介と検討 丹野拓／藤藪勝則

和歌山城出土の滴水瓦 奥村 薫
 報告 紀ノ川流域とその支流貴志
 川流域の縄文草創期・早期を探
 る 北村 純治
 和歌山県の考古学関係文献目録
 (2013年) 事務局
 活動記録 事務局
 ◆熊野 紀南文化財研究会
 〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
 濱岸宏一方 TEL0739-25-0657
 年3000円 1969年創刊
 ◇146 2014.6 A5 55
 熊野に棲息する妖怪たち(2) 宮本 恵司
 名取川丸沈没の悲劇 山本 賢
 近世田辺良の今高制・上ヶ知制、
 上ヶ米制序説(3) 芝 英一
 郷土関係新刊紹介 南方熊楠 記
 憶の世界／修験道と児島五流
 その背景と研究／熊野信仰の世
 界—その歴史と文化／南方熊楠
 の説話学／会津川・芳養川 創
 立46周年のあゆみ／南方熊楠と
 近代日本／熊野・新宮の「大逆
 事件」前後／若山の部落史 史
 料編前近代1／南方熊楠の見た
 夢
 文化財ニュース／会合メモ
 ◆熊野情報 熊野歴史研究会
 〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
 新宮市役所商工観光課 山本殖生
 TEL0735-23-3333 年3000円
 ◇194 2014.9 B5 2p
 御船祭の研修・見学会／講座「中
 世後期の熊野詣」／特別展見学
 と高野山への旅／国宝・熊野速
 玉大社神像のシンポジウム／西

村伊作記念講演会／熊野学フォ
 ーラム／『熊野古道を歩く』／新
 役員紹介／事務局より

中国・四国

 ◆中村家の会会報
 〒680-0015鳥取市上町41 中村忠文方
 TEL0857-23-1264 年5000円 1979年創刊
 www.nihonkai.net/nakamura/
 ◇36 2014.7 A4 12p
 「中村家の会」について
 平成25年度総会
 長浜城歴史博物館より(コピー)
 中村一氏公
 関係情報／会員情報
 平成25年度 収支会計報告
 ◆郷土石見
 〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
 児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊
 ◇96 2014.8 A5 146p 1200円
 表紙写真 カヌーの里おおち(邑
 智郡美郷町亀村) 梅木知巳／河井俊彦
 特報 和木のロシア祭 和田 力
 百年前の浜田スケッチ(下)
 一詩人伊良子清白日記 岩町 功
 中世から近世の濱原村・川戸村・
 瀧原村・信喜村・亀村・高山村
 (下) 小野 博之
 服部之聡の人と生き方(2)—研究
 再考 パーソナリティの視点か
 ら 河野 純一
 江の川の渡し舟(近・現代編) 森脇 登
 口羽通良の石山合戦—上月の役 日高 伊三
 本当って、なに—鴈外さんの漢詩
 より・回と叵 林 量三
 町から村から
 銅ヶ丸鉾山の産業医 福嶋 脩二

美都の宝「都茂丸山鉾山(銅山)」
 を活かすために 久保 勝規
 仏教三大聖樹考
 ーインド仏蹟参拝の旅 石津 確
 「良寛」への旅 坂本 文江
 石見の博物館を訪ねて(1) 森脇 晋平
 古里の郷土室 大矢 幸子
 「自然」論文の補遺 宮本 巖
 資料
 中世の石見国波根郷について
 (上) 池田 誠一
 島根県邑智郡南町矢上・清水
 屋本田植歌集(6) 田中 瑩一

◆大社の史話 大社史話会
 〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
 稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円
 1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp
 ◇179 2014.6 B5 48p
 大社史話会「出雲市市民文化賞」
 を受賞！ 大社史話会
 大社観光史研究(12) 門前町の盛
 衰一二つの大遷宮の間から 岩成 俊策
 大社観光史研究(13)
 神門通りの今昔 金山 治正
 大社観光史研究(14) 杵築富くじ
 興行とその経済効果 山崎 裕二
 消えゆくもの(44)
 一節句・向う三軒両隣り 春木 芳子
 読者コーナー 編集部
 書籍紹介1 いづも財団叢書創刊
 号『出雲大社の造営遷宮と地域
 社会(上)』が発刊される！ 編集部
 書籍紹介2 赤塚神楽佐儀利保存
 会創立50周年 文化財指定10周
 年記念『子や孫に今こそ残そう
 赤塚の文化』 編集部
 日置風水の紀行文

『隠岐のすさび』を読む(5) 山崎 隆司
 日本海運史料(9) 出雲国鷺浦庄
 屋共有文書 御城米御用荷物
 雲州神門郡鷺浦入津改帳 藤澤 秀晴
 出雲弁よもやま話ーじょうじょうも
 んとまんなしう 村上 清子
 企画展「倭の五王と出雲の豪族」
 古代出雲歴史博物館
 アテンダントのご縁物語(4)
 ー門前町おでかけ 和田めぐみ
 出雲弥生の森博物館 夏季企画展
 「古代の出雲びと、文字を書く
 ー示す・伝える・祈るー」
 出雲弥生の森博物館
 手銭記念館の四季 杵築文学あれ
 これ(4) 手銭記念館所蔵 中臣
 典膳の作品 佐々木杏里
 平成26年1月～3月出雲市大社町年
 表 編集部
 ◇180 2014.9 B5 48p
 古代出雲歴史博物館に250万人目
 のお客様をお迎えして考える 黒崎 寿政
 出雲船団の軌跡を追って 岩成 俊策
 大社観光史研究(15) 杵築富くじ
 興行を実施した人びと 山崎 裕二
 「きんぐ」の大社焼そばとラーメン
 馬庭 孝司
 お知らせ 大社史話会編『出雲国
 大社観光史』の発刊が間近！ 編集部
 読者コーナー 編集部
 平成26年度 大社中学校出雲弁川
 柳作品集 大社中学校
 日置風水の紀行文
 『隠岐のすさび』を読む(6) 山崎 隆司
 日本海運史料(10) 出雲国鷺浦庄
 屋共有文書 御城米 御用荷物
 雲州神門郡鷺浦入津改帳 藤澤 秀晴
 企画展 修験の聖地 出雲国浮浪

山鰐淵寺 古代出雲歴史博物館
 大社町の大型石鍾 出雲弥生の森博物館
 手銭記念館の四季 特別企画展
 『江戸力ー手銭家蔵書から見る
 出雲の文芸ー』 佐々木杏里
 「大社の史話」目次集
 第171号～第180号 編集部
 平成26年4月～6月出雲市大社町年
 表 編集部

◆宇喜多家史談会会報
 〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
 光珍寺内 TEL086-222-2028
 年2000円 2002年創刊
 ◇51 2014.7 A4 10p
 宇喜多家史談会の皆様へ 山下 貴司
 明石掃部の名乗りについて(3)
 (前号継続) 小川 博毅
 宇喜多軍団の団結と分裂
 (前号継承・史料編) 柴田 一
 直家の妻と秀家の姉 皆木 欣耿
 宇喜多氏の城々(7) 奈良部城
 ーその存否の検討(2) 出宮 徳尚
 物語直家記伝 乙子の城
 第22回 伴侶(7) 山重十五郎
 会員サロン
 宇喜多氏関連遺跡の写真展(3) 津下 誠治
 第6回戦国の貴公子 宇喜多秀家
 ☆フェス『宇喜多軍大行列』

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会
 〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36
 村上岳方 TEL086-942-6156
 年1500円 1986年創刊
 homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
 ◇133 2014.9 B5 32p
 石見安国寺『国苑掌鑑』にみる五
 山制度の構築過程 斎藤 夏来

書評 鴨頭俊宏著『近世の公用水
 通路をめぐる情報 瀬戸内海を
 中心に』 糸川 風太
 紹介『朝鮮通信使饗応関係資料』
 (上・下) 村上 岳
 歴史談話室
 栄西八百年忌記念関連二題 辰田 芳雄

◆岡山藩研究 岡山藩研究会
 〒169-0051東京都新宿区西早稲田
 早稲田大学文学部 紙屋研究室内
 blogs.yahoo.co.jp/okayamahanwaseda/
 ◇73 2014.7 B5 14p
 〈第38回全体会の記録〉 2014.3.29
 報告要旨 岡山藩と領内日蓮宗寺
 院の諸事件 坂輪 宣政
 参加記
 藩権力と宗派の関係性と影響力
 ー坂輪報告を聞いて 竹村 到
 坂輪宣政氏の御報告を聞いて 靱矢 嘉史

◆きび野 岡山県郷土文化財団
 〒700-0813岡山市北区石関町2-1
 TEL086-233-2505
 ◇134 2014.6 A5 14p
 表紙説明 小林喜一郎『家族コン
 ポジション』 廣瀬 就久
 竹久夢二
 生誕一三〇年を迎えて 小嶋ひろみ
 戦国の世の発想を今に伝える 竹内藤十郎
 岡山の人物
 富川(戸川)秀安の母・妙珠院 森 俊弘
 岡山の自然 サギソウ 片岡 博行
 岡山の文化財 法泉寺本堂 小西 伸彦
 わが町・わが村の自慢 総社吉備
 路文化館(総社市上林)
 ふるさとの思い出 八浜町並保存
 推進委員会(玉野市八浜町八浜)

会員日より 座禅を続けて
 ー「門」とは一体何か 宮本 進
 ◇135 2014.9 A5 14p
 表紙説明 坂田一男『キュビズム
 的人間像』 廣瀬 就久
 産業考古学への誘い 小西 伸彦
 文化・歴史への思いー『長野士郎
 岡山県政回顧』刊行に寄せて 大畑 利幸
 岡山の人物 法然の母・秦氏 前原 茂雄
 岡山の自然 真鍋大島のイヌグス 安東 康宏
 岡山の文化財 J R津山線弓削駅
 駅舎(岡山県最古の駅舎) 松岡 久夫
 わが町・わが村の自慢 歴史公園
 中世夢が原(井原市美星町)
 ふるさとの想い出 出雲街道沿い
 に「作州緋工芸館」(津山市西
 今町)
 会員日より 染め・織りの楽しみ 赤井美佐代

◆中庄の歴史 中庄の歴史を語り継ぐ会
 〒710-0016岡山県倉敷市中庄1268
 ◇9 2014.9 A5 96p 1000円
 巻頭言
 歴史遺産が残されている犬島 在本 桂子
 こうもり塚古墳の内部の床面は何
 故、常に濡れているのか 枝川 統一
 『太平記』の城を巡る
 備中・福山城のこと 片山 潤子
 私の中の「中庄」 山下 敬彦
 縁(えにし) 栢原留利子
 犬飼恭平のこと 森 容子
 ふるさとを語る 木元 大
 中庄を訪ねて
 昭和の戦争が遺したもの 戸板啓四郎
 特別寄稿 戦没者を悼むことー歴
 史のなかで考える 原田 敬一

2012・夏ニュースハイライト 中
 庄の春はマスカット球場から
 楽天イーグルス春季キャンプ
 ツツジ山再生プロジェクト日より
 第1回ツツジ写真コンテスト
 受賞者発表！最優秀賞は中村紳
 吾さん 優秀賞は赤木紀さん
 写真コンテストの受賞者発表に寄
 せて 竹井 皓三
 受賞のことは「ジャングルに咲
 くツツジ」最優秀賞 中村紳吾
 さん／とても楽しい審査でした
 ふるさと歴史講座「鴨方往來を走
 ったK〇パス」より 鴨方往來
 と国道の変遷 南 智
 吉備津宮の門前町宮内 柴田 一
 中庄小学校の思い出
 音楽教育先進校を目指して 桑木 儀夫
 東日本大震災から3年 「復興グル
 メF-1大会」による被災地間交
 流 大政 朋子
 歴史散歩
 ふる里佐賀関の「関の大煙突」 日高 潔
 養生は食物から (3) 牛蒡・胡麻
 中庄むかし風土記 再録「都窪丘
 陵の峠と道」(斉藤伸英著) 『高
 梁川』第50号より
 再録にあたって 編集部
 父の写真 谷田 直子
 倉敷市北東部 都窪丘陵の峠と道 斎藤 伸英
 2013トピックス 最後まであきら
 めないで守り抜くぞー北中学校
 野球部
 ウォーク&トーク ふるさと紀行
 (7) 栗坂の巻 「陶酔窯」を訪
 ねて 難波 史郎
 中庄図書館関連資料補遺

「中庄図書館」 岡 長平
 愉快な田邊流人生！(4) Get
 POSTERS of the Atlanta Oly
 mpic 田邊 泉
 心をつないで100周年
 ー玉島信用金庫

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
 〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
 大学大学院文学研究科日本史学研究室内
 TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
 ◇291 2014.6 A5 32p 600円
 近世豊田郡における頼母子講の検
 討 高垣真利子
 動 向
 「建国記念の日」のヒロシマ(48)
 広島県の地方史研究
 新聞記事から(2010年7月～2010
 年12月)
 芸備掲示板 大和ミュージアム夏
 の企画展の御案内 呉市海事歴史科学館
 史跡をあるく
 金蓮寺・村上氏代々の墓 阿武 旭

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
 TEL084-953-6157 bingo-history.net
 ◇178 2014.6 A4 22p
 畝状堅堀群について 田口 義之
 古墳講座 装身の考古学(1) 網本 善光
 近世福山を読む 福山城の建造物
 (1)一本丸・二ノ丸 高木 康彦
 古文書解説 「宝永八年沼隈郡神
 嶋村萬差出帳」(3)
 カンタン 山城鳥瞰図
 その1. 基本の形 山岡 佑佳
 調査報告 中世石造物の調査報告
 備後史談 榎木峠 根岸 尚克

御尋申上候 旧暦六月一日に食べ
 る風習がある「ふなやき」につ
 いて 岡田宏一郎
 例会談義 備中高松城水攻戦
 ー地名から見た水攻め 佐藤 貴洋
 「大海の茶入れ」一考 山本 典子
 例会報告 備中境目七城を歩くに
 参加して 野村 秀樹
 絵手紙だより 小川 道子
 石垣と桜、そして雨 大場 和弘
 迫山第1号古墳と二子塚古墳 野母 寿子
 中世史部会便り 上御領で行われ
 た測量調査について 大場 和弘
 郷土探訪
 高諸神社の石造物について 岡田宏一郎
 大分便り 大おもて会 後藤 匡史
 山城レポ
 古中の浮城 水聖岡山城 末森 清司

◆備陽史研究 山城志 備陽史探訪の会
 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
 TEL084-953-6157 1982年創刊
 bingo-history.net
 ◇22 2014.6 A4 101p
 発刊にあたって 田口 義之
 《特集 芸備地方の戦国武将》
 近世初頭の大名権力と在地領主
 ー水野勝成の土豪対策 田口 義之
 享禄四年毛利元就・尼子詮久兄弟
 契約の背景と意義 住本 雄司
 杉原下総守家と四番衆杉原氏につ
 いてー杉原信平系の惣領家に関
 する考察 木下 和司
 大町山城主井上氏の系譜と井上家
 古文書よりみた古志清左衛門の
 没年 矢田 貞美
 吉備の首長墓の系譜を探るー「前
 方後円墳の二系列と王権構造」

を読む 網本 善光
 芸州広島・浅野藩の祖浅野長政
 坂本・大津での軌跡 末森 清司
 癒しの杜 父木野の清瀧神社 杉原 道彦
 駅家町服部地区の地名語源 根岸 尚克
 東海道五十三次ゆったり紀行
 一新宿から御油・赤坂まで 岡田宏一郎
 特別寄稿 ある戦中派の軌跡 池田 晃
 ◇179 2014.8 A4 30p
 御領の地名と山城 田口 義之
 調査報告
 大東宇山城跡測量調査結果 中世史部会
 中世石造物の調査報告 篠原 芳秀
 カンタン 山城鳥瞰図
 その2. 曲輪を重ねる 山岡 佑佳
 備後国薬江港の所在地 矢田 貞美
 古文書解説 「宝永八年沼隈郡神
 嶋村萬差出帳」(4)
 古墳講座 装身の考古学(2) 網本 善光
 郷土探訪 連載「川筋を訪ねて」
 (8) 竹田川流域を歩いて 種本 実
 備後史談
 随筆に見る明治期の松永の風物
 一福岡麟太郎の随筆から 岡田宏一郎
 中津藩備後領の義民
 村田庄兵衛 根岸 尚克
 例会談義 4月バス例会「備北紀
 行」に寄せて・その1 稲葉 泰造
 例会報告
 「日本百名城の旅」に参加して 池田 篤史
 営所通りを歩いて 北川 浩二
 「尾道路地歩き」堪能 中西タイチ
 ワンショット・レポート
 一大東宇山城跡測量調査
 近世・近代史部会便り 「近世福山
 を読む」第14回～第17回要旨 高木 康彦
 大分便り
 橋本八左衛門先祖法名碑 後藤 匡史

山城レポ
 越前の山城 幻の朝倉二の丸 末森 清司
 備陽史研究「山城志」目次総覧
 (第1集～第9集)(1982～1987)
 ◆広島土史研究会会報
 〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
 広まちづくりセンター内 TEL0823-71-0706
 1998年創刊
 ◇120 2014.7 A4 20p
 表紙 広甘藍(かんらん)集荷状況 上河内良平
 2014年度芸備地方史研究会大会の
 ご案内 笠井今日子
 2014年度芸備地方史研究会大会一
 近代広島音楽史構築をめざし
 て
 広甘藍事始め再考 上河内良平
 藤田家文書 第F J 章(4)
 広島土史研究会古文書部会
 古文書部会の報告／例会の主な感
 想／例会報告
 ◇121 2014.9 A4 18p
 表紙 広三坂地善通寺鐘楼建立記
 念 写真提供：亀樋チエノ女史 上河内良平
 石に影を焼きつけた男の話 翻案
 口演：緩急車雲助 原作：中井
 文夫『名前のない男』
 藤田家文書 第F J 章(5)
 広島土史研究会古文書部会
 広島県郷土史研究協議会(県史協)
 開催のご案内／ひろしま県史協
 (機関誌第32号)目次
 芸備地方史研究会 2014年度大会
 報告 上河内良平
 大林源蔵旧宅石碑移転費用賛否決
 議 吉田 顕治

古文書部会の報告
 出張歴史講座報告 平原 聖三
 三坂地善通寺鐘楼建立記念写真
 歴史展示 催し物のご案内 かぐ
 わしき日本の香り一香の歴史と
 美 みよし風土記の丘ミュージ
 アム(広島県立歴史資料館)／芸
 備地方史研究会の報告
 ◆広島民俗 広島民俗学会
 〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24
 岡崎環方 TEL082-818-3497 1974年創刊
 ◇82 2014.8 A5 84p 500円
 備後尾道周辺の特設神事の報告 尾多賀晴悟
 布の息吹を伝えていく「ジャパ
 ンブルー・藍のつぎはぎ展一寶
 水堂襤褸コレクション」を終
 えて 水野 恵子
 平成25年度現地研究会 参加記
 奥出雲たたらに里を訪ねて 岡崎 環
 たたらと地域の景観 石川 律子
 奥出雲たたらに里探訪記 片桐 功
 奥出雲たたらに里をたずねて 藤川 昌寛
 奥出雲町の山・川・田んぼ 松井 卓子
 民俗学会第83回研究会参加記 三村 泰臣
 津野山神楽を拝見する 平成25年
 11月3日 三島五社神社の祭り 下畠 信二
 私と神田先生との出会い 迫江 勝
 ◆みよし地方史 三次地方史研究会
 〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
 2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
 1987年創刊
 ◇94 2014.8 A4 8p
 私の被爆体験 中村 孝之
 有原天満宮の『懸仏』 新祖隆太郎
 総会記念講演『中世民衆史生活の
 ひとこまー中世の遊びー』

三次浅野藩に関わる家譜 長治公
 生誕から三次浅野家廃絶まで、
 110年間の人々(4) 富士原昌宏
 ◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
 〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
 福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円
 ◇280 2014.7 B5 12p 100円
 今月の各地
 地産地消でみはらを元気に！ 佐藤 俊夫
 平成26年度総会記念講演の主な論
 点 大木 静人
 安芸草井氏の出自と系譜(5) (2)
 五郎行信の子、太郎清義が移り
 住んだ大和町下草井黒谷の史跡
 和氣 泰臣
 八階 見晴史 病床狂語(2) 備後 浮城
 ◇281 2014.8 B5 12p 100円
 今月の各地
 虫送り火(精霊送り) 寺迫 保夫
 H26年度総会記念 網本善光先生
 講演「三原の古墳時代をさぐ
 る」(要旨) 鈴木 健次
 安芸草井氏の出自と系譜(6) (2)
 五郎行信の子、太郎清義が移り
 住んだ大和町下草井黒谷の史跡
 (つづき) 和氣 泰臣
 八階 見晴史 病床狂語(3) 備後 浮城
 ◇282 2014.9 B5 12p 100円
 今月の各地
 とくじゅまる物語 創生の記 下西 勝彦
 秋の研修旅行のご案内 阿久利姫
 のふるさと 三次をたずねる 吉原 宏人
 H26年度総会記念 網本善光先生
 講演「三原の古墳時代をさぐる」
 (要旨2) 鈴木 健次
 安芸草井氏の出自と系譜(7) (3)
 懸城に居住した時代の小草井・

西谷の史跡 和氣 泰臣
◇283 2014.10 B5 12p 100円
今月の各地 10月10日 体育の日
行長 啓三
H26年度総会記念 網本善光先生
講演「三原の古墳時代をさぐる」
(要旨3) 鈴木 健次
とくじゅまる物語1
ゆきがっせん 下西 勝彦
安芸草井氏の出自と系譜(完結編)
(3) 懸城に居住した時代の小草
井・西谷の史跡(つづき) 和氣 泰臣
八階 見晴史 病床狂語(4) 備後 浮城

◆徳島県立博物館ニュース
〒770-8070徳島県徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇95 2014.6 A4 8p
イチョウハクジラ 佐藤 陽一
Culture Club 藩絵師 矢野典博
一画名のうつりかわり 大橋 俊雄
平成26年度 第2回企画展 まんま
るワールドー世界と四国の哺乳
類
情報ボックス 阿波藍商人が建て
た熊本・本妙寺の常夜燈 松永 友和
野外博物館 ウミタケとその化石
中尾 賢一

Q & A 昨年発表された那賀町で
見つかったアンモナイトは、学
術的にどのような点が、すごい
のですか？ 辻野 泰之

◇96 2014.9 A4 8p
四国霊場の弘法大師坐像 長谷川賢二
Culture Club
トコジラミー復活の吸血虫 山田 量崇

四国霊場開創1200年記念4県連携
事業 「空海の足音 四国へんろ
展」徳島編
情報ボックス 祖谷のジャガイモ
庄武 憲子

館蔵品紹介 鈕にシカの描かれた
銅鐸 伝榎瀬銅鐸(複製品) 高島 芳弘
Q & A 海岸で土器が拾えるって
ほんとですか!? 岡本 治代

◆伊予史談 伊予史談会
〒790-0007愛媛県松山市堀之内
愛媛県立図書館内 1915年創刊
◇374 2014.7 A5 71p 750円
《四国霊場開創1200年記念
特集 四国遍路の研究〈先学論文〉》
口絵 四国偏禮絵図・岩屋寺勝景
大略図他
中世の四国遍路 新城 常三
四国霊場考 西園寺源透
四国遍路の成立 越智 通敏
随想 近松門左衛門の四国遍路 北川淳一郎
史料紹介
四国邊路御開基弘法大師御縁起
(伊予史談会文庫所蔵) 門田恭一郎
口絵・四国遍路関係資料の解題
編集部
郷土その日その日 編集部(袖山俊夫)
例会記事 第1186回～第1188回 編集部

◆海南千里 土佐山内家宝物資料館日より
〒780-0862高知市鷹匠町2-4-26
TEL088-873-0406 2000年創刊
www10.ocn.ne.jp/yamauchi/
◇43 2014.6 A4 10p
見性院御栞写
縦17.cm、高さ7.8cm 尾本 師子
記憶という歴史資料 渡部 淳

特設展紹介 「寄贈寄託展 蔵出
し高知の歴史」(古賀康士)／夏
休み恒例「土佐藩歴代藩主展—
土佐藩二七〇年の歴史と個性あ
ふれる藩主たち—」(中屋真理)
事業報告
山内家資料の保存状態カード作
成事業 田井東浩平
高知城・城下町情報データ作成
事業 横山 和弘

特設展関連行事報告 「文殊の御
寺 竹林寺展」関連行事 記念
講演会「四国遍路の歴史」、竹
林寺境内見学と声明体験、特別
講座「本尊文殊菩薩の御詠歌紹
介と開帳の歴史」 横山 和弘
御道具根拠をよむ(4)
「御道具の世界像(2)」 尾本 師子
新 研究の手引 古代・中世の文献
史料を調べる 横山 和弘
整理と保存(43)
修理事例「槍」(1) 田井東浩平
古文書への招待
近代山内家の「武士の商法」 古賀 康士
土佐史の人々
板垣退助(1837～1919) 富井 優
古文書基礎知識 三貨制と古文書
藤田 雅子

土佐の〇 地域とともに 『地域
連携の試み—「お城下で見る土
佐國」の開催—』 筒井 聡史
お世話になった人々
一五台山詠歌会 渡部 淳
『地域記録集 土佐の村々』最新号
のお知らせ 筒井 聡史
まなびのひろば お正月の会／ひ
な道具展関連行事 ①貝合わせ
の会、②呈茶／さわってみよう

！武器・武具—なぎなた 中屋 真理
受付日より—山内資料館の手作り
あれこれ 大平 悦子
平成26年度展示予定表／講座のご
案内／催し物のご案内／販売物
紹介
路傍の歴史 「江藤新平君遭厄地」
の碑 安芸郡東洋町甲浦 片岡 剛

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院
〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ
ウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊
◇122 2014.7 A5 216p 1250円
巻頭言 纏向＝虚構の邪馬台国
〈第1特集 纏向＝虚構の邪馬台国〉
小保方氏の事件と科学と邪馬台国
安本 美典

『朝日新聞』塚本和人記者の一連
の記事を、徹底検証する 安本 美典
〈第2特集 魔鏡〉
魔鏡報道、二つの問題点 小松田文太
三角縁神獣鏡魔鏡説の報道批判 松田 政夫
魔 鏡 松田 政夫
森浩一先生を偲んで
地域学と町人学者と古代学 菊池 秀夫
式内社から見る大国主と天火明・
饒速日の勢力分布 伊藤 友一
梅原末治論(後)—モノを究めよう
とした考古学者の偉大と悲惨 穴沢 咏光
もがり(殯)—天皇の葬送儀礼 岡 博
異色の硬骨漢、藤原緒嗣 清野 敬三
ブッダへの道(8)—法顕が見た五
世紀初頭のアジア 河村 哲夫
世界遺跡巡り(4)
ストーンヘンジ 井上 修一
九州古代紀行(24) 若い女性たち
に人気の竈門神社を往く 加藤 哲也

塩・高瀬舟・三角縁神獣鏡 石原 秀見
日本神話の中の「和邇、わに、鰐、
ワニ」を考える 宮崎 照雄
耶馬台国の経済学
一東シナ海の視点から 太田 隆

◆九州史学 九州史学研究会
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学文学部日本史学研究室内
TEL092-642-2375 1956年創刊
www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/
◇169 2014.5 B5 76p
明治中期における監獄費国庫支弁
問題とゆるやかな制度変化 赤司 友徳
2013年度九州史学研究会大会
公開講演
雨森芳洲がみた日朝交流の変化
と対応策一『交隣提醒』を中
心に 田代 和生
本考古学史を読み直す
一科学史からみた考古学 坂野 徹
2013年度九州史学研究会大会公開
講演・研究発表要旨
公開講演
雨森芳洲がみた日朝交流の変
化と対応策一『交隣提醒』
を中心に 田代 和生
日本考古学史を読み直す
一科学史からみた考古学 坂野 徹
研究発表
東向寺僧による外交文書の吟
味と倭館館守戸田頼母 藤本健太郎
石見銀山領における鑛製鉄業
維持の動向 笠井今日子
佐賀藩財政における奥向一将
軍姫君入用費と天保改革 松尾 大輔
戦後日本における海上自衛力
再建と日米海軍 山縣 大樹

八～九世紀の氏族政策と推移
竹井 良介
統一期新羅における学制の再
検討 立花 大輔
永正期における大内義興の在
京と石見益田氏 吉田 篤弘
戦国末期における島津義弘の
政治的位置 松迫 知広

◆末盧国 松浦史談会
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
◇198 2014.6 B5 20p
唐津市指定史跡「座主磨崖仏群」
の内 種子三尊像（しゅじさん
ぞんぞう） 志佐 惲彦
旧大島邸に知る歴史的な絆(2)
西の旧鉄砲町の「棚倉組」と高
橋是清の耐恒察との絆 中里 紀元
唐津、土地の記憶(5) 神社の地 田島 龍太
幻の巨大プロジェクト
唐津市破産と新市計画 佐々木市太郎
谷山平左衛門と土佐藩士渋谷氏 寺沢 光世
春の史跡探訪 島原半島の神代鍋
島邸と、長崎の南蛮文化・切支
丹史跡を訪ねる 松本 和典
青幡神社の石祠 丸田 利實
正保の黒船焼討事件の真相(2) 山田 洋

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775
年4000円 1950年創刊
◇145 2014.6 B5 85p
表紙写真解説
中薩の太鼓踊の特徴 所崎 平
船持祝いの料理一いちき串木野市
羽島崎神社・太郎太郎祭 牧島 知子

羽島太郎太郎祭はどう変わったか
所崎 平
有明海再生は橘湾の浄潮導入で 牧 民郎
「ホトケバアサン(仏婆様)」を母
とする「隠れ念仏」一シャーマ
ンと「ウチノニョウサン(内の
如様)」(4) 森田 清美
資料 鹿児島の昔話(9)
一三島村など離島の昔話から 下野 敏見
耳鳴り克服の体験 牧 民郎
池水ツル姫の昔語り 本田 碩孝
みんぞく・かわらばん
川畑紺屋の道具 所崎 平
霧島修験 本山派愛甲修験資料
『異賦調伏御祈禱日帳』読み解
き(1) 森田 清美
資料 安永二年 次渡日帳
川邊郷 前床重治・編
みんぞく・かわらばん
伊勢染型紙 所崎 平

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
1977年創刊
◇203 2014.7 B5 8p
7月定例会レジュメ 地域の歴史
文化に「ふれる」取り組みにつ
いて一学校教育における歴史教
育との接続を考える 新城 宗史
8月定例会レジュメ 旧記類に見
る「数」の観念について一聖教
としての「七・五・三」を考え
る 下地 利幸
祭式舞踊「こいちや」(くいちやー)
一5月定例会を終えて考える 下地 和宏
6月定例会の報告をおえて ミヌ

ズマ遺跡の文化の源流は？ 久貝 弥嗣
国指定名勝「東平安名崎」並びに
国指定名勝及び天然記念物「八
重干瀬」の追加指定について 新城 宗史
第21回みゃーく方言大会 七名の
弁士、方言で熱弁振るう 下地 和宏
慰霊の日関連行事 「宮古南静園
の戦跡見学と講話」の紹介 砂川 史香
慰霊の日関連特別展示 「戦争と
は何か一モノから考える一」 寺崎 香織
大城裕子会長再任
第9回文化協会総会開かれる 下地 和宏
第47回琉球大学史学会
宮古島大会開催について
「四・二八」から「五・一五」への
回想 仲宗根將二
◇204 2014.9 B5 8p
9月定例会レジュメ 宮古島狩俣
の「ニーラアーク」をめぐる
上原 孝三
10月定例会レジュメ 宮古におけ
る1950年代から60年代にかけて
の農業と生活の変化 新城日出郎
7月定例会のまとめ 地域の歴史
文化に「ふれる」取り組みにつ
いて 新城 宗史
8月定例会のまとめ 『旧記類』に
見る「数」の観念について一聖
教としての「七・五・三」から
考える 下地 利幸
第27回企画展「虫むし展」の紹介
寺崎 香織
沖縄県平和記念資料館移動展「児
童・生徒の平和メッセージ展」
の紹介 與那覇史香
発掘調査速報 尻並遺跡(中央保
育園)の発掘調査 久貝 春陽
第5回城辺ふれあいまつり 城辺

地区の史跡めぐりを終えて 久貝 弥嗣
第9回市民総合文化祭―郷土史部
門「城辺地区の史跡めぐり」の
開催 事務局
市立図書館北分館「郷土の歴史と
文化」講座の開催 根間 郁乃
城辺庁舎ロビー展示 長南陣地壕
群出土木製品の保存処理 久貝 弥嗣
「宮古島文学」第10号 仲宗根将二

寄贈図書紹介

◆黒沢尻ヌルシャの分蜂

吉川和子・吉川國男編著 関東図書 (〒336-0021 さいたま市南区别所3-1-10 TEL048-862-2901) 2014年1月 A5 191頁 1800円
岩手県黒沢尻町(現・北上市)でヌルシャと呼ばれた漆塗りを生業とした高橋定次郎と、ヌルシャ家業を継げずにミツバチが分蜂するが如く日本各地に四散していった家族・子孫35名による文集。序 明治～平成を生きた父母(吉川國男)／はしがき／ヌルシャとその本家(ヌルシャ定次郎、定次郎の本家)／高橋忠司・ナホ年代記／分蜂第一世代(ヌルシャの分蜂第一号、忠司の弟・妹、その子孫)／分蜂第二～四世代 長女・吉川家のファミリー(分蜂第二世代 桶川吉川家)、次女・武藤家のファミリー(分蜂第二・三世代 葉山武藤家、分蜂第二世代 大阪武藤家)、三女・植田家のファミリー(分蜂第二世代 桶川植田家、分蜂第三世代 桶川植田家、分蜂第三・四世代 岡山植田家)／コラム／あとがき／参考文献

◆戸村家文書目録(秋田藩関係文書Ⅳ) 秋田県公文書館所蔵古文書目録9 資料群目録4 秋田県公文書館編・刊 (〒010-0952 秋田市山王新町14-31 TEL018-866-8301) 2014年3月 A4 189頁

秋田県立秋田図書館に旧蔵されていた文書のうち、戸村文庫として分類されたものを「戸村家文書」として2957点収録した文書目録。解題／編年資料 編年文書(慶長11年～文久2年、文久3年、源氏元年、慶応元年、慶応2年、慶応3年、明治元年、明治2年～24年)、年未詳文書、年月未詳文書、年月日未詳文書／非編年資料 秋田藩藩政、系図・伝記、軍書、和歌、漢詩文、その他／戸村家日記 戸村義輔日記、戸村義敬日記、戸村義通日記、戸村義効日記、戸村義得日記、戸村家膳番日記
◆秋田県公文書館所蔵 絵図図録 秋田県公文書館編(同上) 秋田県刊 2014年3月 A4 175頁
秋田県公文書館で所蔵する2666点の絵図の中から、秋田県指定有形文化財「日本六十余州国々切絵図」69点や、それに関わりがあるとされる「東国絵図」9点など、さまざまな絵図をテーマごとに158点紹介する。写真編 国絵図、日本六十余州国々切絵図・東国絵図、裁許絵図、元禄絵図、享保絵図、給人町絵図、城下絵図、各地の絵図／解説編／掲載絵図一覧

◆大規模災害における民俗(民族)知の援用に関する実践的研究 研究成果報告書 平成24年度～平成25年度東北大学災害科学国際研究所特定プロジェクト研究(共同研究) 東北芸術工科大学東北文化研究センター編・刊 (〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-2168) 2014年2月 A4 67頁
研究総括(田口洋美)／研究成果の公開／資料編 論考 災害の民俗知とは何か―伝承の行方(田口洋美)、資料1「東北文化研究センターアーカイブス」のなかの災害絵葉書(蛭原一平)、資料2 Fukushima Meltdown on Wildlife Management By Mitsuhiro A Takahashi and Gohei Ueda

◆戦中・戦後の記録写真―「東方社コレクシ

ョン」の全貌 「戦争末期の国策報道写真資料の歴史学的研究―国防写真隊と東方社を中心に―」2013年度科学研究費助成事業「学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))」研究成果報告書

井上祐子・植野真澄・大岡聡・山辺昌彦・小山亮・石橋星志著 政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター戦争災害研究室(同上) 2014年2月 A4 91頁

1941年に陸軍参謀本部の下に設立され、主に対外向けの写真宣伝物を制作していた東方社による空襲・戦災関係写真の寄贈資料を中心とした報告書3冊目。「青山光衛氏旧蔵東方社・文化社関係写真コレクション」の解題と全ネガのコマ毎のリストを収録する。はじめに(山辺昌彦)／東方社再考―「東方社コレクション」のあらましと東方社への新たなアプローチ(井上祐子)／「東方社コレクション」解題 戦時下日本の労働、暮らしと文化、教育(山辺昌彦)、大東亜共栄圏からの留学生たち(井上祐子)、日本国内における軍隊関係の行事と学校・演習(植野真澄・山辺昌彦)、中国の人びとの暮らしと戦争被害(井上祐子)、「東方社コレクション」における東南アジア関係写真(小山亮)／文化社の活動と敗戦直後の東京写真(大岡聡)／日本写真公社撮影空襲関係写真リスト(石橋星志)／日本写真公社撮影空襲関係写真一覧(石橋星志)／「東方社コレクション」ネガリスト凡例／付録 CD-ROM「東方社コレクション」ネガリスト

◆部落の歴史に学ぶ 部落史ブックレット1 部落史ブックレット編集委員会編 神奈川部落史研究会 (〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東2-13-34 部落解放同盟横浜市協議会内 TEL045-335-0721) 2013年10月 A5 73頁 600円
2009年2月に設立された神奈川部落史研究会の部落問題ブックレット第1冊。設立総会で

の斎藤洋一氏の記念講演をはじめ、機関誌『解放新聞・神奈川版』の連載「神奈川の部落史」を収録する。刊行にあたって(川村善二郎)／部落史を考える―『神奈川の部落史』を題材に(斎藤洋一)／なぜ何のために歴史を学ぶのか―私の歩んできた道から(川村善二郎)／神奈川の部落史の周辺(鳥山洋)／近代における神奈川の部落史から学ぶこと(大高俊一郎)／港都・横浜の部落問題(藤野豊)／地域の歴史のなかの部落史を考える(久保田宏)／推薦図書―部落史をより理解するために／編集を終えて(久保田宏)

◆小學入門教授解 全(復刻版)

岐阜県郷土資料研究協議会 (〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111) 2014年1月 A5 70頁
長瀬寛二編輯、岐阜書房(三浦源助)刊の『小學入門教授解 全』を、原本の体裁のまま復刻する。

◆愛知県史 資料編14 中世・織豊

愛知県史編さん委員会編 愛知県 (〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2 自治センター8階 総務部法務文書課県史編さん室 TEL052-972-9171) 2014年3月 A5 1122+14頁 5000円+送料

平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん事業の第16回配本。中世・織豊期にかかわる史料のうち、まとまりのある軍記・系図・寺社縁起などの「編纂物・諸記録」と、「資料編8 中世1」「資料編13 織豊3」刊行後の新出史料(文治元年(1185)～永禄2年(1559))等を収録する。編纂物・諸記録(軍記・史書、系図・家譜、寺社縁起、寺社記録、語録・文集、名寄帳)／編年史料補遺(中世補遺、織豊補遺)／大須観音宝生院 聖教奥書・印信目録解説／解説／出典一覧／付録 CD-ROM「大須観音宝生院 聖教奥書・印信目録」、資料編8～14「所蔵者別 史料目録」

〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁
尾張・三河の神祇と神名帳奉唱(岡田莊司)／
管見・延命本「洛中洛外図屏風」(水本邦彦)／
県史編さん室からのお知らせ
◆愛知県史 資料編15 近世1
名古屋・熱田
愛知県史編さん委員会編 愛知県 (同上)
2014年3月 A5 988頁 5000円＋送料
尾西・尾北、尾東・知多、西三河、東三河と
地域毎にまとめた近世史料編の最終巻として、
現名古屋市域の町方・地方史料を中心に収録
する。名古屋と熱田(名古屋の町人地とイン
フラ整備、名古屋の町制と住民生活、熱田と
宮)／村と地域(村の運営、村と百姓の負担、
城下と周辺村々)／新田と山・川(新田、山林、
河川、用排水)／経済(生業、商人と株仲間、
商家経営、市場と商取引、物価と金融)／交
通(陸上交通、水上交通)／寺院と神社(寺
社の組織と運営、地域社会と寺社、熱田社)
／生活(家、家族、暮らし)／社会(身分と
諸集団、社会の秩序と変容、災害、幕末の世
相)／文化(学習のたしなみ、俳諧にみる地域、
医療、祭礼と民俗、文化の交流)／鳴海(鳴海
代官所と地域、鳴海の交通と産業、鳴海の祭
礼と文化)／解説／史料群解説／掲載史料編
年一覧／付録「御天守上見通図」「鳴海古図」
〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁
史料にみる城下町名古屋の社会(岩淵令治)／
尾張藩士が挑んだ「記録画」の世界(山本祐
子)／県史編さん室からのお知らせ
◆愛知県史 資料編21 近世7 領主1
愛知県史編さん委員会編 愛知県 (同上)
2014年3月 A5 1056頁 5000円＋送料
松平忠吉の入府から廃藩置県までを対象に、
尾張藩の支配のあり方や尾張徳川家について
の史料を収録する。尾張徳川家の成立と家政
(支配体制の成立、家と家政、幕府・朝廷と
の関係)／家臣団の特質(軍制と家臣団、家

臣団と知行制、両家年寄成瀬家、重臣と地域
支配)／藩政のしくみ(領国基盤の整備と支
配構造、藩社会のひろがり)／藩政の展開と
財政(藩政の展開と藩財政の動向、災害への
対応、米切手、調達金、藩主側金と尾張名目
金)／武士身分とその周辺(身分と格式、勤
務と給付、武家奉公人・雇い・出入りの者、
武家の暮らし、武士身分の周辺)／寺社と領
主(武家の菩提寺、領内秩序と寺社、領外世
界と天変地異)／学・芸へのまなざし(藩校
の運営、所蔵書画と道具類、能楽・雅楽、政
治文化)／幕末尾張藩と名古屋藩(書状にみ
る幕末維新期の尾張藩、十四代藩主徳川慶勝
「安政五年日記」、幕末の京都情勢と尾張藩、
「待賓館御用留」にみる勤王誘引、維新政府
と名古屋藩)／解説／関係人物一覧／史料群
別掲載史料一覧／付録CD-ROM「藩士デー
タベース」
〔愛知県史のしおり〕 A5・8頁
激動期を生きた徳川慶勝とその兄弟(竹内誠)
／徳川家康の「龍黒印」について(藤井譲治)
／県史編さん室からのお知らせ
◆新宇治の碑 路傍の語り部たち
宇治市文化財愛護協会編・刊(〒611-0042
京都府宇治市小倉町老ノ木10) 2014年1月
A5 100頁
平成17年9月に宇治市歴史資料館が刊行した
『宇治の碑 路傍の語り部たち』を増補・改訂。
現在は失われてしまった石碑も含め、183件
の路傍の碑を収録する。六地藏・木幡／五ヶ
庄・菟道／宇治川畔の歌碑めぐり／源氏物語
宇治十帖石碑めぐり／宇治／七名園と七名水
の碑／志津川・白川／広野・大久保／小倉・
伊勢田／猿島／宇治の碑 増補版／見て歩き
マップ／石碑一覧
◆軍医殿！腹をやられました インパール作
戦ビルマ敗走記 かがわブックレット
195

中野信夫著 かがわ出版(〒602-8119 京
都市上京区堀川通出水西入 TEL075-432-
2868) 2014年1月 A5 64頁 600円
太平洋戦争末期のインパール作戦から70周年
の節目にあたり、立命館大学国際平和ミュー
ジアムの開設にも多大な貢献をした眼科医、
故 中野信夫氏自身のビルマ戦記『靖国街道』
(1976年刊)を再版する。はじめに 中野信夫
著『靖国街道』のブックレット再版にあたっ
て(中野圭子)／コマヒへ突進 シンパール作
戦始まる／コマヒから撤退 “白骨街道”を
敗走／イラワホジ会戦と英軍の攻勢／敗戦、
収容所そして帰還／著者あとがきーインパ
ール作戦を顧みて／近現代史年表
◆図説 丹波八木の歴史2 古代・中世編
八木町史編集委員会編 南丹市(〒622-0000
京都府南丹市小桜町47 TEL0771-68-0001)
2014年3月 A4 177＋10頁
平成18年(2006)に京都府八木町・園部町・日
吉町・美山町の合併による南丹市発足後も継
続事業として平成20年(2008)から進められて
きた八木町史編さん事業。本書は、市民にと
ってわかりやすく利用しやすい町史、地域史
資料の永続的な保存と活用につながる町史を、
として八木町域の歴史をまとめる。
古代(概説、ヤマト王権と丹波、コラム 口
丹波の氏族、丹波の豪族、丹波国の成立と船
井・桑田郡の設置、律令の諸制度、口丹波の
和名抄郷、丹波の古代寺院、平安京の成立と
丹波、丹波国府、コラム 古代の交通、大嘗
祭と丹波、条里制の展開、八木地域の式内社、
コラム 一宮・総社制と宗神社、皇慶と池上
院、平安時代の仏教文化)／中世前期(概説、
院政の成立と展開、院政期の丹波守と知行国
主、コラム 丹波と安倍貞任伝説、中世荘園
制の成立と吉富荘、コラム 吉富荘絵図の世
界、源平合戦と丹波国、コラム 物語にみる
文覚、神護寺支配の確立、コラム 文覚と開

発伝承、小野細川荘堺相論、鎌倉後期の丹波
国、中世前期の寺院と仏教)／中世後期(概
説、南北朝の内乱と丹波国、吉富荘の再編、
コラム 丹波の北野社領一船井荘と水所保、
細川氏の丹波支配、丹波国守護代と国人、応
仁文明の乱と八木地域、山間荘園と境界相論、
コラム 瑞溪周鳳のみた八木地域、京兆専制
と内衆の抗争、コラム 延徳の丹波国一揆、
京兆家の対立と丹波、三好政権と内藤氏、内
藤宗勝の丹波支配、丹波八木城、八木町域の
中世城館一新庄城跡と刑部城跡、禪宗の展開、
織田信長の上洛と丹波攻略、コラム 内藤ジ
ョアンのその後、中世の終焉と近世の黎明)
／卷末付録
◆図説 丹波八木の歴史3 近世編
八木町史編集委員会編 南丹市(同上)
2014年3月 A4 175＋11頁
近世の成立(概説、本能寺の変と丹波、コラ
ム 江と二人の「秀勝」、豊臣政権下の丹波、
コラム 朝鮮出兵と丹波の在り地領主、近世的
秩序の形成、コラム 慶長二年神吉上村検地
帳と村切、大坂冬・夏の陣と小出氏入部、土
豪から藩士へ)／幕藩体制の成立と近世前期
の社会(概説、領主と村の編成、コラム 旗
本武田氏の系譜、口丹波三藩の成立、コラ
ム 所領配置の系譜、藩政の組織、百姓の家の
成立、百姓の諸負担、コラム 百姓という身
分、村の構成と変化、村役人と村政、近世前
期の農耕、用水・水利および入会地と争論、
丹波八木地域の生業、コラム 農閑余業)／
近世中期の社会と信仰・文化(概説、近世の
水利秩序と新田開発、近世の寺社と信仰、コ
ラム 近世の余暇一地域霊場巡礼、近世の寺
社政策、コラム 近世の芸能、教育と文化の
広がり)／近世後期の社会(概説、街道と水
運、村の変容、家と家族のあり様、コラム
村の事件簿、山野の利用と山論、土砂留普請
と村、コラム 村絵図をよむ、災害と飢饉、

天明の打ちこわしと村方騒動、領主財政の窮乏と藩政改革、コラム グラフからよむ年貢の変化)／幕末という時代(概説、ペリー来航とその波紋、コラム 勤王芸者中西君尾と「志士」、丹波の大名家と幕末政治、コラム 園部の「城地」化と八木、幕末期園部藩の藩政改革、コラム 旧藩の行方、幕末動乱のなかの八木、コラム 西ヶ谷池の開鑿、弓射連中と八木)／巻末付録

◆富田好久先生米寿記念誌

池田郷土史学会 富田好久先生米寿記念誌編集委員会編・刊(〒563-0058 大阪府池田市栄本町9-1 池田市立コミュニティーセンター2F いけだNPOセンター内) 2014年1月A4 186頁 1000円＋税

池田市史編纂事業をはじめ、郷土史研究一筋に打ち込んできた池田郷土史学会会長 富田好久氏の米寿記念誌。近影／米寿記念に寄せて(小南修身)／富田好久先生 略年譜・著作目録／論文 畿内における古代鉄鑛の集成(富田好久)、畿内における横穴式古墳の企画性(富田好久)、古代に於ける炉とカマドの変遷(富田好久)／祝辞 祝辞(村田陽)、富田先生おめでとうございます(木下克重)、米寿を祝して(玉手忠志)、富田好久先生 米寿に寄せて(倉田薫)、富田好久先生の米寿を祝って(小伏輝男)、寿ぎ(長江雄之介)、富田好久先生おめでとうございます(楠田治朗)、米寿を祝して(寺戸悦子)、富田好久先生と新修池田市史(小田康德)／献呈文 富田先生と遺跡調査(亥野疆)、富田先生の「温顔和語」(大下明)、富田先生とのおつきあい(河合重次郎)、富田好久先生との出会いによせて(北垣聰一郎)、気さくな先生(熊野禮助)、富田好久先生 米寿をお祝い申し上げます(古西義磨)、つかず はなれずの人(島田竜雄)、富田先生のこと(清水篤)、あったか笑顔の「とみじい」こと富田先生(関根則子)、富田先生と私

のかかわり(高野弥和子)、六十年を振り返って(建部弘)、富田好久先生との出会い(田中晋作)、私にとっての富田好久先生(田中万里子)、富田先生の米寿をお祝いして(谷口博昭)、富田先生の逸話(田和好)、米寿を祝う(津田初子)、カメラを持ってダイエー女子寮に侵入した話(鶴崎裕雄)、富田好久先生の米寿祝賀に接して(直宮憲一)、富田さんとの五〇年(中島正雄)、富田好久先生の思い出(丹生谷哲一)、富田先生の地域研究に導かれて(福永伸哉)、ありがたい富田先生(細谷勘介)、富田先生と共に歩んだ十年余り(増岡美恵子)、恩師 富田好久先生(美濃林秀子)、富田好久先生と関大の考古学、郷土愛の歴史学(森岡秀人)、富田先生の薫陶 胸に秘めて(山元建)／調査・研究・文化財等 多田銀銅山と江戸幕府(青木美香)、江戸川柳と池田(石川道子)、川西市加茂遺跡一命名の由来(岡野慶隆)、西村瀬右衛門と西本願寺瓦(葛野勝規)、戦後の市長一池田と門真(芝村篤樹)、経塚発掘と富田先生(直原與總)、宮の前遺跡は拠点集落なのか(田上雅則)、八坂神社と文化財(津田信幸)、池田の道標(中西正和)、一夜堤の伝説について(服部聡志)、亀岡街道「寛文年間建立の道標」(福田薫)、一番新米の会員(本庄孝子)、新聞紙上の富田好久先生(松永和浩)、富田好久先生からの宿題(吉原忠雄)／富田先生に寄せて(伊藤文)、内藤湖南の富永伸基研究(印藤和寛)、富田好久先生と私(橘高和明)、神田属邑七(高木正時)、先生と池田古文書研究会との思い出(富田允雄)、富田先生異聞(藤井知敏)、池田郷土史学会の会員になって(松永賢治)、富田先生の監修・共著三部作(室田卓雄)／入賞写真／あとがき(室田卓雄)

◆舞台の上の文化

まつり・民俗芸能・博物館

橋本裕之著 追手門学院大学出版会(〒567-

8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 TEL072-641-7749) 2014年2月 B6 310頁 2500円
豊富なフィールドワークとともに、楽劇『大田楽』の監修・出演、NHK大河ドラマ『義経』の芸能考証などの多彩な経験を踏まえて「舞台の上の文化」の再創造・再想像を試みる。まつり 旅人はまつりをめざす、明日があるさー大四日市まつりに寄せて、『大田楽』がはじまりだったー芸能考証論・序説、芸能考証の現在ーNHK大河ドラマ『義経』をめぐる／民俗芸能 保存と観光のはざまでー民俗芸能の現在、民俗芸能の再創造と再想像ー民俗芸能に係る行政の多様化を通して、狭められた二元論ー民俗行政と民俗研究／博物館 過去を知る方法ーインディアナポリス子ども博物館の歴史展示、複数の日本を展示するー国立歴史民俗博物館のイデオロギーとプラクティス、物質文化の劇場ー博物館におけるインタラクティブ・ミスコミュニケーション／対話論 神と鎮魂の民俗学を遠く離れてー俗なる人々の芸能と出会うために、祭・イベント・民俗芸能ー交流で地域の誇りとアイデンティティを、「京劇大田楽」十年の歩み

◆後記

前号で福島県富岡、双葉、大熊町の歴史民俗博物館所蔵資料を関係者が放射能を避けながら決死の思いで搬出、保存したことを書いたが、隣接する広野町で、兵庫県から派遣された文化財専門職員と地元の行政管理者が災害公営住宅建設予定地の遺跡保存と復興の間で葛藤、懊悩する姿を、「朝日新聞」2015.1.3-30「プロメテウスの罠 広野を掘れば(全28回)」で読み、さらにまた感動させられた。兵庫県職員には阪神淡路大震災の折に遺跡を守れなかった苦い思い出がある。併し復興事業の緊急性は誰よりも理解している。復興の妨げと発掘調査にすら断固反対の町長の心が揺れたのは、町民の戻らぬひっそりした町の自宅に妻と二人で帰り、大好きな日本酒をコップであおりながら、いわき市に避難している可愛い孫を思い浮かべた時である。「あの子たちが町の歴史を学んだら『広野っていいね』と思うだろう」「ふるさとの文化は、町への愛着も育てるだろう。町民に帰ってきてほしいなら、遺跡を埋めて住宅を建てるのは逆なんじゃないか――」。災害公営住宅は、遺跡の主要部分を公園として残し、周辺に住居を配して2014年9月に完成した。新聞連載に町民の声の取材がないのは残念だが、この判断は町民に支持され、「誇りあるふるさとの再生」を理念とする町づくりにきっと活かされるものと信じた。 (飯澤)

◆奈良民俗紀行ー西大和編 あをによし文庫 鹿谷勲著 京阪奈情報教育出版(〒630-8325 奈良市西本辻町139-6 TEL0742-94-4567) 2013年6月 B6 250頁 1300円
奈良県河合町を本拠としたミニコミ紙『ほととタイムズ』(1999年3月～2003年1月、31回)と、平群町を本拠としたミニコミ紙『うぶすな』(2006年1月～2008年12月、36回)に掲載された「西大和民俗紀行」を編集補訂。奈良盆地西部、三郷・王寺・斑鳩・河合・上牧・広陵・香芝周辺のさまざまな民俗文化を通して、「西大和」の民俗的世界を紡ぎ出す。はじめにー西大和を民俗紀行する／あらたまる／コラム 民俗の意味／なう／コラム 聖なる西のライン／つどう・いとなむ／いのる・ねがう／まう・きよめる／コラム しぐさの民俗／とむらう／コラム 回想について／まいる・そなえる／コラム 遍路と奥駈け／はぐくむ／コラム 大和の風土とはたらく人々／ひびく／人・モノ・妖怪／コラム 民俗語彙の面白さ／あとがき

地方史情報 123 2015年(平成27年)3月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757